

令和7年度  
(2025)

事業報告書



社会福祉法人  
神港園



# 令和7年度 事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

## 目 次

### 令和7年度 事業報告書

I 社会福祉法人神港園 基本方針	.....	1 ~ 3
II 令和7年度 総括重点報告	.....	4 ~ 7
[1] 法人本部	.....	8 ~ 19
[2] 西区拠点	.....	20 ~ 28
(養護老人ホーム神港園／神港園シルビアホーム／介護しょっぷ神港園)		
[3] 神港園しあわせの家	.....	29 ~ 34
[4-1] 須磨区拠点(神港園サニーライフ白川)	.....	35 ~ 39
[4-2] 須磨区拠点(神港園サニープラザ妙法寺)	.....	40 ~ 46
[5] 舞子拠点	.....	47 ~ 50
(さん舞子神港園／さん舞子神港園いこいの家)		
[6] 西宮拠点	.....	51 ~ 55
(神港園レインボー西宮／神港園レインボー酒蔵通)		
[7] 医療事業部	.....	56 ~ 60
[8] しあわせの村保育園	.....	61 ~ 63

### 令和7年度 事業報告書(資料集)

資料① 施設入居関係	.....	64 ~ 69
資料② ショートステイ関係	.....	70
資料③ デイサービス関係	.....	71
資料④ ホームヘルプ関係	.....	72
資料⑤ 居宅介護支援事業所関係	.....	73
資料⑥ あんしんすこやかセンター関係	.....	74
資料⑦ 事故関係	.....	75 ~ 78
資料⑧ 医療・保健関係	.....	79 ~ 81
資料⑨ 栄養関係	.....	82
資料⑩ 職員関係	.....	83 ~ 84
資料⑪ 採用・離職関係	.....	85 ~ 86
理事会・評議員会開催状況	.....	87 ~ 89



# 令和7年度 社会福祉法人神港園 事業報告

会長 高谷 雅子

## I. 法人基本方針

### 1. 法人理念

#### 《黄金律》

自分がしてほしいと思うことをひとにしてさしあげましょう

実現指標は、常に関係者の気持ちや立場に配慮し、  
・相手を笑顔にすること                      ・より多くの心のこもった笑顔を

#### ● ご利用者、ご家族へ

総括事業計画・重点計画 1・3

初めて不安を感じた際の相談受付から、施設における看取りまで、良質で、いまその方に必要な支援を提供し、常に安心のある生活を支える

#### ● 職員へ

総括事業計画・重点計画 2・4

無資格未経験人材を福祉の担い手として育成  
体系的な人事・教育諸制度と、多彩多様な拠点・部署を擁する規模の強みを活かし、福祉人・職業人としての成長支援と仕事の喜びを提供する

### 2. 高齢者福祉総合拠点の地域展開

総括事業計画・重点計画 1・4・5

欠かすことのできない福祉基盤として、地域社会からの支持を確かなものとする

・福祉相談窓口	・訪問介護	・養護老人ホーム	・医療系事業
・介護予防支援	・通所介護	・特別養護老人ホーム	・福祉用具貸与、販売事業
・居宅介護支援	・短期入所生活介護	・介護型ケアハウス	・障害、その他の関連事業
		・グループホーム	
		・サービス付き高齢者向け住宅	

社会資源としての  
機能の発揮

=

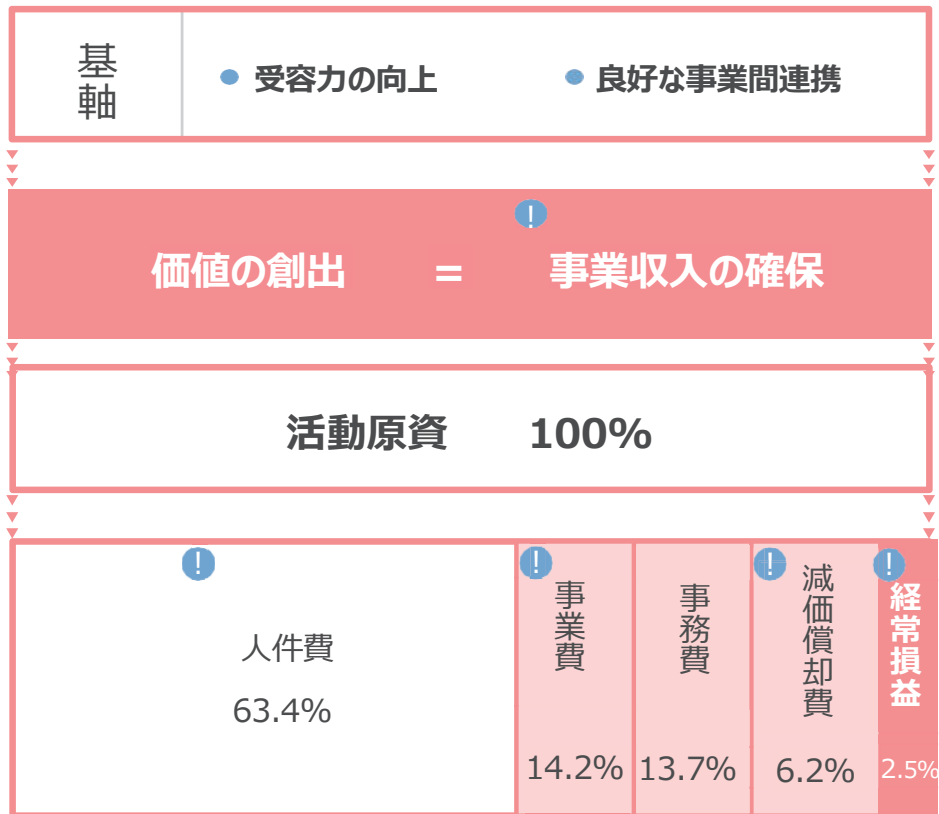
経営資源を  
最大活用して  
福祉サービスを提供

### 3. 安定経営

総括事業計画・重点計画 1・3

持続経営という社会的責任を果たすため、安定した経営構造を築く

#### ● 経営構造



※図は希求すべき安定経営のモデル構成比率（年度固有の例外的事項は除く）

#### ポイント

- ❗ **収入確保**…事業ごとの高い目標稼働を達成し、事業活動の原資とする。
- ❗ **人件費**…良好な収入確保の下、独自基準の手厚い人員配置と十分な生活賃金水準を両立する。  
 ※ 地域全般の担い手不足を背景に、良質な支援の基盤である人財確保は最優先課題  
 原資：1人当たり人件費×職員数 は、概ね収入の63.4%（外部への業務委託費を除く）

  - 手厚い人員配置 → サービス水準の担保と、長期勤続に資するやりがい醸成、負荷軽減
  - 十分な生活賃金水準 → 生活の安定は、職場として選ばれ続けるための基本条件

限りある原資の中で、相反する二者の、市場原理と職員意識に基づくバランスを調整する  
 （総額は、生産性と連動する次期賞与原資の増減調整により管理）
- ❗ **事業費・事務費**…人件費以外の各種費用は、無駄を根絶し、活かした費用への支出を徹底する。
- ❗ **減価償却費**…事業を行う建物や各種設備の維持更新のため、長期的・計画的に活用する。  
 （図では国庫補助金等特別積立金取崩額分を控除）
- ❗ **経常損益の確保**…安定経営の根源であり、事業の維持発展を支える原資  
 ※いずれは発生する想定外の事態にも備え、常に経営体力の強化が必要

## 4. 創立以来75年余の歴史と未来への成長



孤児老人ホーム神港園



神港園シルビアホーム



神港園あむせの家



神港園サニーライフ白川



神港園サニープラザ妙法寺



さん舞子神港園



さん舞子神港園いこの家



神港園レインボー西宮



神港園レインボー酒殿通



1951年の創立以来、時に応じて変化する経営課題の克服に尽力しつつ、発展を目指してきた法人の歴史。その歩みに、慎重にリスクを見極めながら、新たな事業拡張がもたらす成長を着実に積み重ね、地域で培ってきた信頼を、更なるステージへと高めていく。



事業拡張 = 地域貢献の新たな基盤を築く

総括事業計画・重点計画 5

外発的 動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化で確実に不足する福祉資源の整備</li> <li>● 他法人の事業伸張と比較した相対劣位の回避</li> </ul>
内発的 動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営基盤の強化がもたらす持続的成長</li> <li>● 静止することで沈滞する組織の活性化</li> </ul>

## Ⅱ.令和7年度 総括重点報告

### 1. ご利用増を通じた福祉事業所としての価値向上と

#### 厳正なコスト管理による大型新施設創業期の計画的経営

法人基本方針2・3・4

地域包括ケアに資する介護医療の新複合施設として、地域資源としてのステップアップを果す「神港園サニープラザ妙法寺」を昨年10月から順次開設しています。物価高騰で大型施設整備をためらう時勢の寸前に何とか計画できた幸運な施設ですが、開設後の稼働確保が低調で、かつ1F妙法寺クリニックの開院が3カ月遅れて4月をまたぐ等、予算未達が続く苦しい創業でした。

当年度7月にマネジメント強化に資する責任体制の刷新と組織変更を行い、サービス付き高齢者向け住宅（以下「サ高住」）2Fフロアを含む全館が12月から開所でき、次年度第2四半期からは稼働安定期に移行する見込みです。1F通所介護事業も令和8年4月から45名定員に増員となり、介護部門は経営安定化の道が無事開けてきました。

既存施設群においては、数期に分けた西区拠点の修繕工事がようやく内装の仕上げ段階に至りました。北区拠点も大規模改修の手始めに屋根と外壁の全面工事を完了しましたが、2期工事以降の計画化を迫られる等、多数施設の大規模修繕工事計画策定が必要な局面です。

#### <重点報告>

今期は、在宅系事業を中心とした令和以降の稼働低下や継続するコスト膨張に歯止めをかけることを重点目標に取り組みを進めました。

- \* 地域に資する高稼働の福祉サービス提供を実現するために、各拠点や事業部会・委員会でプロセスの構築について協議し、好事例の水平展開を進めています。短期入所を併せた入居事業および地域包括支援センター・ケアプランセンターは、各事業種別合計で目標収入（補助金除く）を達成しましたが、それ以外の在宅サービス事業等では苦戦が続いており、幹部職員以下各職種による真剣な改善工夫を通じた次期目標達成が必須です。
- \* 期首に法人独自加配人員基準のスリム化を施行し、時代に即した業務の近代化と生産性向上を進めています。また「集中購買室」を総務部に新設し、スケールメリットを活かしたコストカット準備を進める等、ゼロベースで削減可能なコストの洗い出しを進めています。下期には排泄物品の集中購買準備に着手し、次年度上期の切り替えを見込みます。また3カ月定期相当額を基準に毎月分割支給していた公共交通機関の通勤手当については、6カ月定期相当額を前払いする方式に移行することでコストの適正化を図りました。
- \* サービス活動増減差額（以下「サ活差額」＝営業利益）目標の必達を期し、期首より経営努力を重ねた結果、職員の精励によって達成できました。

## 2. 人材育成 ～人材活用～

### 人材マネジメント強化とご利用者満足度の向上

法人基本方針1

事業の要である職員の成長に支えられ発展する法人として、今と未来の担い手を大切に「長く勤めたい職場」「福祉の仕事をここから始めたい職場」「働きたい施設＝神港園」というブランドイメージの向上に繋がる人事制度整備（法人内兼業の運用強化や、非介護職員向け公休日数12日制の部分導入等）を進めました。また従来の昇給制度に加えて、初任者等級に相対的に有利でかつ対象者を拡充する固定昇給額加算を新設し、次年度期首昇給の運用向上を図りました。

「けあスクール神港園」を研修センターとして、職種別研修、階層別研修、OJT研修等の職員教育の充実を図り、ますます多種多様となるべき働き手が迷うことなく活躍できる職場づくりを進めています。ただ、講師職員・受講者双方の時間確保や企画に投入する余力に限りがあり、全体的には未だ不足感は拭えません。

職員各人の力を引き出し、部署間の協働と補い合いが活性化することで、安心安全の介護基盤となることが可能です。新たに今年度は、施設運営のキーマンである生活相談員リーダー等を対象に「神港園未来塾」と称する育成強化プロジェクトを立ち上げ、マネジメント学習の時間を持ちました。今後も、伸び伸びと学び成長する職員の働き甲斐、満足度を高めることで、持続経営とご利用者満足度の向上に繋げて行きます。

#### <重点報告>

- \* 地域の同業上位に位置する平均賃金水準を相対的に守り続けることに苦慮しましたが、独自人員基準のスリム化と、首相交代を背景にようやく一定の実効力を有した国の処遇改善政策の後押しもあり、期末賞与（処遇改善一時金）の支給によって結果として例年度を上回ることができました。
- \* 非介護職等に向けた個人毎の希望に沿った柔軟な働き方メニューを用意し、部分的とは言え活用を実践しています。今後は、介護職の働き方の多様性の実現も検討を進めます。
- \* 人事異動の有効活用による人材の長期キャリア形成と組織活性化に取り組み、新任幹部職員3名のほか、昇任者を含む11名の役職任用を行うことができました。

### 3. 今日的な科学的ケアの提供と ICT 活用

法人基本方針1・3

今日的な介護実践の一つとして、ノーリフティングケアを推進し、腰痛予防に資する介護負担の軽減とご入居者の拘縮予防や機能向上に取り組みました。また、インカム導入は不十分ながら、介護見守りロボットを活用した ICT 連携強化、天井走行リフトの導入等、生産性向上と科学的ケアの提供を進めています。

事務的には、抗いようもなく社会に浸透する先端技術として、分野を問わず業務効率化に資する AI 活用の基本方針を定めルール下での使用を推奨しました。

従来から導入済みの他ソフトにも、業務改善に繋がる多くの機能が眠っているため、掘り起こしを図ります。受付を担当者に繋ぐ作業も機器の工夫等で省力化が見込めますが、極めて限定的なテスト段階を脱していません。今後とも、業務改善のための最初の努力を惜しまず、収穫期に自分たちがしっかりと効率化の成果を味わえる、職場環境の構築に努めます。

#### <重点報告>

- \* 科学的介護推進体制加算（LIFE 加算）の取得促進により、殆どの入居施設・デイサービスにおいて既に加算（区分がある入居事業では上位区分）を取得できおり、新設事業所での取得も今後進めていきます。
- \* 復旧とまでは言えませんが、開かれた施設として、ボランティアをはじめ多様な貴重な外部資源連携を促進しつつ、ご家族面会や外出機会の確保、行事企画等に力を入れています。
- \* AI ツールコパイロットの活用ほか、業務省力・業務改善に資するシステムの活用や更新に努めています。訪問介護事業では、登録ヘルパーに配布したスマートフォンにダウンロードした活動管理アプリの導入により、記録の電子化も含め、今日的な業務の合理化を進めました。
- \* 機器やアプリ等の活用による、入館、入電、受付等の効率化については、残念ながらテスト拠点での試行を段階的に実施したり、製品調査等を行うに止まっています。

### 4. 業務標準化とリスク管理に資する「神港園スタンダード」の進展

法人基本方針1・2

法人の一面として、規則類～マニュアルの制定や管理に課題を抱えており、初任者が満足に業務をこなす水準に習熟するまでに期間を要し、標準化や効率化に克服すべき不足があります。人材確保の実情に照らせば、極めてリスクで非効率と言えます。過去の成功体験を忘れ、内部統制や業務近代化の改善の余地を自覚し、誰もが早期に標準業務を担える環境整備を目標に、進化の歩みを進める必要があります。

リスク管理全般では、内外のハラスメント対策、多様な災害を想定した事業継続マネジメント、不適切ケアの根絶対策等を強化すべき時勢にあり、形だけでない真摯な実効性が求められます。そのためには、平時における各種模擬訓練の実施が極めて有用であり、次期は取組強化を達成します。

ご利用者と職員の安心が確実性を増すシステムづくりを念頭に、次の重点目標に取り組みました。

### <重点報告>

- \* 全入居介護部門共通の、入職者習熟度別 OJT 標準モデル制定のため、ケア向上部会介護分科会において、基本となる3カ月独り立ちモデルの標準スケジュール策定と、関連書式の統一素案を作成しました。次年度上期に確定させ、対象者に応じた2~9カ月モデルへの展開や、多職種への汎用化を進めます。
- \* 個人の成果と待遇の連動性向上のため、評価段階を5段階から7段階に増やすと共に、人事考課と賞与分配の実務研修を行い、目的に即した運用向上を図りました。職種と職位に応じた評価集団のグルーピングも導入し、拠点業績比例の賞与原資分配制度と併せて、合理的で実用性の高い制度構築を図っています。
- \* 財務部に、長年の銀行経験で知見を磨いた新幹部職員を採用し、経営管理強化に取り組みました。また、会計事務の外部委託を順次拡大して、効率化・標準化を進めています。

## 5. 法人の未来像をデザインする中長期事業計画の策定

法人基本方針2・4

法人理念「黄金律」を実践するステージとして、ご利用者と職員の夢が詰まった法人の未来を描き出し、創立80周年となる2031年の法人像を構想する「31 ヴィジョン構想委員会」を中心に、目標への道程を段階的に中長期事業計画に落とし込む作業を進めています。「かかわるすべての人を笑顔にする」というミッションの実現に向け「地域公益・財務・顧客・業務プロセス・学習と成長」の各視点に担当委員を置き、AIを活用しながら論点整理を行いました。

下期には、対とも言える「重点計画推進委員会」との連携協働を志し、物的／業務／人的インフラ毎に合同チームを編成し、各オーナーの指示でチームが責任を持って担当ミッションを遂行する体制づくりを行い、経営企画の機能を真に発揮する準備を整えました。今後は、2031年へのロードマップとして、2027年度目標、2029年度目標の可視化（ベンチマークとなる指標を数値で示すことで実効性を担保）に取り組み、法人の最大の財産、強みである職員が笑顔で働けるよう、信念を持って明るく楽しく、着実に未来へと歩みを進める法人作りを目指します。

## 【1】法人本部

理事長 法人本部長 高谷 明

### 1. 事業報告

令和6年度4月から施行された3年毎の介護保険制度改定は約2%相当の報酬増とされますが、その率をはるかに超える物価高騰下において、平成の延長上の経営モデル存続が不可能となり、事業拡張や大規模修繕に内部留保の多くを投じてきた現在、時代に即した持続経営基盤強化のための生産性向上が避けられません。

妙法寺事業の順次開設から半年後に始まった今年度は、新規事業の予算進捗に数カ月の遅れが生じる前年度からの流れを引き継ぎ、また既存事業群においても、職員1人当たりの延べご利用者数をコロナ禍前と同等に回復することが難しく、多数の医療機関・介護事業所の業績悪化報道と同様に、賞与による苦渋の費用調整が避けられない、最大の我慢の時期を迎えていました。一方、積極財政を掲げ、ご自身もご家族の介護経験を積まれてきたことから業界の窮状に理解のある首相の誕生により、介護医療従事者の救済を志したこれまでにない規模の令和7年度補正国家予算が国会で承認され、拡大していた他産業との格差を一部緩和することが叶いました。なお、全国団体の積年の陳情も功を奏し、処遇改善加算の対象外であったケアプランセンター等職員も、当該補助金や次年度に施行される処遇改善加算臨時増額改定の対象に加えられる運びとなり、ようやく現場の声が少しは政治に届いた安堵感を覚えられる気持ちとなりました。

現場職員は、マスク生活の継続による集団的免疫低下の影響か、季節を問わず流行する複数の感染症と闘いながらも、活気と交流ある施設生活の復旧を目指して前進しています。ただ恒常的な稼働低下傾向が収入減をもたらし、収入・費用の両面で経営が圧迫される情勢は継続しており、この突破を期する業務のスリム化・モダン化は途半ばです。改革なければ自然悪化する厳しい現実を広く現場職員と共有し、地域の信頼を守り続けるための正念場である令和7～8年度を乗り切るために必須の業務改革を全事業で推し進め、令和型経営への移行を完遂します。

福祉介護職員にも、経営への理解と関心が必要な時代となりました。事業の枠組みの全てを決めていると言っていい福祉介護法令の改定動向を見る限り、政治は事業者の自助努力が未だ不十分と見なしているように思えます。これは一面真実に違はなく、反面、現場が福祉力を維持したい一心で抗っている姿です。ただ、社会が施設に変化を求めています。令和のマネジメント実現のために、法人本部～各拠点で経営機能を担う幹部職員には、知恵を総動員して突破口となる新たな施策を推進する責任があります。これを、部署を率いる役職者が組織全体に中継することで、初めて法人の全関係者が、将来に亘って成果を享受し続けることができます。超高齢の人口減少社会に適合する事業経営を確立し、全職員の心を合わせて、地域福祉の責任を果たして行きます。

## 2. 経営報告

<法人全体>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	4,390,106	4,354,766	35,340
②当初目標額	4,381,011	4,352,013	28,998
差額(①-②)	9,095	2,753	6,342

※サービス活動費用は本部配賦を含みます。医師及び PT・OT の各施設への派遣料（医療事業部収益）は内部取引消去しております。

### 【情勢と取り組み】

#### ①年度の情勢

令和7年度は、物価上昇、光熱費高騰、人材確保の困難化など、法人経営を取り巻く厳しい環境が継続した年度となりました。特に処遇改善対応を含む人件費、業務委託費、修繕費等の固定費増加が進行し、安定的なサービス提供と収支均衡の両立が重要課題となりました。

収入面では、主力の入所事業の利用実績が堅調に推移し、また前年度に開設したサニープラザ妙法寺における各事業の利用が徐々に定着しており、法人全体の収入増に寄与しました。

引続き感染症の流行に影響を受ける中、予防・対策を充分行いつつ新規ご利用者の確保に尽力した結果、例えばデイサービスでは6割の施設で前年を上回るご利用者数となり、改善傾向にあります。

訪問事業では、堅調な事業所がある一方で経年の縮小傾向に歯止めを掛けられなかった事業所もあり、令和8年度は本部協働で体制強化を果して回復を期します。

収入金額全体では、人材確保・職場環境改善等補助金（処遇改善関連）という追い風もあり、当初予算比で約900万円の増加となりました。

支出面では、人材確保・職場環境改善等補助金（処遇改善関連）を活用し、職員に対して約30百万円（0.3ヶ月分）の期末手当を支給するなど、処遇改善対応を実施しました。結果としての人件費は概ね当初予算通りの水準となり、人員過不足状況の事業所毎の濃淡はあれど、法人全体の人材確保は概ね計画通りの情勢で、費用バランスの適正化を図っています。

また、業務委託費については、給食委託料の増加を想定以下に抑制できたことから、人材紹介料の予算超過12百万円の影響を緩和することで、全体で3.7百万円の増

加に止まりました。水道光熱費については法人契約見直し等による削減効果が発現し9.8百万円減、消耗器具备品費についても12.3百万円減となるなど、経費抑制を行いました。

その結果、サービス活動増減差額は当初予算比6.3百万円増の35.3百万円となり、新規施設竣工に伴う前年度約△224百万円の赤字から大幅な改善を達成しました。また、借入金利息負担の見込み差異により、経常増減差額は予算比21.8百万円増の37.2百万円を確保しております。

## ② 経営強化施策と重点事業（収入確保・費用抑制）

### 【収入確保】

収入確保の取り組みとして、各事業の稼働率向上を重点課題に掲げ、地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所との連携強化、新規ご利用者の受入体制整備を推進しました。これにより、特に入所事業は全体として堅調に推移し、収入は当初予算を上回る結果となりました。拠点単位では、西区拠点において、養護老人ホーム（以下養護）と特別養護老人ホーム（以下特養）の拠点内連携を通じたご利用者確保が進み、補助金を除いた場合でも当初予算を上回る実績となりました。

妙法寺地区事業については、早期の経営安定化に向けて各事業の稼働向上および利用促進に取り組みました。収益面では、特養139百万円（対当初予算比5.8百万円増）、SDクルーズ73百万円（同14.6百万円増）と当初予算を上回った一方、サービス付き高齢者向け住宅58百万円（同5.9百万円減）、クリニック8.6百万円（同50.3百万円減）となりました。

サービス付き高齢者向け住宅については、令和8年度上期での満床を目標として、ご利用者獲得を進めてまいります。また、クリニックについては、地域の医療機関や居宅介護支援事業所等に対する広報および連携強化を一層進め、クリニックの機能や提供サービス内容の認知向上を図ってまいります。

### 【費用抑制】

費用面では、人員配置の適正化に加え、物品購入、委託契約、保守契約の見直しを進めました。その結果、水道光熱費や消耗器具备品費については削減効果が見られた一方で、人材紹介料、修繕費、租税公課などの構造的な費用増加要因は継続しています。また、人材確保競争の激化を踏まえ、単なる人件費抑制ではなく、生産性向上と職員定着の両立を重視した組織運営を推進します。具体的には、人事評価制度の充実や生産性向上と連動した賞与制度の構築等を進め、職員のモチベーション向上と法人全体の経営効率化につなげてまいります。

### ③ 設備更新

設備面では、計画通りしあわせの家に係る大規模修繕工事（総額 86 百万円）を実施しました。今後、建物・設備の老朽化に伴う大規模改修および設備更新対応が重要課題となることから、中長期修繕計画に基づく計画的な設備投資と、安定した財務基盤の維持を進めてまいります。

#### <本部管理費用の状況（各拠点会計への配賦額含む）>

<法人本部> ※各拠点会計への本部配賦を含む

(千円)

サービス活動費用		
当年度決算	本部全体(本部直課 + 本部配賦)	
	149,001	
	内訳	本部直課
16,191		
	内訳	本部配賦
		132,810
当初予算	本部全体(本部直課 + 本部配賦)	
	164,049	
	内訳	本部直課
24,184		
	内訳	本部配賦
		139,865
当初予算差	△ 15,048	

本部配賦を含む本部管理費用全体では、対当初予算比 90.8%となりました。主に人件費関連費用の抑制および各種経費の執行抑制によるものであり、本部運営費全体としては計画を下回る水準での推移となりました。内訳としては、本部直課費用が当初予算比△7,993 千円、本部配賦費用が同予算比△7,055 千円となっております。

一方で、本部機能については各事業所への支援体制を維持しつつ、必要な管理業務は概ね計画通り遂行されており、法人全体の運営管理機能は安定的に確保されております。今後につきましては、地域における人材獲得競争の激化が続く中、特に新規事業である「サニープラザ妙法寺」を含め、安定的な人材確保および定着の強化が重要な課題となります。このため、引き続き採用・定着施策の強化とあわせて、経営分析お

よびコスト構造の継続的な見直しを行い、持続可能な運営体制の整備に努めてまいります。

## **4. 部門計画に対する進捗**

### **A.財務部**

**財務部長 村上 哲**

**財務課長代行 中村 健一郎**

経営目標に対する達成度を明確にし、また外部環境変化への対応力を強化する為、今年度より月次化した予算での予実管理の実施を開始致しました。また、当初計画の実施状況は以下の通りです。

#### **① 安定した資金計画の立案**

安定した資金計画を立案に向け、各拠点の大規模改修工事等の計画を整備し、資金計画立案の準備を行いました。

#### **② 長期設備更新計画の立案による経営の安定化**

各拠点における建物、設備等の長期にわたる更新計画の立案に向けて、建築設計事務所と打合せを行い更新計画の立案に向けての準備を行いました。

#### **③ 業務省力化への取り組みの推進**

経理業務の一部アウトソーシングを推進し、今年度3拠点の外部委託を進めました、次年度以降、残り拠点のアウトソーシングを推進し、業務の標準化、省力化及び適正化を進めます。

#### **④ 資産運用計画**

令和7年度事業計画にて計画したように当年度資産運用は行っていません。

### **B.総務部・ICT 推進室**

**総務部長 兼 ICT 推進室室長 村上 哲**

**総務課長代行 兼 集中購買室室長 中村 健一郎**

業務省力化とコスト削減を念頭に、購買・IT・間接業務等の分野でさまざまな省力化・削減を計画し推進しています。

#### **① 間接処遇職員の効率的な業務の設定による生産性の向上**

事務業務のアウトソーシングにおいては財務部と共同して進めています。また、預金の資金集中サービスを利用し、法人内資金の自動集中を始めました。これにより法人の資金繰り計画を容易にし、各拠点、本部間の業務を省力化が行えました。

## ② ICTを活用した業務省力化の取り組みの推進及び統括的な運用管理体制の構築によるコンプライアンスの強化（ICT推進室）

神港園 AI 活用基本方針を定め AI 活用を推進しました。システム更新時期を向かえている勤怠管理システムにおいて、新システムの設定及び入替計画を推進しましたが、ICT 推進室のマンパワー不足により、展開時期に遅れが生じています。

## ③ 法人における事業継続計画（BCP）及び事業継続マネジメント（BCM）策定の推進

本部職員が BCP に関する研修を受講し、BCP 及び BCM のブラッシュアップを進めました。また全職員を対象とした安否確認訓練を定期的実施し意識向上を図りました。

## ④ 業務効率化とコスト削減（集中購買室）

総務部内に設置した集中購買室にて一括調達によるコスト削減を進めるべく、まずは購買量が多いおむつの購入先変更及び集中購買を進めました。また、給食業務におけるセントラルキッチン方式の導入を推進し、今年度においては西区拠点の導入が進みました。

## C.人事部

人事課長(人事・労務担当) 田中 弘俊

人事課長(人材開発担当) 宮山 静華

物価高騰や円安によりインフレ傾向が続く中、職員が安心して働き続けられる処遇環境の整備が重要な課題となっています。このような状況において、生産性の向上と将来を見据え、神港園がご利用者・職員双方から選ばれる法人となることを目指し、以下の重点施策に取り組みました。

### 【地域の同業上位に位置する平均賃金水準保持を必達する精緻なマネジメント】

同業他法人と比較して競争力のある処遇水準を維持するため、収益の向上と費用の最適化を意識した経営を推進し、職員が成果創出に専念できる環境整備に取り組みました。

#### ① 新人員配置基準の運用

人員配置基準の改定に伴い、従来以上に精緻な人員管理が求められる中、人員の過不足見込みを日次で更新し、施設幹部職員と共有できる可視化システムを構築しました。これを異動・採用判断の基礎資料として活用した結果、法人独自の年間平均配置基準に対しての加減配状況は▲1.5人と結果となりました。

#### ② 新人事システムの本格導入

前年度より年末調整業務において SmartHR の導入を開始し、当年度上期には入職・退職手続き、身上変更、各種証明書発行のデジタル化を完了しました。さらに 11 月に

は給与明細の閲覧・出力を SmartHR へ切り替え、人事関連業務の効率化およびペーパーレス化を推進しました。

### ③ 成果に応じた人事考課の反映

目標管理制度を職員の成長を促す育成ツールと位置づけ、上期考課より評価区分を従来の5段階から7段階へ拡大し、より精緻な処遇反映を可能としました。

また、幹部職員研修および職責者研修において人事考課研修を実施し、評価精度の向上と成果志向の浸透を図りました。

さらに、公平性を担保しつつ将来的な処遇水準の向上を見据える施策として、生活実態を踏まえた新たな世帯主等手当制度を導入し、実質的に家計を支えている職員への配慮を行いました。名義上では非世帯主でありながら、主たる世帯収入者となっている職員に酬いる手当を取り入れて、仕事と生活とモチベーション向上を図る改定を行いました。

また、資源を有効活用するため、通勤手当を実費の計算費用と支払い方法を改め、これまでの分割支給方式から、6カ月定期券相当額を一括で支給する方式へ変更いたしました。世間一般でも主流となっている6カ月定期を基準とした支給方法を採用しました。なお、本制度については精算ルールを整備し、適正な運用管理を行っています。

### 【個人毎の希望に沿った、より柔軟な働き方提供による職場満足度の向上】

神港園で働くことに対する満足度を高め、長期就業を促進するため、多様な働き方を実現する人事施策を推進しました。

#### ① 外国人介護人材の充実

年度末時点で外国人職員は23名が在籍しており、新年度6月に向けて6名の採用に向けた取組みを進めました。長期雇用が見込める協力組合や採用国の選定を行い、安定的な人材確保に努めています。

#### ② 働き方改革に着手する施策

以下の施策を実施しました。

- ・公休日数12日制を試行後、本格導入しました。
- ・テレワークの利用範囲を明確化し、申請システムを導入しました。
- ・法人内兼業（業務請負）制度を導入しました。
- ・職員紹介を制度化し、職員に協力してもらいやすい体制をとりました。
- ・永年勤続表彰を拡充しました。
- ・神戸市の推進する超短時間雇用を導入しました。

#### ③ 事業運営プラス会議での経営トップとの直接対話の機会の継続

各施設において会議を実施し、経営トップとの双方向コミュニケーションを通じて職員の理解促進とモチベーション向上を図りました。

### 【研修や人事異動の有効活用による人材の長期キャリア形成と組織活性化】

職員個人の成長が法人組織全体の総力アップであることを前提に、組織課題の明確化により職員と職場がともに成長し続ける環境をつくる施策を行っています。

#### ① 教育研修による職員のスキルアップ

年間の研修結果を踏まえて、全体のレベルアップを図るべく階層別研修・職種別研修・OJTの分けとカリキュラム編成を一部のみ見直しましたが、途上中であるため、新年度に再構築します。

#### ② 異動による組織活性化

サニープラザ妙法寺に絡む異動、地域包括支援センターの職責者を含む異動等により、また、新幹部職員登用と採用により、組織の活性化と経営力強化を図りました。

#### ③ 職員意識調査の活用

記名式と無記名式の調査を実施し、回答率 80%を達成しました。結果を分析し、組織改善に活用しました。

#### ④ 採用後職員の定着化

離職率は 18.1%（前年度比+1.8%）となりました。一方、人材紹介料は前年比 625 万円削減しました。今後は定着率向上に向けた取組みを強化します。

## D.事業部

事業部長 久保 浩明

### 1. 事業報告

令和7年度の事業部は、各拠点・各部門の事業運営に継続して関わりながら、妙法寺拠点への経営関与、事業系部会・委員会活動への参画、法人研修（けあスクール神港園）事業の企画・運営等に取り組みました。なお、年度後半の令和8年2月には担当幹部職員の体制変更が行われ、新体制への移行対応も並行して進める年度となりました。

事業部としては、法人運営上において横断的に関与する役割の部署として、各事業や研修事業に一定程度関与しつつ、必要な調整や企画を行ってきました。しかし、人員体制の限られた状況での対応により、資格取得支援研修の企画や運営上の提案等での一定の成果の反面、取組の一部はケアスクール事業を含め課題の把握・整理までに留まるものも発生しました。個々の課題認識は進んだものの、部としての担うべき役割に対してマンパワーが不足している状況を含め課題を残しております。

## 2. 経営報告

<けあスクール>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	439	964	△525
②当初目標額	1,524	2,538	△1,014
差額(①-②)	△1,085	△1,574	489

### 【情勢と取り組み】

#### ① 年度の情勢

令和7年度は、事業部の関与する教育・研修事業として、けあスクール神港園における実務者研修スクーリングに、12名が受講・修了しました。そのうち10名が介護福祉士資格を受験し全員が資格を取得し、法人内人材の資質向上に寄与する成果につながりました。

一方で、けあスクール神港園が開催する講座において、中止や補講増加、学則と運用ルールの齟齬、補助金運用の整理不足など、運営基盤の弱さが顕在化しました。また、事業部として法人全体を横断的に関与する役割を果たす中で、課題把握と整理に取り組みましたが、限られたマンパワーにより、実行段階まで十分に踏み込めていない状況が確認されました。

#### ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

##### 【収入確保】

- ・補助金制度と運用ルールの整合性不足が、収益確保の妨げとなっていることを課題として整理しました。
- ・講座開催基準や講義スケジュール等について、受講希望者の実態に即した見直しが必要であることを令和7年度の事業運営を通じて把握しました。

##### 【費用抑制】

- ・欠席対応や補講増加に伴う講師費の増大が、費用面の課題として顕在化しました。
- ・学則および運用ルールの未整理が、追加的な運営コスト発生要因となっていることを課題として抽出しました。

#### ③ 設備更新

研修実施環境において、老朽化や使いにくさが見られる備品が確認されました。令和7年度は更新に向けた整理・検討段階に留まりましたが、研修の質および運営効率向上の観点から、計画的な見直しを課題として整理しました。

## E. 企画室

企画室チーフリーダー 清水 邦子

令和7年度は、職員の兼務業務の影響により目標達成に至らない点もありましたが、情報発信による法人の「見える化」やICTを活用した業務効率化、ハラスメント防止の取組において一定の成果を上げることができました。

新年度は、取り組むべき施策の優先順位を明確にし、計画を着実に実行することで、法人の成長と職員が安心して働ける環境づくりにより一層貢献してまいります。

### ① 全般の発信強化による法人の魅力向上・ブランド力強化

SNSは、令和5年9月11日の初投稿以降、職員への業務委託も活用しながら、法人ブログとともに安定した運用を継続しております。上期に引き続き、下期（令和7年9月～令和8年3月）においては、Instagramの閲覧のべ数約9.3万回、閲覧者数5,361アカウントとなり、継続的な発信により安定した認知の獲得が確認されました。

次年度は、内容および導線の見直しを行い、情報発信の質を高めるとともに、具体的な行動（いいね等）につなげる取り組みを強化してまいります。

### ② ハラスメント防止

包括・居宅部会と協働し、兵庫県メンタルヘルス事業の一環として外部講師を招へいし、カスタマーハラスメントおよびメンタルヘルスに関する研修を実施しました。延べ24名の職員が受講し、理解の促進を図りました。

### ③ ICT活用促進

ICT推進室と連携し、議事録作成アプリ「noman」を全拠点へ導入しました。議事録作成に要する時間の短縮や業務効率の向上が見られ、残業時間削減にも寄与しています。今後は、nomanの他業務へのICT活用の拡大についても検討してまいります。

また、ICT推進室によるAI活用の法人全体への展開についても協働しました。

### ④ 法人課題への対応

各種委員会の事務局として会議運営を支援する役割については、通常業務対応に留まり、課題抽出や具体的施策への展開は行えませんでした。

## **<4. 委員会・部会・プロジェクト>**

### **A.3 1 ヴィジョン構想委員会**

**委員長 船江 孝志**

法人理念を念頭に、『かかわるすべての人の心のこもった笑顔を実現する』をヴィジョンとして5つの視点で 実現を目指し、計画に位置付けた5つの視点（地域公益・財務・顧客・業務プロセス・学習の視点）に知見を有する委員を担当者として協議をしましたが、議論は重ねるものの抽象的な議論となり、具体的なロードマップの作成に進むことが出来ませんでした。

3年間での実行、創立80周年である2031年の前年となる2030年までの実現に向けたロードマップの作成に向けて、従来の5つの視点を改めて見直し、法人の価値の最大化を目指した3領域（物的インフラ・業務インフラ・人的インフラ）に再整備し、プロジェクトリーダーを決め、中長期的を担う31 ヴィジョン構想委員会と短期的実効性をなう重点計画推進委員会を実務的に一体的に動かすための合同委員会を開催し方向性を決めました。

31 ヴィジョン構想委員会では、早期に法人創設80周年に向けた、法人の価値の最大化に向けたロードマップ作成に取り組んでいきます。

### **B.重点計画推進委員会**

**委員長 久保 浩明**

令和7年度の重点計画推進委員会は、法人事業計画に定められた重点事項の推進を目的に、各部会および各事業部門等が進める取り組みについて、法人全体の視点から検討・支援を行うことを中心に運営しました。その中でも、事業運営、人材、業務効率、処遇、ICT活用など、法人の重点事項に関わるテーマを中心に協議・提案を行いました。

#### **① 各部会・人事案件に対する検討・助言**

各部会および人事部等から提示された案件について、現場実態や法令面、他事業との関係性を踏まえ、論点整理や方向性の確認を行いました。

登録型ホームヘルパーの給与や手当の考え方、地域包括支援センターの体制に関する事項など、制度全体に関わるテーマについては、個別判断に委ねる前提のもと、検討を進めるうえでの視点や留意点について整理・検討を継続しました。

#### **② 人材・働き方・処遇に関する論点整理**

人材育成や働き方に関するテーマでは、研修の実施方法や現場負担、処遇に関する考え方について、課題整理と意見交換を行い、研修の効率化や実施方法の工夫、手当支給の在り方などについて、今後の検討に資する論点整理を継続しました。

### ③ 業務効率化・ICT 活用に関する検討支援

業務効率化や ICT 活用については、勤怠管理、打刻方法、電子契約等を中心に、現状や課題について情報共有と意見交換を行いました。具体的な導入や運用判断は各部門に委ねる前提としつつ、法人事業計画の重点事項である業務の効率化に向けた検討が進めやすくなるよう、論点整理と検討支援を行いました。

令和 7 年度は、重点計画推進委員会として、法人事業計画の重点事項を踏まえながら、各部会・各部門の取組に対して検討を実施し、次年度以降の事業推進につながる整理を行った年度となりました。

《事業目標》心温まる支援／くつろぎと安心のある施設/住み慣れた我が家で、自分らしく生き生きと！

【2】西区拠点(養護老人ホーム神港園／神港園シルビアホーム/介護しよっぷ神港園)

養護老人ホーム神港園 施設長 舩江 孝志

神港園シルビアホーム 施設長 久保 浩明

副施設長 山本 秀幸

**1. 事業報告**

令和7年度は、前年度から続く人材不足や拠点組織体制の変動、感染症対応等に直面し、限られた人員のもと各部署で業務負担が増加する中での事業運営となりました。そのような厳しい状況においても、職員一人ひとりが創意工夫と連携により拠点運営を維持・継続し、新たな取組にも積極的に挑戦してきました。

こうした日々の積み重ねが、結果として収支面においても前年を上回る実績を確保するとともに、拠点運営の基盤を維持・強化した一年となりました。現場を支え続けていただいた職員の努力と尽力に、深く感謝いたします。

上期においては、介護機器・ICTの活用を進めるとともに、生活相談員を中心とした情報集約・部門間連携体制の構築に取り組みました。部署間の情報共有が進み、現場判断のスピードや対応力が向上するなど、拠点全体として前向きな変化が見られました。

期中、法人の人事異動による幹部職員および相談員体制に変更が生じましたが、こうした変動の中においても、拠点職員が互いに補い合いながら業務を継続したことで、事業の停滞を招くことなく年度を通じて運営を維持することができました。

サービス品質向上の面では、介護機器やICTの活用により安全性や業務効率が高まり、行事や外出の再開を通じて、ご利用者の日常生活に潤いを取り戻す取り組みが少しずつ進められています。限られた人員体制の中ではありましたが、「できる形」を模索し、実行に移した職員の取り組みが成果につながった一年であったと評価しています。

介護部門においては、特養3階フロアを中心とした業務の一体運用を次の段階へと進め、人員が十分でない状況下でありながら勤務体制を維持することができました。これは現場職員の柔軟な対応力と協力体制によるものであり、拠点運営を支える大きな力となりました。

また、年度末には福祉用具事業(介護しよっぷ神港園)が西区拠点に加わりました。事務部門を中心に業務負担の増加が懸念事項としてありますが、職種の枠を越えた連携により、拠点機能拡充へ向けた準備が進んでいます。

以上のとおり、令和7年度は厳しい運営環境の中にあっても、職員一人ひとりの努力と工夫により、安定した拠点運営と成果の両立を図ることができた一年となりました。

本年度において明らかとなった成果と課題を踏まえ、令和8年度は業務の質と組織力の向上に重点を置き、より安定した拠点運営の確立に取り組んでまいります。

## 【重点報告】

### ①福祉施設・福祉事業所としての価値向上

#### (1)サービスの質向上

老人福祉施設連盟全国大会・近畿大会等の外部研修への派遣や、ICT・介護機器を展示紹介する福祉フェアへの委員会担当職員の派遣を実施し、また施設内においては、オムツメーカーによる排泄介助技術研修を定期開催し、職員の専門性向上を図りました。研修内容は個々の支援場面に反映され、ご利用者対応の丁寧さや安全意識の向上といった形で、日常業務に活かされています。

今後は、こうした個々の学びを拠点全体へと浸透し標準的な支援につなげていくことが課題ではありますが、現場職員が学び、実践している姿勢は拠点の強みと捉えています。

#### (2)ICTの活用

インカムや見守りセンサー等のICT機器は、特に少人数体制時や夜間帯に大きな効果を発揮し、業務の効率化と安全性向上を両立し、職員の負担軽減につながっています。

機器活用の習熟度には個人差があるものの、「現場で使い続ける中で定着させていこう」という前向きな意識が根付きつつある一年となりました。

職員の意欲は向上傾向にあります。これら機器については、停電や一時的な情報処理許容量オーバーによる停止等、現状は、個人の習熟度や機器の安定運用に課題を抱えている状況でもあります。

### ②人材マネジメントとキャリア育成

#### (1)各部門職員体制の確保

介護・看護職員を中心に採用環境の厳しさが続く中で、派遣職員や短時間アルバイトを活用しながら事業運営を継続しました。

職員の負担は決して軽いものではありませんでしたが、運営継続に向けて新たなことに取り組みを続け、支援の質や事業実績を維持し、高い業績につなげた点は高く評価しています。

#### (2)スムーズな業務進行

介護補助職員を配置し、居室清掃等の環境整備を任せることで、介護職員との業務分担が進みました。その結果、介護職員が専門業務に集中できる環境が整い、新人職

員が独り立ちするまでの期間短縮につながりました。また、期中の異動等による体制変更においても、後任職員と既存職員が密に連携し、役割を補い合うことで混乱を最小限にとどめ、安定した運営が維持されました。

### ③職員の力を引き出す業務環境整備

#### (1)安全対策として

フロア内危険箇所の確認や不要物品の整理を進め、ご利用者・職員双方にとって安全で動きやすい環境を整えました。日常的な積み重ねではありますが、事故予防意識の定着という点で重要な取り組みとなっています。

#### (2)快適な居住・業務環境に向けて

本年度は、特養3階介護事務室および職員休憩室の改修工事を実施しました。業務効率の向上と職員のリフレッシュ環境整備ができました。

引き続き、職員が安心して働ける環境づくりを進めることで、結果として安定した事業運営と業績に繋げていくことを可能とすると考えています。

## 2. 経営報告

### <養護老人ホーム神港園>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	138,305	145,584	△7,279
②当初目標額	138,898	155,385	△16,487
差額(①-②)	△593	△9,801	9,208

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

### 【情勢と取り組み】

#### ①年度の情勢

令和7年度は、入居待機者不在および利用率低下という構造的課題に対応するため、契約入所制度の積極的な受け入れを進めたことに加え、大きな感染症流行がなかったことから、年間在園率95.2%(前年86.8%)、月初在籍率99%(前年92.8%)となり、大幅な改善が見られました。これにより、概ね安定した運営を維持できております。

収益面では、措置費単価減額(年間2,077千円減)の影響があったものの、措置費収益は前年比4,186千円増、契約入居による収益も956千円増加いたしました。契約入居制度は稼働率向上と収益確保の両面で効果を発揮していると考えております。

一方で、ご入居者の重介護化および医療ニーズの増加が進行しており、養護老人ホーム（以下養護）の設備・体制では対応が困難となるケースが常態化しています。また、本来であれば退居調整を要する状態であっても、入居待機者不在のため施設生活の継続を余儀なくされる事例が増加しています。

これにより、入所および退所の双方が停滞する「措置控え」「退所控え」の傾向が生じており、利用率低下と待機者不在が相互に影響し合う構造問題となっています。この傾向は神戸市内の養護全体に共通して見られる状況と認識しています。

## ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

### 【収入確保】

養護は措置制度を基盤とする事業特性上、施設独自での収入確保が困難な状況にあります。そのような中、令和6年度より検討・準備を進めてきた契約入居制度について、令和7年度から本格運用を開始しました。

各区役所措置担当者との継続的な情報共有、地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所との連携強化を通じて、施設の役割や受入可能な利用者像の周知を行い、その結果、必要な方が必要な時に利用できる契約入居による受入体制が整い、通期収益改善の結果に至りました。

### 【費用抑制】

費用面では、シルビアホームと共同利用していた水道管漏水工事が完了したことにより、水道料金が削減できました。また、消耗品の使用量管理や、敷地管理業務等について業者依頼ではなく職員へ業務委託を行うことで、費用抑制に取り組みました。

## ① 設備更新

建物竣工から20年以上が経過し、耐用年数を超過する設備が増加していることから、突発的な修繕対応に偏らないよう、計画的な設備更新を進めています。

中長期的に更新が必要な設備として

- ・キュービクル
- ・エレベーター
- ・ご入居者居室ルームエアコン（約50台）
- ・館内トイレ設備 等

があり、いずれも高額かつ重要度の高い設備となっています。

今後も、設備により単年度分割実施を基本とし、優先順位を整理したうえで、法人集中購買室と連携しながら計画的な更新を継続していく方針です。

**<神港園ホームヘルプセンター>**

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	72,922	58,596	14,326
②当初目標額	66,506	52,025	14,481
差額(①-②)	6,416	6,571	△155

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

**【情勢と取り組み】****① 年度の情勢**

施設向け訪問介護については、養護の利用状況が比較的安定して推移したことから、サービス提供回数も年間を通じて概ね安定した状況となりました。

在宅向け訪問介護については、前年度まで課題であった事業所職責者不在の状況が解消され、令和7年度より新たな体制での運営を開始しました。その結果、指揮命令系統が明確となり、サービス調整および労務管理が安定し、提供回数は回復から増加へと転じています。

地域全体では高齢者人口は緩やかな減少傾向にある一方、訪問介護事業所は人材不足により事業縮小が進んでおり、結果としてサービス需要は維持または増加する構図が見られました。

**② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）****【収入確保】**

地域におけるサービス提供体制の空洞化が進む中で、必要な方への継続的な支援を行うことを重視し、登録ヘルパーの採用活動を継続するとともに、常勤職員中心の体制による安定的な事業運営を進めました。

職責者配置による運営管理体制の強化と、既存職員のスキル向上により、通期として収益性は改善方向へと移行しています。

**【費用抑制】**

西区神出町という地理特性上、車両使用頻度が高く燃料費負担が課題となっておりますが、サービス提供地域やスケジュールの見直し、拠点内での車両共同使用により、可能な範囲での費用抑制に取り組みました。

**③ 設備更新**

事務所設備および車両については、養護との共同使用・共同管理を行っており、年度内における大きな設備更新はありませんでした。

引き続き、適正な管理のもと、安全かつ効率的な事業運営を継続してまいります。

<神港園シルビアホーム>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	762,302	709,610	52,692
②当初目標額	743,933	725,471	18,462
差額(①-②)	18,369	△15,861	34,230

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

**【情勢と取り組み】**

**①年度の情勢**

感染症対応、人員確保の難しさ、地域における介護サービス環境の変化といった複数の要因が重なり、年間を通じて柔軟な対応と事業所間の連携を求められる一年でした。

入居系事業においては、感染症発生に伴う入退去の調整や、ご利用者の医療ニーズの高まり、看取りによる退所者の増加など、施設稼働に影響する事象が多く発生しましたが、養護を含めた拠点内連携を重視した受入調整と情報共有を継続した結果、年度後半には各事業稼働率の安定化を図ることができました。

一方、在宅部門を取り巻く環境は依然として厳しく、特に地域内での競合事業所の増加や高齢者人口の緩やかな減少が見られる中、単純にご利用者増加を目指すのではなく、各事業の役割や強みを意識した運営が求められる状況となってまいりました。

人員体制については、採用活動を継続する中で、一定の新規採用職員を迎えることができましたが、常に職員育成の期間が発生していたこと、職員の異動・退職も重なり、年度を通して法人人員基準の達成には至りませんでした。これにより、職員採用経費負担が重荷になっていることや、職員一人ひとりの業務負担が高止まりしている状況から、業務の効率化や職員育成、そして離職防止施策が拠点全体の重要課題として浮き彫りとなりました。

このような情勢の中、単年度の数値成果のみを追うのではなく、持続可能な運営体制の構築に向けた基盤整理を進める年度として取り組みました。

**② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）**

**【収入確保】**

特養およびショートステイでは、感染症時の対応を含めた運営体制の安定化に取り組みました。両事業の生活相談員が情報共有と対応の迅速化に努め、サービス利用・

施設入居調整を連携して行うことで、適時、適切なサービス提供が実施できるようになり、サービス利用率の向上につながりました。

デイサービス事業所については、レクリエーション内容の見直し、ご利用者・ご家族との関係づくり、居宅介護支援事業所への定期的な訪問と情報提供を積み重ねた結果、ご利用者の定着や体験利用の増加といった一定の成果が見られ、近隣競合が増えた環境下においても、利用率は年度末に向けて着実に増加が見られました。

各事業のサービス利用率の増加傾向が見られた中で、人員不足が長期化している問題や地域ニーズおよび他事業所の動向を踏まえたサービス内容や運営方法の検討が重要な課題として残りました。

### **【費用抑制】**

業務効率の向上と費用抑制の両立を目的として、排泄介助方法の見直しを実施しました。吸収性能の高いオムツ類の選定と介助手順の変更により、介助回数の減少や残業時間の抑制が図られ、職員負担軽減と経費抑制の両面で一定の効果を上げつつあります。

加えて、日用品や事務物品における代替品の活用、設備・建物修繕における優先順位の明確化と業者選定の徹底、敷地管理業務については職員への業務委託を実施するなど、サービス品質を維持した上での経費削減に継続して取り組みました。

一方、人材採用に伴う費用増加が高止まりしている状況が続いていることや、各種物価高騰の影響は、現場努力だけでは吸収しきれない状況も続いています。今後については、職員育成と業務環境改善に注力し離職防止への注力を図る等、短期的な削減のみならず、中長期的な視点での支出構造の整理といった課題を残しています。

### **③ 設備更新**

ご利用者の生活環境の維持・向上および職員の業務負担軽減を目的として、年度計画に基づく設備更新を実施しました。ご入居者利用設備として、特殊浴槽、車いす、介護用ベッドの更新を進めたほか、補助金を活用し24床に天井走行リフト増設を行い、介護業務の安全性と効率性の向上を図りました。

業務改善を目的とした設備更新としては、特養3階の介護事務室および職員休憩室の改修、温冷配膳車1台の更新、屋上給水層設備の補強工事等を実施しました。

シルビアホームにおいては、大規模改修工事が完了したことにより、通常の建物・設備管理を基本としながら、計画的な点検・更新を通じて長期的な施設活用を目指した運営を進めてまいります。

## <介護しょつが神港園>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	33,729	37,126	△3,397
②当初目標額	37,772	38,117	△345
差額(①-②)	△4,043	△991	△3,052

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

### 【情勢と取り組み】

#### ① 前年度の情勢

収入は目標をやや上回ったものの、収支差額は目標値に届きませんでした。なお、3月に須磨区拠点より西区拠点へ移転となりました。

#### ② 経営強化施策（収入確保と費用抑制）

##### 【収入確保】

介護保険を使った福祉用具貸与が45.2%、それ以外のサービスが54.8%となっています。対目標は福祉用具貸与が▲5.6%となりました。介護保険を使った福祉用具貸与の割合を増やしていくことが安定運営の柱となります。事業所移転を機に、改めて法人内外への営業活動に注力してまいります。

##### 【費用抑制】

仕入率が、令和6年度73.8%に対して令和7年度70.6%で対目標まで0.6%未達でした。今後も大きな課題として卸業者との折衝を継続することと、法人規模を活かした物量の増加に取り組んでまいります。

### 3. 危機管理方針及びリスクマネジメント

#### ① 事故及び虐待防止の取り組み

行政への報告対象となる重大事故は本年度3件（骨折2件・離園1件）発生しました。いずれも昨年度と比較すると件数は減少しております。

昨年度よりICTの導入（見守りカメラ〈ネオスケア〉、天井走行リフト）が進み、今年度はさらに天井走行リフトの増設およびインカムの導入を開始し、ICT化が一層推進されました。

これにより、見守り体制の強化や職員間の情報共有がリアルタイムで可能となり、事故防止に対する効果が大きいと期待されます。

虐待防止については、「気づき」と「褒め合い」を重視したグッドネス報告を推進し、悪いところばかりに目が行くのではなく、良い点について職員間の声かけやチーム意識の向上を図っています。今後も研修を通じて意識定着を目指します。

## ② 苦情対策

今年度、ご利用者およびご家族からの苦情は0件であり、要望が1件といった結果でした。これは、昨年度より徹底してきた「ファーストレスポンス（初期対応）」の重要性が職員間に定着し、不満の芽を早期に摘み取る迅速な対応が実践された成果と言えます。しかし、この結果に甘んじることなく、次年度は潜在的なニーズを汲み取れるよう、ご利用者が些細なことでも声を出しやすい「一歩踏み込んだ関係づくり」をさらに強化する計画です。あわせて、カスタマーハラスメント研修の受講等により、ハラスメントへの組織的な対応力向上を図りました。ご利用者満足度の追求と職員の安心な就業環境の確保を両立し、より健全な事業運営に努めていきます。

## ③ 感染症対策

今年度の感染症件数については、インフルエンザ（ご入居者6名、職員3名）が発生しましたが、迅速な隔離措置対応により2週間で完全収束することができ、前年度の新型コロナウイルス感染症クラスターの教訓から職員の初動対応も迅速に行うことができました。発生時だけではなく、日頃からの感染予防の周知徹底を行い、感染症リスクの回避に次年度も努めていきます。その他、尿路感染症など日々のケアから予防できるものに対しても、今年度から次年度にかけて研修会を計画しております。

## ④ 災害対策と事業継続計画

今年度は実効性の高いBCPの定着を目指し、全職員参加による実践的な防災訓練を行いました。実際に発電機などの設備に触れる体験型の訓練を通じ、実践と役割を再認識できたことは、全体の危機管理意識向上に大きく寄与しました。また、非常食の管理および実践を交えたことで、より実践レベルで動くことができるようになりました。次年度も、変化するリスクに即応できるよう定期的な見直しを継続していきます。

## 《事業目標》高齢者が自分らしく暮らせる地域ネットワーク拠点

### 【3】神港園しあわせの家

施設長 高谷 明  
施設長代行 前田 大輔  
副施設長 鷺尾 亜岐

#### 1. 事業報告

神港園しあわせの家は、事業目標である「高齢者が自分らしく暮らせる地域ネットワーク拠点」の実現を目指すため、地域から必要とされる高齢者福祉資源として、高齢者が持続的に安定した生活が営めることを総括方針としています。拠点の総括方針に到達に向け、しあわせの家では法人の総括重点計画に沿って各種の実施計画を策定し、以下の重点報告のとおり、令和7年度通期において様々な活動に従事してまいりました。

#### 【重点報告】

##### ① 福祉施設・福祉事業所としての価値向上

###### ＜ご利用者満足度とサービスの質の向上＞

- ・しあわせの家の「強み」を活かしたケア等の提供

認知症専門施設として培ってきたケアのスキルを活用し、認知症の進行状況に応じたケアや生活支援に取り組んでいます。馴染みの関係性づくりを大切にしながら、介護・看護・医療・栄養部門と連携して支援を行っています。また、複数の職員が認知症介護実践者研修やユニットケア研修を受講し、習得した知識をもとに実践しています。現在は、行動・心理症状の緩和を目的としたケアにも取り組んでいます。

- ・ご入居者、ご利用者の楽しみのあるご本人らしい生活の実現

個別ニーズの把握に努め、サービスの質の向上につなげられるよう余暇活動や生活リハビリ等、個別ケアの充実に取り組みました。具体的には施設行事や集団余暇活動に加え、日々の日課的な趣味活動の支援、生活リハビリの実施に努めました。

- ・しあわせの村という自然あふれるロケーションを活かしたサービスの展開

村内の散歩や村内行事への参加、ご入居者家族会行事参加と後方支援、在宅介護中のご家族支援等を目的とした在宅家族会の再開を下期に実現しました。

###### ＜ICT 関連機器や介護支援ロボット等の導入による科学的根拠に基づくケアの推進＞

見守りセンサーシステムのデータ（夜間の覚醒状況、生体情報等）を活用し、科学的根拠に基づいたご入居者ごとの生活習慣様式に沿ったケアの提供を実施しました。

補助金を活用し、浴室に移乗介助用介護支援ロボット（天井走行リフト）を本館2階、グループホーム棟に導入したことにより、介護中の事故やヒヤリハット事案の発生率の減少に効果がみられています。

その他、床走行式リフトを活用し、ご入居者と職員双方の移乗介助時の負担軽減を図り、職員の腰痛率の減少化、業務負担軽減により、介護業務標準化を目指しています。次年度は介護技術習得に係る時間の短縮と新規採用職員の定着率向上につなげていくため、取り組みを継続して参ります。

## ② 人材マネジメントとキャリア育成

各専門職の階層別スキルアップに必要な内部・外部研修の受講を促進してまいりました。（リフトリーダー養成、認知症介護実践者、介護技術、苦情対応、外国人職員育成、ハラスメント防止、メンタルヘルス、栄養看護、感染症予防、褥瘡予防、コミュニケーション向上研修等）研修で学んだことを施設内で共有し、実践していくことで、人材育成のみならず部署全体の組織力向上にも効果がみられました。

新規採用後の OJT 研修の充実（育成にあたる職員の役割の明確化とプログラムの標準化）を行いました。部門ごとに OJT を担う職員にその目的と役割の再認識を図り、プログラムの標準化を行い、定期面談の必要性なども周知し、OJT がより有効的に実施できる環境づくりに努めています。

外国人職員に必要な研修の実施（日本語勉強会・資格取得支援等）、外国人職員の初任者・実務者・介護福祉士等の資格取得に向け、業務や日本語の習熟度に併せた拠点独自の研修受講や勉強会を実施しました。その結果、外国人職員の国家資格取得に一定の貢献をすることができました。

キャリア育成に有効な外部研修の受講を促進し、拠点運営の中核となる次期職責者の育成に努めた結果、今年度も新職責者を輩出することができました。

次年度においても引き続き取り組んでまいります。

## <事業実情に応じた適正人員配置数の見直しと役割発揮度向上に必要な体制構築>

各事業の実情に応じた適正人員配置数の見直しとして、3交代制夜勤の様々な負担軽減を目的とした見直しを検討しました。

具体的に、夜勤職員の単独配置時間に業務が集中することへの対策として検討を行いました。あわせて、公休数の増加によるワークライフバランスの向上や、人員不足に起因するローテーション勤務で発生するつなぎ残業時間の常態化解消を目的に、夜勤勤務時間の改善についてシミュレーションを実施しました。

その結果、夜勤2日勤務体制は、部署によっては各種の課題解決に有効であると考えられます。次年度においても、ご入居者と職員双方にとっての安全性や有効性が確保できるかについて検討・検証を実施します。最終的には、これに伴う必要な人員配置数の算出等を行い、改善に必要な夜勤勤務体制の確立を目指します。

職員充足が追いつかないことにより業務量が増大し、特に介護現場では人員不足による残業の慢性化がみられ、業務が逼迫している状態です。これらを要因として、若年層職員の離職が見られる他、後進の育成に支障を来す兆候や、傷病等による休職や

業務一部制限勤務者の増加もみられます。業務改善や介護支援機器導入等、労働環境の改善だけでは、これらの課題の解消には至っていません。

離職が発生した際直ちに業務が逼迫することがないように、必要な範囲で余裕をもった人員配置基準の策定が求められます。

予算において部門ごとに必要な職員を配置できるよう、人事部とも連携し、採用率の向上に努めてまいりました。職員体制の安定化や労働環境の改善により上記の課題解決とサービスの質の確保、離職防止、能動的人事や活動がしやすい環境の中で、働きがいがあり長く勤めることができる福祉施設を次年度も目指し、新たな取り組みを検討してまいります。

### ③ 地域福祉拠点における役割と人間力の向上

良好な職場風土と環境づくり及び職員間コミュニケーションの活性化の必要性和重要性の周知とともに、相互理解を深め良好な職場風土の構築の為、外部研修を受講した職員による研修報告を各職場会議にて実施しました。今後も継続的な啓発に取り組み、さらなる職場環境の向上に努めてまいります。

地域交流活動や地域行事への参加を通じて、認知症や高齢者介護の啓発、法人・施設の活動PRおよび職員募集を実施しました。これにより、地域における神港園しあわせの家の認知度向上を図る広報活動を推進しました。昨年引き続きこれらの活動を通して、地域住民、各種関係団体、同業種事業所や民間企業等と関係性の構築に役立てることができました。<リフレッシュ教室（地域包括支援センター実施・神戸市委託事業）講師に各専門職を派遣、神戸市北区しあわせの村祭り・北五葉小学校夏祭り、西鈴蘭台地域の夏祭り出店要員派遣・ひよどり台等の地域行事に参加>

## 2. 経営報告

### <神港園しあわせの家>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	872,603	841,915	30,688
②当初目標額	866,875	856,035	10,840
差額(①-②)	5,728	△14,120	19,848

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

### 【情勢と取り組み】

#### ① 年度の情勢

令和7年上期に特養において発熱を中心とした感染症が流行し、ご入居者の重症化による入院、新規ご入居者受入れの一時休止等の影響により稼働に制限を受ける状況となりました。

また、北区においては要支援認定者数の増加が顕著で、これに伴い、要介護認定者を対象とするデイサービスのご利用者が減少していると推察されます。

介護度が低い間に各種の施設へ入居する傾向も引き続きみられ、これらの影響を受け、認知症デイサービスの稼働が大きく後退しました。しかし、9月以降に近隣の認知症専門医療機関付属のデイケアの閉鎖による当デイサービスへの多数のご利用者の振替利用があり、そのため下期は稼働状況の回復がみられました。

一方ショートステイは、令和7年上期において感染症クラスターの発生もなく、稼働は回復傾向がみられました。しかし、下期以降は新規ご利用者の重度化や医療的対応が必要な状態が特に長期ご利用者にみられ、医療機関への受診や入院対応により稼働率が低下し、定期ご利用者の相次ぐ入居なども加え、稼働率の回復に至りませんでした。

費用については、デイサービスの床下漏水工事の実施や外壁塗装工事の追加として、雨樋や天井漏水後の修復、瓦と屋根の修繕など含め、当初予算より工事費が増加しました。その他設備について、経年劣化による突発的な修繕費が継続的に発生しました。

設備更新も必要な事案が複数ありますので、大規模修繕計画を策定し、改修等に着手していきます。次年度も感染症の発生後のクラスター化防止に努め、安定した収入の確保を図り、年間増減差額の確保に努めてまいります。

## ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

### 【収入確保】

感染症予防対策の実施と拡大予防対策の強化、特養待機者の確保として、ショートステイ長期ご利用者の受入れの促進、外部医療機関との連携強化を図ったことでショートステイからの新規特養ご入居者が12名となり、待機者確保に成果がみられました。また、サービス提供部門の活用を促進し、収入確保を図るため、拠点内の全部門の連携強化対策として、収益安定化対策会議を毎月開催し、新規顧客獲得など稼働安定を図って参りました。

### 【費用抑制】

水道光熱費の削減、特に適正な電気の使用（空調・照明等）を継続して会議等で検討し、コスト削減に繋がりました。また、本館貯湯槽からの漏水への対処として、要因となる手元水洗の老朽化解消工事を実施したことで漏水量が激減しました。

人件費については離職後の職員の採用が進まず予算未消化傾向が継続したことにより、人件費当初予算を下回り、結果としてコスト削減となりましたが、次年度は人員不足が速やかに解消されるよう本部と連携強化を図り努めて参ります。

## ③ 重点強化事業 設備更新

令和6年1月から実施しました施設外壁塗装工事は令和7年9月に無事全工程終了しています。屋根、瓦、雨樋、屋内天井補修等の追加工事が必要となり、当初予算より9,218千円増となりました。

本館2階エレベーター更新工事を令和8年12月に実施予定です。費用は昨年度見積もりより人件費と物価高騰により約1,000千円増額となる見込みです。

本館2階の貯湯槽の満水状態により湯水の漏水が続いていましたが、下期に一部の手元水洗を修繕した結果、漏水は止まっています。給湯設備更新工事の計画については他の優先される工事が実施できるよう、次年度の大規模修繕工事計画を本部と協働して作成、対応してまいります。

ナースコール更新工事において、全館のナースコールの部品供給が既に終了しているため、システムの更新が必要となります。大規模修繕計画に位置付け、更新工事実施に向け検討していきます。

### **3. 危機管理方針及びリスクマネジメント**

#### **① 事故及び虐待防止の取り組み**

##### ・虐待防止の取組

下期も全体研修にて、法律の基本的な考え方の再周知、潜在的な可能性のある不適切ケアの事例を通じたグループワークで新たな気づきを共有し、日常のケアの振り返りにもつながりました。

虐待防止・身体拘束廃止委員会では、虐待事例をもとに各専門職がそれぞれの立場を活かした多職種連携としての検討を重ねました。また、全職員が各職種に特化した「虐待の芽チェックリスト」で自己点検と振り返りを行いました。

##### ・事故防止の取組

入居部門では見守りシステムの導入によりご入居者の特性に応じた対応、モニターによる優先順位の把握、転倒要因の分析に基づく対策を実施した結果、昨年度に比べ骨折事故が減少しました。誤嚥事故再発防止に向け、事故直後に勉強会を実施し再発防止に努めました。

#### **② 苦情対策**

施設において、大幅な面会制限緩和により日常からご家族が来園される環境となり、職員とご家族とのコミュニケーションの機会が増え、施設生活がより透明化したことが相互理解の向上につながったと推測します。上期に引き続き、丁寧な情報提供と説明、透明化により開かれた運営を継続します。

#### **③ 感染症対策**

上期のショートステイでの新型コロナウイルスの発生や、入居部門における原因不明の症状の発生などが運営へ影響しましたが、基本的な予防策の徹底と、マニュアルに

即した早期対応に加え、施設の大規模修繕に伴う換気のための環境整備も実施しました。これらの対策により、下期は再発防止に効果を上げ、感染症の施設内流行は発生しておりません。

感染症対策実施と並行し、ご入居者の QOL 向上、楽しみのある生活の実現のため面会制限の全面的解除を継続実施しています。

#### **④災害対策と事業継続計画**

災害対策委員会の定例開催、自然災害発生時の初動期シミュレーション訓練、拠点独自の安否確認訓練を実施、災害物品の部署管理整備など委員会を中心として、実践想定訓練により実行性向上を図りました。

#### **4. その他**

拠点独自で補助金を活用し、職員募集広告を作成しました。業者に有効的な配布エリアを相談しながら広告配布を依頼した結果、新規採用につなげることができました。

《事業目標》みんなに感謝してみんなが笑顔で過ごしましょう

## 【4-1】須磨区拠点(神港園サニーライフ白川)

総合施設長 船江 孝志

副施設長 太田 功一

### 1. 事業報告

#### ① 事業運営について

運営理念である「感謝」「笑顔」を事業運営の基本姿勢として位置づけ、サービス品質の維持・向上に取り組みました。ご利用者評価および地域からの評価の両面において、大きな低下や乖離はなく、概ね安定した水準を維持していることを確認しています。

地域関係機関との関係性についても、連携の質を重視した対応を継続し、紹介や相談につながる関係構築が一定程度定着しています。

一方で、事業開始から27年目となり、建物の改修や経年劣化備品などの買い替えなど事業運営に関して収入に対して支出のバランスがうまく取れていない状況があり、当初予算との乖離が見られる年度となりました。経営バランスを念頭に置いた施設運営を再構築することが課題として残っています。

#### ② 人材育成・組織体制について

人材育成においては、特定の職責者に依存しない体制構築を目的として、後任育成を最優先事項として取り組みました。育成対象者を明確化し、実務を通じた経験付与を進めた結果、複数の後任候補を具体的に把握できる段階に至り、新年度から新たな職責者を円滑に着任させることができました。これにより、組織運営上のリスク分散および中長期的な事業継続性の確保につながる基盤整備が進んだと判断しています。

また、職員に対して人事考課制度の活用と有効性の理解を再確認し、公平かつ目標をしっかりと位置付けた評価制度を定着させるように進めています。

#### ③ 収支管理および経営改善について

各事業の収支状況については、新体制スタート後、部署別の分析方法を見直し、安定部門と改善が必要な部門を明確化しました。改善が必要な部署については、稼働状況や運営手法、特に支出面での見直しを急務とし、一定の改善に向けた方向性を確認しています。

現時点では抜本的な構造転換を要する段階には至っておらず、引き続き現行事業の中での改善を積み重ねる方針としています。

#### ④ 職場環境整備・働き方への対応について

職員の定着および安定的な人員確保を目的として、12日公休選択制度やテレワークの導入など、柔軟な働き方への対応を進めました。制度利用状況や離職率等の数値

は、職員からの制度利用実績が確認されており、一定の効果と大きな満足度が見受けられます。

一方で取得できる職種と対象外の職種のバランスや公平感を欠くとの意見もあります。今後も、急激な制度拡充ではなく、運営への影響を見極めながら段階的に対応を行っていく考えです。

## 【重点報告】

### ① 福祉施設及び福祉事業所としての価値向上

#### 1) ご入居者、ご利用者ならびにご家族に対して

感染防止対策を講じたうえで、各種行事を再開しました。上期には新型コロナウイルス感染症やノロウイルス感染症の影響を受けましたが、情勢の変化に応じた適切かつ柔軟な対策を心掛け開かれた施設を取り戻すことに努めました。

#### 2) 地域・関係機関に対して

関係各所（福祉事業所・地域関係団体等）とのコミュニティワークの場を設けることで、地域ケアや地域の総合相談機能と連携し、有機的に地域福祉を実践できるよう取り組みました。

#### 3) 職員に対して

精神的・身体的負担の軽減を図るため、ワークライフバランスの確保（12日公休選択制度・テレワーク）、ハラスメント対策（ハラスメント抑止のための電話アナウンス）、ノーリフティングケアの推進（腰痛予防）に積極的に取り組みました。ノーリフティングケアに向けた取り組みに関しては、取り組み準備の姿勢を評価頂き、令和8年度に今後の導入に向けた神戸市の伴走型支援施設として選定されました。

今後は支援を受けながら導入に向けた取り組みを進めていく予定です。

### ② 人材マネジメントとキャリア育成

優先順位の第一位として、職責者候補の育成に取り組みました。現状では複数名の候補者を挙げる事ができる状況です。職員個々のスキルアップの機会を提供し、引き続き職員のモチベーションの向上に努めてまいります。

ICTの活用による運営の効率化については、各種会議の運営効率化を推進しました。

### ③ 人員配置基準における個々の能力発揮の数値化

人員配置基準の実現に向けて、個々の能力発揮の数値化を目標として具体的な形になるように努めてまいりましたが、現時点では十分とは言えずパフォーマンス発揮の

準備段階であり、安定した業務遂行に最大限取り組んでいる状況でもあるため、実現に向けては停滞しています。

## 2. 経営報告

### <神港園サニーライフ白川>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	627,180	616,457	10,723
②当初目標額	627,406	618,521	8,885
差額(①-②)	△226	△2,064	1,838

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

#### 【情勢と取り組み】

##### ① 前年度の情勢

事業別のサービス活動増減差額は、特養 4,559 千円、ショートステイ△7,978 千円、デイサービス 18,708 千円、ホームヘルプ△1,296 千円、ケアプランセンター8,605 千円、地域包括支援センター△4,597 千円の結果です。ショートステイは新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生により稼働に影響があったこと、ホームヘルプは収支バランスを超える人員配置の調整が 12 月になったことなどが、それぞれの増減差額に影響しました。また、事業所別費用按分の見直しの必要性もあります。なお、別途本部経費の配賦額は 17,226 千円です。

##### ② 経営強化施策（収入確保と費用抑制）

収入と支出のバランスに大きな課題があるなか、経年劣化による入れ替え等の大きな支出も重なりました。それらを支える収入の確保を目指しましたが、うまく機能させることができませんでした。

【収入】 定員のある事業所においては感染症対策に力を入れてきましたが、上期においてはショートステイ及びデイサービスで大きく稼働を減らすこととなりました。より対策に努めてまいります。ホームヘルプにおいては空き状況を示したカレンダーを作成し活動を継続してきましたが、実績にはあまりつながりませんでした。

【費用】 人件費の期末補正予算差額が 6,925 千円増、業務委託費が 1,390 千円増、雑損が 992 千円増などとなります。人員配置については、前年期末比で正職員比率が 61.6%から 69.1%に増となっていますが、人件費率は 67.6%から 64.9%に減となっています。

##### ③ 重点強化事業

【ホームヘルプ】 他法人が提供していない曜日や時間帯などを活用することで営業に力を入れてきましたが、実績にはつながりませんでした。そこで、改めてサニープ

ラザ妙法寺のサ高住からのサービスを依頼いただけるように、体制を見直しています。

【ショートステイ】 特養との連携、デイサービスとの調整など、事業全体において中心的役割を担うべき事業として考えておりますが、期中に定員の考え方など制度としての指導事項が厳しくなったものの、その調整にうまく適応できず、想定を下回る結果となりました。制度の運用を遵守しつつ高稼働率を保てるように、受入れならびに介護を提供する職員の柔軟性を持った対応強化を図ります。

#### ④ 設備更新

下期に自動ドア 3 台、業務用洗濯機 1 台の取替工事、厨房配膳車 1 台の買い替えなどを実施しました。また、予定していた 3 階 4 階床面シート張替え工事については、令和 8 年度上期に延期となっています。

### 3. 危機管理方針及びリスクマネジメント

#### ① 事故及び虐待防止の取り組み

■情勢：行政機関へ報告した事故 20 件（感染症 10 件含む）。特養、ショートステイ及びデイサービスにおける骨折などがありました。虐待事例はありません。

■対策：各部門で起こったすべての事故について報告後に分析を行い、月々の事故発生防止検討委員会で当該ケースについて他部門の意見を持ち寄り、各部門へ返すことで改善に活用しています。また、事故後に裁判となった事例をもとに、より良い対応を検討することで各職員の対応力向上を図りました。今後も研修や委員会で必要な部分を見直しつつ取り組みを実施してまいります。虐待防止については計画通り虐待防止検討委員会を開催し、虐待防止研修を実施しました。

#### ② 苦情対策

<苦情 0 件>

■情勢：苦情はありません。

■対策：計画通り各部署の研修において、接遇の向上や苦情対応などについて研鑽を積みました。

<要望 2 件>

■情勢：特養及びショートステイで承りました。内容として苦情とまでは言えないまでも、接遇面での貴重なご意見として受け止め、今後の改善に活かしてまいります。

■対策：苦情対策同様、各部署の研修において、接遇の向上や対応などについて研鑽を積みました。

### ③ 感染症対策

基本的な感染症予防及び感染症拡大防止策を徹底していましたが、9月にショートステイにおいて新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生、同じく9月にデイサービスにおいてノロウイルスによるクラスターが発生しました。それぞれ振り返りを行い、予防策及び拡大防止策の強化を図りました。

### ④ 災害対策と事業継続計画

12月に自然災害（地震）発生を想定し、基幹福祉避難所開設訓練と平行して災害対策訓練を実施しました。感染症、及び災害対策共に、計画を見直しながら有事の際に適切な行動をとれるように備えてまいります。

## 4. その他

施設長が令和8年2月に交代し新体制がスタートしました。

《事業目標》みんなに感謝してみんなが笑顔で過ごしましょう

## 【4-2】須磨区拠点（神港園サニープラザ妙法寺）

総合施設長 船江 孝志

副施設長 伊原 弘恵

### 1. 事業報告

令和7年度は、須磨区拠点（神港園サニープラザ妙法寺）として、特養、サ高住、デイサービスおよび併設クリニックが一体となり、「感謝」と「笑顔」を基本理念に、ご利用者一人ひとりの生活に寄り添った支援の実践に取り組んだ一年となりました。

各事業において、日常生活支援はもとより、行事や外出、地域・医療との連携を通じて生活の質の向上を図るとともに、拠点の特性を活かした切れ目のない支援体制の構築を推進しました。

特養では、新規加算の取得や安定した稼働を目指した取り組みを進める中、年度下期に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、運営面で大きな影響を受けました。しかし、全事業所・他拠点との連携により迅速に対応し、終息後には課題の洗い出しとマニュアルの見直しを行うなど、今後に向けた感染症対応力の強化につなげることができました。

サ高住では、自由度の高い生活環境と、デイサービス・クリニック併設という強みを活かした支援を訴求し、契約者数は年度末に38名（契約率77.6%）まで増加しました。11月から開始した体験入居サービスは、高い本契約移行率を示し、ご利用者・ご家族双方の安心につながる有効な取り組みとなりました。一方で、介護度の幅が広がる中、多様なニーズへの個別対応や地域交流室の活用といった課題も明確となりました。

デイサービスでは、定員拡充や土曜日営業を段階的に実施し、稼働の安定と収益確保を図りました。理学療法士の配置により専門性の高い機能訓練が提供可能となり、「やりたいことができるデイサービス」を目指した柔軟な運営が評価されました。一方で、職員の入れ替わりに伴う業務標準化や人材育成は引き続きの課題として残っています。

人材育成面では、人事考課制度の理解促進や職責別研修を実施し、職員一人ひとりの役割意識の向上に努めましたが、慢性的な人員不足の影響により、計画していた体系的なキャリア育成の十分な実行には至りませんでした。来年度以降は、専門職との連携やノーリフティングケアの推進を含め、職員の働きやすさと専門性向上の両立を図っていく必要があります。

本年度は、感染症対応や人材面など多くの課題に直面しながらも、拠点内外の連携を通じて乗り越え、今後の運営に向けた重要な学びを得た一年となりました。令和8

年度は、須磨区拠点一元化の体制のもと、事業間連携をさらに強化し、地域に開かれ、安心して選ばれ続ける拠点づくりを進めてまいります。

## 【重点報告】

### ① 福祉施設・福祉事業所としての価値向上

#### (1) ご入居者、ご利用者ならびにご家族に対して

運営理念である「感謝」と「笑顔」を常に意識し、職員一人ひとりが自身の発言や対応を振り返りながら、ご利用者に対する適切で丁寧なサービス提供に努めました。また、年間を通じて各種行事を開催し、季節感を感じられる暮らしの提供につなげることができました。

あわせて、ボランティアの受け入れや外出行事にも積極的に取り組み、ご利用者の生活の幅を広げる機会を創出しました。面会対応については、大きな制限を設けることなく、感染状況等に配慮しながら柔軟な対応を行いました。さらに、サ高住のご入居者およびご家族に対しては、面会時間の自由度向上を目的として、正面玄関自動ドアのICカード解錠システムを導入し、利便性と安全性の両立を図りました

#### (2) 地域・関係機関に対して

地域密着型特養において、地域関係者ならびにご入居者ご家族等を招いた運営推進会議を開催し、施設運営状況や取り組みについて適切な情報発信を行いました。また、地域交流室においては、クリニック主催の勉強会、体操教室、ヤクルト試飲会等の活動が実施され、一定の活用が図られました。しかしながら、継続的かつ主体的な地域交流事業の推進には至りませんでした。

今後はこれらの課題を踏まえ、地域ニーズの把握や関係機関との連携を強化しながら、次年度においても地域交流事業の実現に向けた取り組みを継続してまいります。

#### (3) 職員に対して

必要に応じて当該部署職員との面談を随時実施し、職員の意見聴取および課題の把握に努めました。また、ワークライフバランスの向上を目的として、公休12日制度の運用を実施しました。一方で、ノーリフティングケアの本格的な推進には至りませんでした。次年度に向けては、リフト機器の活用を含め、理学療法士等の専門職と連携を図りながら、計画的かつ積極的に取り組んでいく予定です。

さらに、感染防護用品の整備および有事の際の対応環境の構築を行いました。今後も、状況に応じたマニュアルの適時更新および訓練を継続的に実施し、職員の安全確保と対応力の向上を図ってまいります。

### ② 人材マネジメントとキャリア育成

人事考課制度の充実および考課結果が職員一人ひとりのモチベーション向上につながるよう、「人事考課制度」について総合施設長による職責別研修を実施しました。

あわせて、職責ごとの役割や評価内容を説明しやすくするための資料を配布し、妙法寺全体における人事考課制度の見直しに取り組んでいます。

各種スキルアップの機会提供については、まず研修体制の整備から着手し、外部研修の受講勧奨などを通じて、職員が基礎的な学びを得られる機会の確保に努めました。

一方、下期においては人員不足の影響もあり、当初計画していた体系的なキャリア育成や段階的な人材育成施策の実施には限界がある状況となりました。そのような厳しい運営環境下においても、現場では各職責において多様な判断や調整が求められ、リーダー層を中心に職員一人ひとりのマネジメント力の発揮と成長が実感される場面が多く見受けられました。

ICT活用による業務効率化については、議事録作成ツール「noman」の活用により業務負担の軽減を図りました。一方で、ツールに依存することで業務内容や根本的な理解が疎かになる恐れもあることから、活用方法や運用面での留意点の重要性を再認識しています。

資格取得支援については、ケアスクール受講に対する職場全体での支援を行いました。また、介護支援専門員資格取得者に対しては、施設介護支援専門員としての職務を付与し、実務を通じた育成に取り組んでいます。さらに、必要に応じて新たな資格取得の推奨および取得に向けた支援も実施しました。

### ③ 妙法寺拠点における一体的支援体制の推進

妙法寺拠点においては、特養、サ高住、デイサービス、また妙法寺クリニックを併設する特性を活かし、「入所・居住・通所・医療」が連動した一体的な支援体制の構築を拠点独自の施策として推進してきました。特に、サ高住ご入居者のデイサービス利用と妙法寺クリニック利用が定着したことは、生活の場と日中活動が切れ目なくつながる支援が、ご利用者の安心と生活の安定につながっていることを示しており、今後も継続していきたいと考えています。

## 2. 経営報告

### <神港園サニープラザ妙法寺>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	212,936	245,995	△33,058
②当初目標額	192,536	191,297	1,240
差額(①-②)	20,400	54,599	△34,298

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

## 【情勢と取り組み】

### ① 年度の情勢

事業別のサービス活動増減差額は、特養が△20,019 千円、デイサービスが△3,497 千円となりました。特養は新規加算の取得を進めながら順調に推移していましたが、2月に発生した新型コロナウイルス感染症のクラスターの影響により、稼働率が低下し、収支に影響を及ぼしました。デイサービスについては、計画よりも早期に土曜日営業を開始するとともに、定員を40名へ増員したことで、収入の増加につなげることができました。これらの要因が、それぞれのサービス活動増減差額に影響しています。なお、別途、減価償却費9,542千円を費用として計上しています。

### ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

特養は2月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し稼働に影響が出ました。ご入居者確保において、待機者の事前準備と迅速な対応を心掛け稼働の安定に繋がりました。

デイサービスは4月より順次定員増加を進め、新規ご利用者や利用日数増加を希望される方、サ高住のご入居者などを柔軟に受け入れることで、稼働率の向上・維持を図ることができました。

### ③ 重点強化事業

特養、デイサービス共に新規加算、上位加算の取得を進めます。

### ④ 設備更新

建物一年保守点検を実施しました。軽微な不具合もありましたが全て対処完了しています。また開設より初めての植栽のメンテナンスを実施しております。令和8年度以降は定期メンテナンスを実施します。

正面玄関自動ドアについて、主にサ高住ご入居者とご家族を対象とし、ICカードによる時間外の自動ドア解錠システムを取り入れました。今後特養のご入居者ご家族への案内も検討しています。

## < 神港園サニープラザ妙法寺（サービス付き高齢者向け住宅） >

（千円）

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
① 当年度実績	57,575	110,782	△53,207
② 当初目標額	63,507	80,831	△17,326
差額(①-②)	△5,932	29,951	△35,881

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

## 【情勢と取り組み】

### ①年度の情勢

月によってばらつきがありましたが、概ね右肩上がりに契約者を増やし、年度末時点では38名の契約(契約率77.6%)となりました。8月以降には要介護3以上と介護度の高いご利用者のご契約が複数あり、同フロアにお住まいの自立～要介護5の方に対する個別対応の難しさに苦心しながら、フロアスタッフ、他事業所スタッフ等々と連携を図り、満足度向上に努めました。なお、12月1日には2Fフロアのオープンを実現することができましたが、地域交流室の積極活用ができていない点等が課題として残りました。

### ②経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

収入に関しては、数多ある高齢者住宅の中から選ばれるために「自由度の高さ」が差別化における一つのポイントと考え、生活に支障のない範囲で可能な限り自由にお過ごしいただけるよう工夫しました。また、1Fフロアにデイサービスとクリニックが併設されていること、外部サービスではなく当該サービスを利用いただく様々なメリットを訴求し、契約数増大に努めました。ご家族に対しては面会時間を極力長くとることが満足度向上につながると考え、仕事帰りの時間でも会いにきていただける体制を構築しました。

費用に関しては、不必要な業務を少なくし必要な業務に集中できる体制の構築を目指し、各所の無駄削減に努めました。

### ③重点強化事業

11月より「体験入居サービス」を開始しました。1泊2日、3泊4日、5泊6日の3プランからご利用者の希望に合わせて選択いただけるような構成で、本契約後のミスマッチを防ぐことが主な目的ですが、利用期間中に1Fデイサービスの体験を利用できるよう連携を図るなど、プラン内容を工夫しました。結果的に年度中は8名のご利用、うち6名が本契約に繋がる結果(ご利用者の75%が本契約)となり、双方にとって一定のメリットがあるものとの認識の下、今後も積極的な利用提案を継続しようと考えています。

### ④設備更新

建物一年保守点検を実施しました。軽微な不具合もありましたが全て対処完了しています。また開設より初めての植栽のメンテナンスを実施しております。令和8年度以降は定期メンテナンスを実施します。正面玄関自動ドアについて、主にサ高住ご入居者のご家族を対象としICカードによる時間外の自動ドア解錠システムを取り入れました。今後特養ご入居者ご家族への案内も検討しています

### **3. 危機管理方針及びリスクマネジメント**

#### **①事故及び虐待防止の取り組み**

事故報告件数は14件（感染症11件含む）、虐待およびハラスメントの発生はありません。

対策として、事故等が発生した際には、事実関係の把握と関係者間での情報共有を行いながら対応することを基本方針として取り組んできました。事故については、転倒・感染症の発生他、紛失・請求のミス等があります。骨折については3件発生しており、事故発生時の対応およびその後の経過については、職員間で共有し、再発防止の観点から検証を行いました。

一方で、これらの事案を通じ日常的な連絡のタイミングや見守り体制など、情報共有のあり方について、引き続き点検と改善が必要であることを認識しています。

今後は、職員間の情報共有の確実化、ご利用者の状態変化に対する気づきの強化、ならびにご家族との連絡・説明体制の見直しを継続的に行い、事故の未然防止と支援の質の向上に努めてまいります。同時に生活安全委員会内に設置している「事故防止対策委員会」「虐待防止検討委員会」による全事業での事例の共有や対策の検討も引き続き実行してまいります。

#### **②苦情対策**

苦情5件、要望1件の報告がありました。対応として、特養部門の対応経過については関係者間でリアルタイムでの共有、また解決後には振り返りを行うことで、介護職員にとっても対岸の火事ではないと認識することができました。

サ高住部門においては事業の特性から日中に配置される職員数が少なく、職員が不安に感じたときに直ぐ誰かに相談できる環境が維持できず、職員の気持ちに余裕がなくなってしまうことも発生要因の一つと認識しています。事業の性質上、配置の大きな改善は困難ですが適切な人員配置の実行とともに職員への声掛けを増やし、相談しやすい環境作りの整備に努めてまいります。

#### **③感染症対策**

令和7年下期に特養にて感染症罹患者が多数発生する事案がありました。妙法寺拠点の開設以来、初めて本格的な感染症対応となり想定を超える状況への対応が求められました。

事前に整備していた感染症マニュアルや備蓄物資について、不足や課題が多数明らかとなり、対応開始直後は混乱も見られましたが、全部署が連携・協力して対応し、他拠点の応援も得た結果、罹患期間を最低限に抑えることができました。終結後に感染症対策委員会を開催し、抽出された課題を踏まえ各種マニュアルの再作成と随時更新を行っています。

#### ④災害対策と事業継続計画

本年度、サ高住において、ご入居者が電子レンジ操作を誤ったことにより煙探知機が作動し、消防車が出動する事案が発生しました。幸い他部署含めた出勤職員が迅速に対応し、大きな被害や混乱には至りませんでした。初期対応における課題が明確となりました。

3月に特養とサ高住では夜間火災発生想定避難訓練、デイサービスとクリニックでは昼間火災発生想定避難訓練を実施しました。事前準備を行っていたことから大きな混乱はなかったものの、訓練終了後に各出入口の電子錠が作動しないトラブルが発生し、設備面の新たな課題を確認する機会となりました。これらの経験から、事前準備の重要性を再認識するとともに、実地訓練を重ねることで初めて気づく点が多いことを実感しています。

5月には全部門の計画停電訓練を予定しており、災害時の電力供給停止を含めた対応力の強化を図ります。また災害及び感染症対策に必要なBCP関連物品の管理については、妙法寺拠点において保管場所の確保が課題となっています。限られたスペースへの格納とその周知を早急に進めているところです。

#### 4. その他

(収益事業) テナントおよび駐車場の運営について

- ①テナント：見学等を随時受け入れていますが、現時点では利用先は決まっていません。今後も見学対応を継続しながら本部と連携し運用方法の検討を進めていきます。
- ②駐車場：3月末時点で全区画が契約済となりましたが4月末に1区画の契約終了を迎えるため、引き続き満車契約の維持を目指して取り組みます。

(須磨区拠点の一元化)

令和7年7月より、須磨拠点は白川拠点および妙法寺拠点に分けた運用を開始しました。その後、再び運営体制の見直しを行い、令和8年4月より須磨区拠点として一元化しました。拠点一元化により、これまで以上に事業所間の連携強化を図るとともに、地域とのつながりを大切にしたい運営を進め、今後も地域交流の機会を積極的に持ち、開かれた事業所づくりに努めていきます。

## 《事業目標》自己決定を尊重した笑顔の発信地舞子/みんなが笑顔で集う舞子の家

### 【5】舞子拠点(さん舞子神港園/さん舞子神港園いこいの家)

施設長 亀岡 義之

副施設長 高屋 純子

#### 1. 事業報告

法人理念である「黄金律」を基盤とし、全職員のベクトルを揃え「根拠に基づいた適切な対応」の浸透を図り、互いに資質向上を目指す事のできる環境を整えた上でさらなる「つながりの強化」を図り、総合力を発揮できる体制を整えました。

この数年「さん舞子拠点一体運営」を掲げ、スケールメリットを生かした安定的かつ持続可能な運営体制の構築を図ってきましたが、その体制が拠点全体に浸透してきています。

また、コロナ禍で希薄化していた地域とのつながりを取り戻し「地域と共に歩む施設」としての立ち位置を再認識すると共に、受容力の強化を図り包括的継続的支援体制を再構築しました。

#### 【重点報告】

##### ① 福祉施設・介護事業所としての価値向上

- ・「さん舞子神港園」を知って頂くために地域住民を対象とした見学会の実施や、拠点全体の各事業パンフレットをまとめ、営業活動を実施する等アナウンス活動を強化しました。
- ・「多目的ホール」を地域に開放し、会合やお楽しみ会等での活用により施設に来所頂く機会を持ち、「地域のための施設」としての存在感を高めました。
- ・ご入居者、ご利用者の楽しみを増やすため、感染症対策に留意しつつもフロア一間の行き来を伴う交流の機会や「食の楽しみ」を感じられる行事の企画、レク活動の充実等を年間通じて実施しました。

##### ② 人材マネジメントとキャリア育成

- ・舞子拠点全体のマニュアルやインフラ整備を実施し、根拠に基づいた支援体制の構築と連携しやすい土壌作りを行いました。また、マニュアルの整備が進む中で、スムーズな新人育成の体制作りにつなげる事ができました。
- ・拠点内課題に合わせた内外の職員研修体制を整備し、復講研修の実施により知識や技術の浸透を図りました。
- ・各部署において適時「職員アンケート」を実施し、課題問題の洗い出しと対応策についての検討を継続的に行うことや、基準やマニュアルのブラッシュアップを繰り返し、よりよいケアに向けた取り組みを行いました。

- ・拠点内交換研修の積極的な実施による職員の自己覚知促進や、役割発揮向上を意識した能動的人事を計画的に進めてきました。
- ・人員確保が困難な状況の中で、丁寧な実習生受け入れや人材確保に繋がる新たなパイプ作りに取り組み、紹介会社に頼らない人材確保に注力しました。

### ③ 拠点内連携強化体制の構築と意識改革

- ・「拠点内交換研修」の通年実施や、各種行事のみならず夜勤業務・日常業務における「他部署・他フロアとの連携」の実施により、新たなコミュニティ形成の促進と共に他部署に対する理解を深め、「拠点一体運営」を進めて舞子拠点の総合力強化につながりました。
- ・職員の罹患は断続的に見られましたが、感染防護備品を整えマニュアルを遵守した早期対応により、クラスター0を実現しました。

## 2. 経営報告

<さん舞子神港園>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	787,551	766,187	21,364
②当初目標額	778,222	766,724	11,498
差額(①-②)	9,329	△537	9,866

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

### 【情勢と取り組み】

#### ① 年度の情勢

垂水区は施設数が多く、介護職員だけではなくご利用者・ご入居者の争奪が加熱しており、加えて物価高騰や最低賃金の引き上げによる業務委託費が高騰し、施設運営の難易度は上がる一方です。その中で、業務の見直し・工夫による委託費高騰の抑制、さん舞子神港園の「強みを活かす」戦略をブレずに推し進める事で、他施設との差別化を明確にし「選ばれる施設」としての立ち位置の強化を図ってきました。

#### ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

収入面については、日々の「拠点内連携強化」を基盤とした部署間連携による「各事業のリレー」がスムーズに進む体制が構築されてきており、かつ感染症対策についてマニュアルの浸透や物品の統一・管理による早期対応の実施によりクラスター発生を防ぎ安定稼働につながりました。

支出面においては、法人人員配置基準をベースに業務の細分化による適正配置を進めると共に、各種会議や委員会等による「無理・無駄・ムラ」排除に向けた定期的検討や業務効率化を図ることにより残業時間の抑制・削減を図りました。

### ③ 重点強化学業

在宅事業における「受容力向上」・「サービス内容の充実化」に向けた継続的取り組みを行い、在宅⇒入所への連動性を高めることにより退去者数が多くなっているケアハウスの安定稼働を支えました。また、費用負担に見合う快適な環境整備に力を入れ、快適な住環境の維持に努めました。

### ④ 設備更新

オープンから20年が経過し、老朽化が進むと同時に物価高騰の影響を受け修繕費がかさむため、設備更新計画を見直し、優先順位をつけた計画的実施や、職員の業務請負による作業を行い、大幅な費用削減を実現しました。

#### <さん舞子神港園いこいの家>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	297,004	281,218	15,786
②当初目標額	293,960	294,323	△363
差額(①-②)	3,044	△13,105	16,149

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

### 【情勢と取り組み】

#### ① 年度の情勢

特養の待機者数の減少傾向が続いており、近隣居宅や医療機関へのアナウンス活動の反応も低調であるため、「近隣施設との連携」を進めることによりご入居者の状態に応じた協力体制の構築に向けた取り組みを実施しています。

#### ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

さん舞子神港園ショートステイを中心として連携を強化し、潜在待機者の発掘と入居に繋がる相談支援体制を強化することにより稼働の安定・向上を図りました。

費用面については、ケアハウスとの人的・物的連携・共有を図る事により無駄の排除を行い、支出減を図りました。

#### ③ 設備更新

業務効率化に向けたインフラ整備を実施しました。

また、計画的・段階的なエアコンの入れ替えや物価高騰の影響を先読みした消耗品のストック等中期・長期的な視点で設備更新を実施しました。

### **3. 危機管理方針及びリスクマネジメント**

#### **① 事故及び虐待防止の取り組み**

事故については、「ヒヤリハット」の積極的な報告・検証により予防策の検討に力を入れました。

また、見守りカメラの活用による正確な状況の把握、要因分析を行い、再発防止策について各部署会議、全体会議において検討しました。

虐待については、「不適切な支援」の積み重ねにより生じるため、状況に応じた幹部職員や職責介入による直接的指導に加えて、日々の業務やフロア会議の中で不適切事例の検証を継続的に実施することにより、早期解消に努め虐待の根を摘むよう努めました。また、虐待防止研修の柱として、職員のストレスマネジメントを取り上げ、ストレスとうまく付き合う方法について学ぶ機会を持ちました。

#### **② 苦情対策**

苦情等のトラブルの発端は、「日頃の関係性」にあると考えられます。また、「互いの気持ちのギャップ」から苦情に繋がる恐れがあるため、「黄金律」の浸透や「適切な接遇」「コミュニケーション能力の向上」の実現に向けて継続的に指導や研修を実施しました。

#### **③ 感染症対策**

根拠に基づいたマニュアルの作成・周知や適切な防護物品の活用により「正しく恐れ、正しく対応できる環境」を整え、クラスター発生0件を実現しました。

今後は感染症対策を継続しながらも、「開かれた施設」として地域とのつながりを強化すると共に、面会基準の緩和や楽しめる時間の拡大に向けて取り組んでまいります。

#### **④ 災害対策と事業継続計画**

BCP 計画の随時見直しと、委員会や会議・研修を通して内容の周知を継続的に行うと共に、備蓄品等災害物品の一元管理と訓練を実施する事により、有事の際に確実な対応が実施できる体制を整えました。

《事業目標》利用者が明るく、心豊かに暮らせる場を提供し社会貢献と地域からの信頼を得る

## 【6】西宮拠点(神港園レインボー西宮／神港園レインボー酒蔵通)

施設長 金谷 泰明

### 1. 事業報告

令和7年度の西宮拠点における事業運営は、慢性的な人手不足や物価高騰の影響を受け、引き続き厳しい環境の中での運営となりました。特に食材費や介護用品費などの上昇により事業費は増加傾向となりましたが、感染症の影響が前年度と比較して軽減されたことにより、全体の稼働状況は概ね安定し、収益面では一定の水準を維持することができました。

事業運営においては、通所サービスの稼働改善を重点課題として、地域密着型デイサービス、認知症対応型デイサービス、放課後等デイサービスの利用促進に取組み、関係機関との強化や情報発信の充実を図りました。しかしながら、入院や施設入所の影響もあり、ご利用者数は回復途上にとどまり、収益の安定化に大きく寄与するまでには至りませんでした。引き続き稼働率の向上に向けた取組を継続してまいります。

一方、ホームヘルプ事業、居宅介護支援事業所においては、安定した利用実績を維持し、在宅サービスの基盤強化に寄与しました。これらの事業との連携により、拠点内でのサービス循環が機能し、ご利用者に対する切れ目のない支援体制の構築につなげることができました。

人材面においては、上半期の人員不足の影響により人件費は通年では減少となりましたが、その一方で現場の負担は増加しており、人材確保と定着は引き続き重要課題となりました。このため、OJTの標準化や研修体制の整備を進めるとともに、ICT機器の活用による業務効率化やノーリフティングケアの推進により、職員の負担軽減と働きやすい環境づくりに努めました。

経営面では、全体収益は前年と同水準を維持しつつ、人件費の減少および事務費の抑制により、全体として収支のバランスを維持することができました。その結果、収支差額は目標以上に確保することができ、拠点として安定した経営を維持することができました。

さらに、地域との関係づくりにも継続して取り組み、地域活動や学校との交流を通じて地域に開かれた施設としての役割を果たすとともに、将来のご利用者確保に向けた基盤づくりを進めました。

総じて令和7年度は厳しい外部環境の中にあっても、基幹事業の安定と経費管理の徹底により持続可能な運営体制を維持した一年となりました。今後は通所サービスの稼働回復と人材定着を最重要課題としながら、より一層質の高いサービス提供と安定した運営の両立に努めてまいります。

## 【重点報告】

### ① 福祉施設・福祉事業所としての価値向上

福祉施設としての価値向上に向けては、ご利用者一人ひとりの生活の質を高めることを重視し、認知症対応力の強化や個別ケアの深化に取り組みました。特に日々のケアの中でご利用者の思いや背景を丁寧にくみ取り、その人らしい生活が実現できるよう支援を行いました。また、拠点内の各部門での情報共有を積極的に行い、ご利用者に対するサービスの連続性と一体性の確保を図りました。さらに地域との関係づくりにも注力し、学校との交流（トライやるウィーク）や地域行事への関わりを通じて地域に開かれた施設としての役割を果たすことができました。これらの取組により地域からの信頼醸成と施設の存在意義の向上につながりました。

### ② 人材マネジメントとキャリア育成

人材マネジメントにおいては、人材の確保と定着、育成を重点課題として位置付け、職場環境の整備と教育体制の充実に取り組みました。入職時の OJT の標準化や研修機会の確保を通じて職員のスキルアップを支援するとともに、資格取得に向けたフォロー体制の充実を図りました。また、職責者のマネジメント力向上にも注力し、職員間のコミュニケーションを活性化させることで風通しの良い職場環境づくりを推進しました。

### ③ 生産性向上の取組み

拠点独自施策としては業務改善と生産性向上を中心に取り組みました。ICT 活用により記録業務や情報共有の効率化を図ることで職員が本来の介護ケア業務に集中できる環境を整備しました。また、ノーリフティングケアの推進により安全で質の高い介護の実践を進め、ご利用者と職員双方の負担軽減に寄与しました。さらに各事業の収支状況を職責者と共有し、収益と費用のバランスを意識した運営を行うことで安定的かつ持続可能な経営の基盤づくりを進めました。

## 2. 経営報告

＜神港園レインボー西宮＞

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	277,601	268,741	8,860
②当初目標額	278,422	275,853	2,569
差額(①-②)	△821	△7,112	6,291

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

## 【情勢と取り組み】

### ① 年度の情勢

サービス活動収益は概ね計画通りに推移し、安定した収益を確保することができました。通所サービスが夏から秋口にかけて稼働低下で苦戦しましたが、グループホーム、ホームヘルプ、居宅介護支援事業が安定した収益をあげて補いました。費用面においては物価高騰による事業費の増加が見られましたが、事務費の抑制や経費削減の取組により全体としてはバランスの取れた運営を実現しました。感染症の影響が縮小したことも事業運営の安定化につながりました。

### ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

収入面では通所サービスの稼働率向上を最重要課題とし、関係機関との連携強化や情報発信の充実によりご利用者確保に努めました。また、居宅介護支援事業所との連携を密にすることで安定的なご利用者確保につなげました。費用面では、物価高騰の影響を踏まえ、不要不急の支出抑制や設備投資の優先順位付けを行い、適切なコスト管理を実施しました。

### ③ 重点強化事業

重点強化事業である通所サービスについては、ご利用者のニーズ把握と対応力強化に努めることで稼働率の向上を図りました。特に認知症対応型デイサービス及び放課後等デイサービスについては課題を踏まえた改善を進めることでサービスの質と稼働の両面での向上を目指しました。

### ④ 設備更新

設備面では施設の経年劣化に伴う修繕や更新が必要となっており、ご利用者・ご入居者の生活環境に直結する設備を優先して対応しました。外壁修繕や空調設備、給湯設備等については計画的な整備を進めるとともに経営状況を踏まえた適切な投資判断を行いました。

## ＜神港園レインボー酒蔵通＞

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	100,508	91,274	9,234
②当初目標額	92,684	87,290	5,394
差額(①-②)	7,824	3,984	3,840

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

## 【情勢と取り組み】

### ① 年度の情勢

本年度の入居状況につきましては、上半期においては大きな入居率の低下は見られず、概ね安定した状態で推移しました。2月から3月にかけて状態変化に伴う急な退去が重なったことにより一時的に入居率が低下しましたが、年間平均では98.6%と高水準を維持しており、計画を上回る実績となりました。全体として居住ニーズを背景に堅調な運営を継続することができた一年となりました。

### ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

入居率の維持・向上に向けては、空室発生時の迅速な情報発信と待機者の確保に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、空室期間の短縮に取り組みました。また、ご入居者やご家族との信頼関係の構築を重視し、日常的な相談対応や情報共有を丁寧に行うことで長期的な入居継続を支える体制づくりを進めました。費用面では、物価高騰の影響を踏まえ、設備修繕や消耗品の導入について優先順位を明確にし、無駄のない支出管理に努めました。

### ③ 重点強化事業

重点強化としては安定した入居率の維持を最重要課題として位置付け、空室発生時の早期対応と待機者確保に継続的に取り組みました。また、ご入居者の生活満足度向上を目的として日常生活支援の質向上やイベント実施による交流の機会創出にも注力しました。これにより、入居継続意向の向上と施設の魅力向上を図ることができました。

### ④ 設備更新

設備面においては前年度に実施した外壁修繕により建物環境の改善が図られたことを踏まえ、今年度は主に内部設備の維持管理と経年劣化への対応を中心に実施しました。空調設備や居室設備については不具合発生時に迅速に対応し、ご入居者の生活環境に影響を及ぼさないよう優先的に修繕を行いました。今後も計画的な更新を進め、快適な住居環境の維持に努めてまいります。

## 3. 危機管理方針及びリスクマネジメント

### ① 事故及び虐待防止の取り組み

事故及び虐待防止に関しては職員への定期的な研修を実施し、基本的な知識と倫理観の浸透を図りました。日常業務の中では、ヒヤリハットや軽微な事例の共有を通じてリスクの可視化を行い、未然防止に努めました。また、職員間での報告・相談しやすい環境づくりを進めることで、問題の早期発見と迅速な対応につなげました。

### ② 苦情対策

苦情対応においては、ご利用者およびご家族からのご意見を真摯に受け止め、迅速かつ丁寧な対応を行うよう徹底しました。苦情が発生した際には原因の分析と再発防止策の検討を行い、その内容を職員間で共有することでサービスの質向上につなげています。また、日常的なコミュニケーションを重視することで苦情の未然防止にも努めました。

### **③ 感染症対策**

感染症対策については基本的な感染症予防を継続して実施するとともに、BCPおよび感染マニュアルに基づいた対応を周知しました。手指消毒や環境整備の徹底、体調管理の強化により感染防止に努めました。また、職員へのマニュアルの周知と研修を行うことで発生時の対応力向上を図りました。

### **④ 災害対策と事業継続計画**

災害対策については、定期的に防災訓練を実施し、地震や火災等の緊急時における対応力の向上に努めました。拠点 BCP に基づき災害発生時においてもご入居者・ご利用者の生活を継続できる体制を整備しています。また物資備蓄や連絡体制の確認を行い、実効性のある事業継続体制の維持に取り組みました。

《運営理念》オーダーメイドの総合診療

## 【7】医療事業部(神港園診療所／神港園妙法寺クリニック)

医療事業部長 船江 孝志

神港園診療所所長 篠崎 雅史

神港園妙法寺クリニック 院長 高井 豊

### 1. 事業報告

4月より新たな事業としてクリニックが開院し、外部に開かれた医療事業がスタートしました。

医療事業部として組織規模が大きくなり医師体制・看護部門・セラピスト部門を含む医局の明確化と運営を支える事務方の組織化を目指し取り組みを進めました。

診療所においては、診療回数の確保や適切な検査等の実施、診療に伴う加算取得を積極的に行いました。

クリニックにおいては、様々な媒体を用いての広報活動・感染症等の流行期においても積極的に外来患者を受け入れられるオペレーション作りを行ないましたが、当初予算に見合った患者数・収入にはつながりませんでした。特養・ケアハウス・サ高住等の居住系サービスとの連携においては体調不良等の受診が必要となった際に受診先として選んでいただけるよう協力体制をとることができました。

サ高住へのみなし訪問看護、居宅療養管理指導（管理栄養士）も計画には挙げていましたが、検討段階に留まりました。新規患者数は伸び悩んではおりますが、再診率は80%程度あり、継続的診療にはつながっております。特定健診も開始され、今後は健診等の自費診療にも力を入れていければと考えます。

また、「地域のかかりつけ医」となるべく、地域に向けた勉強会や体操教室などの実施も行い、地域住民との交流を図る機会を作ることができました。

事務部門においては下期に流行が予測されているインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症に対して、居住系サービスでの蔓延を防ぐためのワクチン接種を行う準備を進めワクチンを確保することができました。

また外来診療を効率的に進められるように受付業務マニュアルと請求事務マニュアルの作成を行いました。診療所・クリニック共に新規届け出や更新手続きを行い業務が滞りなく実施でき、新たな体制加算も取得できました。

### 【重点報告】

#### ① 福祉施設・福祉事業所としての価値向上

- ・ 地域に向けた健康教室や研修を実施しました。（8月、10月、11月、1月）

- ・ケアマネジャー向けに限った研修は実施できませんでした。
- ・みなし訪問看護体制は、サ高住での利用ニーズが少なく、体制が確保できなかったこともあり実施は出来ませんでした。
- ・R8年4月より職員に対する福利厚生で医療補助制度を準備しました。
- ・各拠点医務室と連携し医療提供を継続することができました。
- ・定期診療を継続し、臨時や緊急時の対応についてもスムーズに実施できました。
- ・臨時往診（電話往診を含む）対応、看取り期への医療体制をとることができました。
- ・ワクチン接種を計画立案し、10月より計画通りに接種を開始、完了しました。

## ② 人材マネジメントとキャリア育成

- ・外来診療独自の看護スタイル確立に向けマニュアルの整備・見直しを行いました。
- ・研修会への積極的な参加を検討しましたが、実施できませんでした。
- ・診療報酬改定に向けて厚労省の配信動画による情報共有を行いました。

## ③ 拠点独自施策等

- ・業者やクリニック院長を講師に迎え健康に関する講座を開催しました。
- ・訪問看護ステーションとの交流の機会を持つことはできませんでしたが、医療機関連携に関しては、協力関係が構築出来るように交流し、協力医療機関としての契約を結ぶことができました。
- ・ワクチン接種の実施を職員家族にも拡充する準備を整え実施できました。
- ・みなし訪問リハの派遣については、ニーズに応じた体制確保や環境整備が整わず実施出来ませんでした。
- ・居宅介護支援事業所に限った勉強会を開催についても検討段階で実施にはつながりませんでした。
- ・取得出来る加算は、先回りしての取得ができました。
- ・物価高騰も踏まえ全拠点の効率的な物品の管理や共有について看護部会を通じて検討し、令和8年度から実施します。

## 2. 経営報告

＜神港園診療所＞

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	117,786	95,363	22,423
②当初目標額	111,284	94,887	16,397
差額(①-②)	6,502	476	6,026

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

## 【情勢と取り組み】

### ① 年度の情勢

前回の医療報酬改定後、新たに創設された生活習慣病の加算に関して、計画書の作成等順調に手続きを行い、遅滞なく加算を取得でき収益につながりました。

一昨年度からの懸念事項であった施設内ご利用者の採血などの検査も少しずつ改善され、所長がレセプトチェックを行うことにより、過誤や返戻なども少なくなり適正な診療報酬算定につながりました。

拠点によって、2週間診療や4週間診療とバラツキがあったため、可能な限り2週間診療・2週間処方での診療体制をとり、診療と人件費の見合いの精度を上げることが出来たと考えます。

介護保険上の加算においては、次期報酬改定を想定に今一度見直しを行って対応出来るようにしていきます。

### ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

- ・ 診療所の安定した黒字化はできましたが、クリニックの単年度黒字化には至りませんでした。収益管理体制を見直し黒字化を目指します。
- ・ 検査機関機能を充実させ、収入増の見立てと管理を強化します（採血・X線撮影）
- ・ 各種ワクチン接種を積極的に実施しました。
- ・ 計画的な予防接種により無駄なワクチン及び医療物品等を削減します
- ・ 在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料登録後の対応について実施に向けた対応をします。
- ・ セラピストによる加算増について、再度部会と協力し積極的な取得につなげるようにします。

### ③ 設備更新

オンライン資格確認が義務化されたため、対応できるようにハード面を整える準備を行いました。

#### <妙法寺クリニック>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	8,672	49,654	△40,982
②当初目標額	58,983	62,008	△3,025
差額(①-②)	△50,311	△12,354	△37,958

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

## 【情勢と取り組み】

### ①年度の情勢

新規事業として法人で初めてとなる地域向けのクリニックを開設しました。広報に力を入れましたが、クリニックが施設ご入居者向けと誤解されてしまうこともあり、周知は課題です。幅広い年齢層の患者を受け入れましたが、思うように収益を伸ばすことはできませんでした。単年度での黒字化を目指しましたが実現には道半ばという結果で実現には至っていません。

今後も地域とともに成長できるクリニックの実現に向けて課題の抽出を行ない分析し患者数、収益増を進めていきます。

### ②経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

- ・ 検査の計画的な実施と患者への周知を行っていきます。
- ・ みなし訪問看護の利用ニーズを調査し、必要に応じて準備を行います。
- ・ 事務体制の最適化を図れるよう、人員配置について検討していきます。
- ・ 新規採用時の健康診断への対応を実施しましたが、今後一括して行えるように引き続き人事部と協力します。
- ・ ご入居者健康診断（妙法寺特養ご入居者の胸部レントゲン撮影：年1回）を実施しました。
- ・ （他施設へも拡大できる余地があるか検討していきます）
- ・ 検査機関機能の充実と管理を行ないました。今後も収益増のための見立てと管理を行います（採血・X線撮影・SAS検査）

### ③設備更新

- ・ 業務効率化のため、インカム等の利用について検討しました。実施体制の準備待ちの状況です。
- ・ 情勢を見極め必要に応じてスマートフォン読み取り可能な機械導入を検討していきます。

## 3. 危機管理方針及びリスクマネジメント

### ①事故及び虐待防止の取り組み

- ・ 医療事故の発生はありませんでした。
- ・ 定期的な講習、委員会へ参加しました。
- ・ 患者様・ご入居者様の尊厳を大切にしながら接遇面も意識しながら業務を遂行していきました。
- ・ 定期的にクリニック内でのスタッフ会議を実施し、情報の共有に努めました。

### ②苦情対策

苦情案件は発生しませんでした。

### ③感染症対策

- ・クリニックでは、発熱者診察時の導線の確立を行い2次感染を予防する診療体制をとることができました。
- ・診療所として施設内に感染症患者が出た時の対応を引き続き検討していきます。
- ・感染症対応時の物品は過不足なく常に対応できる体制を整えました。

#### **④災害対策と事業継続計画**

- ・中東情勢から石油関連製品の供給が不安定になる恐れがあったため、各医務室と連携を取り、物品管理の方法や共有方法を検討していきます。
- ・BCPの観点から再度マニュアルを点検していきます。

## 《事業目標》

### 【8】しあわせの村保育園

企画室チーフリーダー 清水 邦子

#### 1. 事業報告

安定した運営基盤の構築を目的に、4月1日より業務委託先を変更いたしました。委託先の変更には、業務の円滑な移行と継続性を最優先に、体制整備および関係各所との調整を丁寧に進め、委託事業は滞りなく推進されました。

令和7年3月末に認可園への転園のために7名が退園して4月に5名が入園し、4月時点の園児数では過去最多の24名で上期がスタートしました。当初予算では4～9月の利用目標人数が23.3名のところ、実績は23.7名の利用で、前年度の4～9月の利用人数の12.7名よりも10.6名多くなりました。

今年度より予定していた、病後児対応型加算と体調不良児対応型加算の申請が却下されたため収益が当初予算よりも大幅に減少しましたが、業務委託費が補助金額に対して一定割合の請求になるためサービス活動費用も大幅に減少し、収支の減少は最小限に抑える事が出来ました。

感染症対策は、今年度も消毒や保育士のマスク着用を実施しており、コロナ罹患者は発生していません。

#### 【重点報告】

##### ① 福祉施設・福祉事業所としての価値向上

開園時間を8-19時から、7-20時へ変更し、新カリキュラムとしてリトミックと英会話を開始しました。

##### ② 人材マネジメントとキャリア育成

業務委託先に一任しています。

##### ③ 快適な保育・業務環境に向けて

乳児室にはエアコンが設置されておらず、夏は扇風機、冬場は床暖房のみで対応していましたが、子どもと職員の環境改善のためにエアコンを設置しました。また、直射日光で園庭の人工芝や滑り台が高温になるので、やけど防止と熱中症予防のために園庭の大半を覆うタープを設置しました。

## 2. 経営報告

### <しあわせの村保育園>

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
①当年度実績	75,936	72,228	3,708
②当初目標額	77,595	76,118	1,477
差額(①-②)	△1,659	△3,890	2,231

※サービス活動費用は本部配賦を含む。

#### 【情勢と取り組み】

##### ① 年度の情勢

令和7年4月に神戸市の待機児童数は4年連続0人と発表されましたが、保育園の問い合わせ件数は増加しました。令和7年度は従来の広報活動を業務委託先に一任しました。

##### ② 経営強化施策と重点事業（収入確保と費用抑制）

#### 【収益確保】

- ・保育園見学者への丁寧な聞き取りや、保育園の特色等をしっかり説明する事で1名でも多く入園へとつなげていきます。
- ・見学者が増加のため、今後も振興協会や区役所との連携を継続していきます。

#### 【費用抑制】

- ・今年度からは事務備品や食材などは業務委託先の負担となり、費用負担は前年度よりも削減されました。
- ・開園当初から使用している機器の老朽化や、保育環境の整備に伴い、新たな機器の購入が必要になっています。購入に際しては、複数の候補製品を比較検討し、業務委託先と協議のうえ、必要性和妥当性を確認しています。

##### ③ 設備更新

令和7年度では設備更新は不要でしたが、今後は老朽化による空調設備の更新が必要になる可能性が高いです。保育園の空調システムはたんぼぼの家で一括管理されているため、振興協会も含めて協議し、今後の対策を検討します。

### **3. 危機管理方針及びリスクマネジメント**

#### **① 事故及び虐待防止の取り組み**

園運営上の課題把握のため、個別に職場環境等について聞き取りを実施しました。速やかに業務委託先の担当者へ情報共有を行い、職場環境の改善に向けた対応を進めました。取り組みについては、継続して対応予定です。

#### **② 苦情対策**

保護者からのご意見には、重要な改善の機会として真摯に受け止め、迅速かつ適切な対応に努めました。

苦情受付は運営委託先が行っておりますが、今年度中の苦情はありませんでした。

保育園担当者としてご利用者と日常的なコミュニケーションを通じて信頼関係の構築を図り、苦情の未然防止にも取り組みました。

#### **③ 感染症対策**

室内でのマスク着用（職員）、手洗い・消毒の励行、施設内の定期的な換気を行い、感染症の発生および拡大防止のため、基本的な感染対策を継続的に行いました。

また、園児の健康観察を日々に行い、発熱や体調不良時には迅速な対応を行うとともに、保護者への情報提供を行いました。

#### **③ 災害対策と事業継続計画**

地震・火災・風水害等の災害に備え、避難訓練を月1回計画的に実施し、子どもおよび職員の避難行動の習熟に努めました。訓練では様々な想定を取り入れ、実践的な対応力の向上を図り、災害時の連絡方法や保護者への引き渡し体制について確認・整備を行いました。

令和7年度  
(2025)

事業報告書

(資料集)



資料① 施設入所関係

1. 令和7年度における1日あたり平均ご入居人数と月平均の延べ利用者数(特別養護老人ホーム)

	神楽園シルビアホーム			神楽園あわせの家			神楽園サンライフ白川			神楽園サンブライザ妙法寺			さん髯子神楽園いこいの家		
	100人		定員	100人		定員	50人		定員	25人		定員	50人		定員
	令和7年度	前年度	人数	構成率	令和7年度	前年度	人数	構成率	令和7年度	前年度	人数	構成率	令和7年度	前年度	人数
要介護1	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0
要介護2	1.0	1.0%	0.9	0.9%	0.0	0.0%	1.0	2.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	1.9
要介護3	15.2	15.5%	11.3	11.5%	22.4	23.0%	4.1	8.3%	9.2	39.0%	5.1	47.3%	1.4	2.9%	45.3
要介護4	55.9	57.1%	60.3	61.5%	30.3	31.1%	25.3	25.9%	10.1	42.8%	4.7	43.9%	25.4	52.8%	133.3
要介護5	25.8	26.4%	25.5	26.0%	44.7	45.9%	53.7	54.9%	4.3	18.2%	0.9	8.8%	21.4	44.3%	122.8
合計(前年比)	97.9	(99.8%)	98.1	-	97.4	(99.6%)	97.8	-	23.6	(219.3%)	10.8	-	48.2	(101.5%)	303.4
平均介護度	4.1		4.1		4.2		4.3		3.8		3.6		4.4		4.2
稼働率	97.9%		98.1%		97.4%		97.8%		94.4%		43.1%		96.4%		93.3%
延べ利用者数(前年比)	2,978	(99.8%)	2,983		2,962	(99.5%)	2,974		718	(218.9%)	328		1,466	(101.7%)	9,224
新規利用者※1	36人		33人		33人		26人		8人		26人		17人		116人

2. 令和7年度における1日あたり平均ご入居人数と月平均の延べ利用者数(養護老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サーム・サービス付き高齢者向け住宅)

	養護老人ホーム神楽園			さん髯子神楽園(ケアハウス)			神楽園レインボ-西宮(グループホーム)			神楽園レインボ-酒蔵通(サ高住)					
	50人		定員	49人		定員	80人		定員	18人		定員	50人		定員
	令和7年度	前年度	人数	構成率	令和7年度	前年度	人数	構成率	令和7年度	前年度	人数	構成率	令和7年度	前年度	人数
自立	18.7	39.3%	15.9	36.5%	2.3	9.6%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	31.6	65.7%	29.2
要支援1	3.2	6.6%	2.2	5.0%	2.6	10.8%	0.9	21.5%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	1.0	2.1%	0.0
要支援2	1.2	2.4%	0.7	1.5%	3.0	12.3%	0.7	16.7%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	1.5	3.1%	0.0
要介護1	5.1	10.7%	6.1	14.1%	7.7	32.3%	1.6	35.7%	18.0	23.1%	2.0	11.2%	2.2	4.6%	6.3
要介護2	6.4	13.4%	5.3	12.2%	3.7	15.4%	0.4	9.4%	9.0	11.5%	10.5	14.1%	3.6	20.2%	5.3
要介護3	8.5	17.8%	9.6	22.0%	2.0	8.4%	0.0	0.0%	13.0	16.7%	15.4	20.8%	4.0	22.5%	3.3
要介護4	3.7	7.8%	3.7	8.6%	1.1	4.5%	0.7	16.7%	20.0	25.6%	17.2	23.2%	3.4	19.1%	2.2
要介護5	0.9	1.9%	0.0	0.0%	1.6	6.6%	0.0	0.0%	5.0	6.4%	6.1	8.2%	4.8	27.0%	4.8
合計(前年比)	47.6	(109.7%)	43.4	-	24.0	(546.7%)	4.4	-	78.0	(105.3%)	74.0	-	17.5	(101.5%)	45.8
平均介護度	1.4		1.4		1.5		1.4		2.4		2.5		3.2		1.0
稼働率	95.2%		86.8%		48.9%		9.0%		97.5%		92.6%		98.9%		91.6%
延べ利用者数(前年比)	1,448	(109.6%)	1,320		730	(544.7%)	134		2,373	(105.0%)	2,259		542	(101.5%)	1,393
新規利用者※1	6人		15人		35人		9人		18人		1人		2人		14人

※1：過期における新規ご入居者数

①-2 ご入居者の日常生活自立度(障がい高齢者の日常生活自立度判定基準※2より)

1. 特別養護老人ホーム5施設の状況(令和7年3月末時点の在籍者について)※3

	神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニースライフ白川		神港園サニープラザ妙法寺		さん舞子神港園いこいの家		5施設合計	
	定員 人数	100人 構成率	定員 人数	100人 構成率	定員 人数	50人 構成率	定員 人数	25人 構成率	定員 人数	50人 構成率	定員 人数	325人 構成率
自立	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
J 1	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
J 2	0	0.0%	3	3.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.3%
A 1	4	4.2%	4	4.0%	3	6.0%	1	4.0%	0	0.0%	12	3.8%
A 2	22	23.2%	20	20.2%	4	8.0%	3	12.0%	6	12.5%	55	17.4%
B 1	46	48.4%	14	14.1%	2	4.0%	11	44.0%	19	39.6%	92	29.0%
B 2	22	23.2%	47	47.5%	33	66.0%	8	32.0%	11	22.9%	121	38.2%
C 1	0	0.0%	6	6.1%	3	6.0%	0	0.0%	6	12.5%	15	4.7%
C 2	0	0.0%	5	5.1%	4	8.0%	2	8.0%	6	12.5%	17	5.4%
合計	95	-	99	-	50	-	25	-	48	-	317	-

2. 養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅5施設の状況(令和7年3月末時点の在籍者について)※3※4※5

	養護老人ホーム神港園		神港園サニープラザ妙法寺(付帯住)		さん舞子神港園(ケアハウス)		神港園レインホーム-西宮(グループホーム)		神港園レインホーム-酒蔵通(付帯住)		5施設合計	
	定員 人数	50人 構成率	定員 人数	49人 構成率	定員 人数	80人 構成率	定員 人数	18人 構成率	定員 人数	50人 構成率	定員 人数	247人 構成率
自立	0	0.0%	4	19.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	8.2%	8	4.1%
J 1	1	3.3%	3	14.3%	3	4.0%	0	0.0%	7	14.3%	14	7.3%
J 2	3	10.0%	7	33.3%	6	8.0%	0	0.0%	11	22.4%	27	14.0%
A 1	14	46.7%	1	4.8%	15	20.0%	1	5.6%	9	18.4%	40	20.7%
A 2	6	20.0%	2	9.5%	24	32.0%	5	27.8%	5	10.2%	42	21.8%
B 1	1	3.3%	1	4.8%	14	18.7%	4	22.2%	4	8.2%	24	12.4%
B 2	4	13.3%	3	14.3%	12	16.0%	6	33.3%	0	0.0%	25	13.0%
C 1	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.1%	4	2.1%
C 2	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	2	11.1%	6	12.2%	9	4.7%
合計	30	-	21	-	75	-	18	-	49	-	193	-

※2: 高齢者のADLの状況を客観的に評価するため、厚生労働省が定める指標

J: 何らかの障がい等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する

J1: 交通機関等を利用して外出する

J2: 隣近所へなら外出する

A: 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない

A1: 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する

A2: 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたり生活をしている

※3: 3月末付で退居された利用者および入院中の利用者も含む

※4: 養護老人ホーム神港園の在籍者については、介護保険未申請の方を除く

※5: 神港園レインホーム-酒蔵通の在籍者については、介護保険未申請の方および他法人管理のため数値不明の方を除く

B: 屋内での生活はなんらかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ

B1: 車いすに移乗し、食事、排せつはベッドから離れて行う

B2: 介助により車いすに移乗する

C: 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えにおいて介助を要する

C1: 自力で寝返りをうつ

C2: 自力で寝返りもつたない

①-3 ご入居者の日常生活自立度(認知症高齢者の日常生活自立度判定基準※6より)

1. 特別養護老人ホーム5施設の状態(令和7年3月末時点の在籍者について)※7

神楽園シルビアホーム			神楽園しあわせの家		
定員	100人	構成率	定員	100人	構成率
人数	0	0.0%	0	0	0.0%
自立	0	0.0%	0	0	0.0%
I	7	7.4%	0	0	0.0%
II a	15	15.9%	0	0	0.0%
II b	5	5.3%	5	5	5.1%
III a	55	57.9%	27	27.3%	27.3%
III b	10	10.5%	28	28.3%	28.3%
IV	3	3.2%	30	30.3%	30.3%
M	0	0.0%	9	9.1%	9.1%
合計	95	-	99	-	-

神楽園サニーライフ白川		
定員	50人	構成率
人数	0	0.0%
自立	0	0.0%
I	2	4.0%
II a	1	2.0%
II b	10	20.0%
III a	24	48.0%
III b	3	6.0%
IV	9	18.0%
M	1	2.0%
合計	50	-

神楽園サニーブラザ砂法寺		
定員	25人	構成率
人数	0	0.0%
自立	0	0.0%
I	0	0.0%
II a	1	4.0%
II b	5	20.0%
III a	9	36.0%
III b	7	28.0%
IV	3	12.0%
M	0	0.0%
合計	25	-

さん獅子神楽園いこいの家		
定員	50人	構成率
人数	0	0.0%
自立	0	0.0%
I	0	0.0%
II a	1	2.1%
II b	6	12.5%
III a	24	50.0%
III b	4	8.3%
IV	11	22.9%
M	2	4.2%
合計	48	-

5施設合計		
定員	325人	構成率
人数	0	0.0%
自立	0	0.0%
I	9	2.8%
II a	18	5.7%
II b	31	9.8%
III a	139	43.8%
III b	52	16.4%
IV	56	17.7%
M	12	3.8%
合計	317	-

2. 養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、サニース付き高齢者向け住宅5施設の状態(令和7年3月末時点の在籍者について)※7※8※9

養護老人ホーム神楽園		
定員	50人	構成率
人数	0	0.0%
自立	0	0.0%
I	5	16.7%
II a	2	6.7%
II b	12	40.0%
III a	10	33.3%
III b	0	0.0%
IV	1	3.3%
M	0	0.0%
合計	30	-

神楽園サニーブラザ砂法寺(付高住)		
定員	49人	構成率
人数	6	28.6%
自立	3	14.3%
I	2	9.5%
II a	8	38.1%
III a	1	4.8%
III b	0	0.0%
IV	1	4.8%
M	0	0.0%
合計	21	-

さん獅子神楽園(ケアハウス)		
定員	80人	構成率
人数	1	1.3%
自立	1	1.3%
I	8	10.7%
II a	16	21.3%
II b	27	36.0%
III a	15	20.0%
III b	6	8.0%
IV	2	2.7%
M	0	0.0%
合計	75	-

神楽園レインボ-西宮(グループホーム)		
定員	18人	構成率
人数	0	0.0%
自立	0	0.0%
I	0	0.0%
II a	1	5.6%
II b	5	27.8%
III a	3	16.7%
III b	3	16.7%
IV	4	22.2%
M	2	11.1%
合計	18	-

神楽園レインボ-蒲田通(付高住)		
定員	50人	構成率
人数	14	28.6%
自立	14	28.6%
I	15	30.6%
II a	2	4.1%
II b	1	2.0%
III a	1	2.0%
III b	0	0.0%
IV	12	24.5%
M	4	8.2%
合計	49	-

5施設合計		
定員	247人	構成率
人数	21	10.9%
自立	21	10.9%
I	31	16.1%
II a	23	11.9%
II b	53	27.5%
III a	30	15.5%
III b	9	4.7%
IV	20	10.4%
M	6	3.1%
合計	193	-

※6: 高齢者の認知症の程度とそれによる日常生活の自立度を客観的に把握するため、厚生労働省が定める指摺

I: 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している IV: 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要としている

II: 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても M: 著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする

II a: 家庭外で上記IIの状態がみられる

II b: 家庭内でも上記IIの状態がみられる

III: 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする

III a: 日中を通して上記IIIの状態がみられる

III b: 夜間を中心として上記IIIの状態がみられる

※7: 3月末付で退居された利用者および入院中の利用者も含む

※8: 養護老人ホーム神楽園の在籍者については、介護保険未申請の方を除く

※9: 神楽園レインボ-酒蔵通の在籍者については、介護保険未申請の方および他法人管理のため数値不明の方を除く

①-4 令和7年度における入退居の状況および退去者の平均在園年数

1. 特別養護老人ホーム5施設の状況

神港園シルビアホーム				神港園しあわせの家				神港園サニーライフ白川				神港園サニーブラザ妙法寺				さん舞子神港園いこいの家				5施設合計				
定員	100人	人数	構成率	定員	100人	人数	構成率	定員	50人	人数	構成率	定員	25人	人数	構成率	定員	50人	人数	構成率	定員	325人	人数	構成率	
新入居	在宅から	22	61.2%	在宅から	13	39.4%	在宅から	11	68.8%	在宅から	1	10.0%	在宅から	7	41.2%	在宅から	7	14.0%	在宅から	7	21.5%	在宅から	54	48.3%
	病院から	3	8.3%	病院から	12	36.4%	病院から	3	18.8%	病院へ	2	20.0%	病院へ	2	8.0%	病院へ	6	12.0%	病院へ	3	23.5%	病院へ	26	23.9%
	他施設から	11	30.6%	他施設から	8	24.2%	他施設から	2	12.5%	他施設へ	7	70.0%	他施設へ	7	27.5%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	1	0.9%
	合計	36人	-	合計	33人	-	合計	16人	-	合計	10人	-	合計	10人	-	合計	17人	-	合計	18人	-	合計	112人	-
退居	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%
	病院へ	10	28.6%	病院へ	4	12.1%	病院へ	3	20.0%	病院へ	6	75.0%	病院へ	6	23.1%	病院へ	3	16.7%	病院へ	3	16.7%	病院へ	26	23.9%
	他施設へ	1	2.9%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	1	0.9%
	死亡	24	68.6%	死亡	29	87.9%	死亡	12	80.0%	死亡	2	25.0%	死亡	2	25.0%	死亡	15	83.3%	死亡	15	83.3%	死亡	82	75.2%
	合計	35人	-	合計	33人	-	合計	15人	-	合計	8人	-	合計	8人	-	合計	18人	-	合計	18人	-	合計	109人	-
	退去者の平均在園年数	2.8			退去者の平均在園年数	5.0			退去者の平均在園年数	2.7			退去者の平均在園年数	0.5			退去者の平均在園年数	4.9			退去者の平均在園年数	3.6		

2. 養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅5施設の状況

養護老人ホーム神港園				神港園サニーブラザ妙法寺(サ高住)				神港園サニー西宮(グループホーム)				神港園レインボ-酒蔵通(サ高住)				5施設合計								
定員	50人	人数	構成率	定員	49人	人数	構成率	定員	18人	人数	構成率	定員	50人	人数	構成率	定員	247人	人数	構成率	定員	325人	人数	構成率	
新入居	在宅から	1	16.7%	在宅から	22	66.7%	在宅から	14	87.5%	在宅から	1	10.0%	在宅から	1	5.9%	在宅から	7	28.3%	在宅から	7	21.5%	在宅から	54	48.3%
	病院から	1	16.7%	病院から	6	18.2%	病院から	3	18.8%	病院へ	0	0.0%	病院へ	1	5.9%	病院へ	6	23.1%	病院へ	3	23.5%	病院へ	26	23.9%
	他施設から	4	66.7%	他施設から	7	21.2%	他施設から	1	6.3%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	1	0.9%
	合計	6人	-	合計	35人	-	合計	18人	-	合計	1人	-	合計	2人	-	合計	17人	-	合計	18人	-	合計	112人	-
退居	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	3	9.1%	在宅へ	1	6.7%	在宅へ	1	12.5%	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%	在宅へ	0	0.0%
	病院へ	4	57.1%	病院へ	1	3.0%	病院へ	5	33.3%	病院へ	0	0.0%	病院へ	1	5.6%	病院へ	1	5.6%	病院へ	1	5.6%	病院へ	11	31.4%
	他施設へ	2	28.6%	他施設へ	2	6.1%	他施設へ	1	6.7%	他施設へ	0	0.0%	他施設へ	3	16.7%	他施設へ	3	16.7%	他施設へ	3	16.7%	他施設へ	8	22.9%
	死亡	1	14.3%	死亡	0	0.0%	死亡	9	60.0%	死亡	0	0.0%	死亡	1	5.6%	死亡	1	5.6%	死亡	1	5.6%	死亡	11	31.4%
	合計	7人	-	合計	6人	-	合計	16人	-	合計	1人	-	合計	5人	-	合計	5人	-	合計	5人	-	合計	35人	-
	退去者の平均在園年数	7.4			退去者の平均在園年数	0.5			退去者の平均在園年数	4.3			退去者の平均在園年数	4.8			退去者の平均在園年数	4.3			退去者の平均在園年数	3.6		

①-5 在籍期間および年齢状況(令和7年3月末時点の在籍者について)※10

1. 特別養護老人ホーム5施設の状態

神港園シルビアホーム		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
95人	100人	
女性	男性	構成率
24	6	31.6%
1年未満		
45	5	52.9%
1年以上5年未満		
14	1	15.8%
5年以上10年未満		
0	0	0.0%
10年以上		
83人	12人	-
合計		
~69歳	0人	0.0%
70~79歳	13人	13.7%
80~89歳	37人	39.9%
90~99歳	43人	45.3%
100歳~	2人	2.1%

神港園しあわせの家		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
99人	100人	
女性	男性	構成率
11	8	19.2%
1年未満		
61	11	72.7%
1年以上5年未満		
6	2	8.1%
5年以上10年未満		
0	0	0.0%
10年以上		
78人	21人	-
合計		
~69歳	2人	2.0%
70~79歳	9人	9.1%
80~89歳	56人	56.6%
90~99歳	30人	30.3%
100歳~	2人	2.0%

神港園サニーマリアフ白川		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
50人	50人	
女性	男性	構成率
11	1	24.0%
1年未満		
26	4	60.0%
1年以上5年未満		
7	0	14.0%
5年以上10年未満		
1	0	2.0%
10年以上		
45人	5人	-
合計		
~69歳	0人	0.0%
70~79歳	8人	16.0%
80~89歳	24人	48.0%
90~99歳	18人	36.0%
100歳~	0人	0.0%

神港園サニーブライザ妙法寺		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
25人	25人	
女性	男性	構成率
9	2	44.0%
1年未満		
12	2	56.0%
1年以上5年未満		
0	0	0.0%
5年以上10年未満		
0	0	0.0%
10年以上		
21人	4人	-
合計		
~69歳	0人	0.0%
70~79歳	1人	4.0%
80~89歳	8人	32.0%
90~99歳	15人	60.0%
100歳~	1人	4.0%

さん舞子神港園いこいの家		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
48人	50人	
女性	男性	構成率
12	3	31.3%
1年未満		
20	2	45.8%
1年以上5年未満		
9	2	22.9%
5年以上10年未満		
0	0	0.0%
10年以上		
41人	7人	-
合計		
~69歳	0人	0.0%
70~79歳	4人	8.3%
80~89歳	23人	47.9%
90~99歳	17人	35.4%
100歳~	4人	8.3%

2. 養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅5施設の状態

養護老人ホーム神港園		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
50人	50人	
女性	男性	構成率
1	5	12.0%
1年未満		
16	13	58.0%
1年以上5年未満		
6	3	18.0%
5年以上10年未満		
5	1	12.0%
10年以上		
28人	22人	-
合計		
~69歳	1人	2.0%
70~79歳	14人	28.0%
80~89歳	25人	50.0%
90~99歳	10人	20.0%
100歳~	0人	0.0%

神港園サニーブライザ妙法寺(ゆ高住)		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
38人	49人	
女性	男性	構成率
20	12	32.3%
1年未満		
2	4	6.1%
1年以上5年未満		
0	0	0.0%
5年以上10年未満		
0	0	0.0%
10年以上		
22人	16人	-
合計		
~69歳	3人	7.9%
70~79歳	4人	10.5%
80~89歳	16人	42.1%
90~99歳	12人	31.6%
100歳~	3人	7.9%

さん舞子神港園(ケアハウス)		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
78人	80人	
女性	男性	構成率
17	3	40.0%
1年未満		
30	7	74.0%
1年以上5年未満		
16	0	32.0%
5年以上10年未満		
5	0	10.0%
10年以上		
68人	10人	-
合計		
~69歳	0人	0.0%
70~79歳	2人	4.0%
80~89歳	22人	44.0%
90~99歳	49人	98.0%
100歳~	5人	10.0%

神港園レインポー西宮(グループホーム)		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
18人	18人	
女性	男性	構成率
1	0	4.0%
1年未満		
10	1	44.0%
1年以上5年未満		
5	0	20.0%
5年以上10年未満		
1	0	4.0%
10年以上		
17人	1人	-
合計		
~69歳	0人	0.0%
70~79歳	3人	12.0%
80~89歳	9人	36.0%
90~99歳	6人	24.0%
100歳~	0人	0.0%

神港園レインポー酒蔵通(ゆ高住)		
3月末時点 在籍者	定員	構成率
51人	50人	
女性	男性	構成率
1	0	2.1%
1年未満		
27	7	70.8%
1年以上5年未満		
8	5	27.1%
5年以上10年未満		
3	0	6.3%
10年以上		
39人	12人	-
合計		
~69歳	0人	0.0%
70~79歳	3人	6.3%
80~89歳	24人	50.0%
90~99歳	23人	47.9%
100歳~	1人	2.1%

※10：3月末付で退居された利用者および入院中の利用者も含む  
 ※10-2 定員50名であるが、家族部屋(複数名入居可能)の利用により、在籍者数が50名を上回る場合がある。

①-6 生活動作状況(令和7年3月末時点の在園者について)

1. 特別養護老人ホーム5施設の状況

神港園シルビアホーム				神港園あわせの家				神港園サニーライフ白川				神港園サニーラブラザ妙法寺				さん髯子神港園いこいの家			
3月末時点在園者		95人		98人		100人		49人		50人		25人		25人		48人		50人	
(分類)	前年度	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	
自立	16	16.8%	62	9	9.1%	32	5	10.2%	19	4	16.0%	10	4	16.0%	10	1	2.0%	15	31.2%
一部介助	29	30.5%	13	19	19.3%	36	11	22.4%	16	一部介助	8.0%	10	一部介助	33.3%	10	一部介助	33.3%	10	20.8%
全介助	50	52.6%	20	70	71.4%	30	33	67.3%	14	全介助	76.0%	5	全介助	64.5%	23	全介助	64.5%	23	47.9%
自立	3	3.1%	0	3	3.0%	0	3	8.1%	2	自立	12.0%	0	3	12.0%	0	3	12.0%	0	0.0%
一部介助	36	37.8%	33	28	28.5%	24	5	10.2%	4	一部介助	24.0%	3	一部介助	24.0%	3	一部介助	29.1%	8	16.6%
全介助	56	58.9%	62	67	68.3%	74	40	81.6%	43	全介助	81.6%	43	全介助	87.7%	22	全介助	68.7%	40	83.3%
自立	6	6.3%	4	1	1.0%	2	4	8.1%	3	自立	16.0%	3	4	16.0%	3	4	16.0%	3	2.0%
一部介助	33	34.7%	16	13	13.2%	12	5	10.2%	5	一部介助	56.0%	11	一部介助	56.0%	11	一部介助	29.1%	11	22.9%
全介助	56	58.9%	75	84	85.7%	84	40	81.6%	41	全介助	81.6%	41	全介助	87.7%	22	全介助	68.7%	36	75.0%

2. 養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅5施設の状況

養護老人ホーム神港園				さん髯子神港園(ケアハウス)				神港園レインボウ西宮(グループホーム)				神港園レインボウ瀬高(ケアハウス)				神港園レインボウ瀬高(サ高住)			
3月末時点在園者		48人		38人		49人		78人		80人		18人		18人		51人		50人	
(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率	合計	(分類)	構成率
自立	37	77.0%	45	33	86.8%	37	25	32.0%	56	71.7%	5	27.7%	6	33.3%	40	78.4%	43	84.3%	
一部介助	8	16.6%	3	3	7.8%	0	24	30.7%	15	19.2%	7	38.8%	9	50.0%	5	9.8%	6	11.7%	
全介助	3	6.2%	0	2	5.2%	1	29	37.1%	7	8.9%	6	33.3%	3	16.6%	6	11.7%	2	3.9%	
自立	35	72.9%	20	16	42.1%	16	20	25.6%	10	12.8%	1	5.5%	1	5.5%	43	84.3%	38	74.5%	
一部介助	8	16.6%	19	18	47.3%	18	34	43.5%	34	43.5%	7	38.8%	7	38.8%	4	7.8%	9	17.6%	
全介助	5	10.4%	9	4	10.5%	4	24	30.7%	34	43.5%	10	55.5%	10	55.5%	4	7.8%	4	7.8%	
自立	33	68.7%	33	34	89.4%	33	37	47.4%	31	39.7%	1	5.5%	1	5.5%	43	84.3%	43	84.3%	
一部介助	6	12.5%	7	2	5.2%	3	22	28.2%	26	33.3%	12	66.6%	7	38.8%	4	7.8%	4	7.8%	
全介助	9	18.7%	8	2	5.2%	2	19	24.3%	21	26.9%	5	27.7%	10	55.5%	4	7.8%	4	7.8%	

※10-2 定員50名であるが、家族部屋(複数名同居可能)の利用により、在籍者数が50名を上回る場合がある。

資料② ショートステイ関係

令和7年度におけるショートステイの1日あたり平均ご利用人数と月平均の延べ利用者数

	神楽園シルビアショートステイ			神楽園しあわせの家ショートステイ			神楽園ショートステイ白川			さん舞子神楽園ショートステイ		
	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度
	定員	22人		定員	21人		定員	20人		定員	24人	
要支援1	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.2%	0.7	3.5%
要支援2	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.8	4.3%	0.4	2.1%	0.4	2.3%
要介護1	1.4	6.5%	1.2	5.5%	2.7	14.4%	2.7	13.5%	4.4	23.0%	3.7	19.0%
要介護2	0.9	4.2%	1.9	8.7%	3.0	16.4%	2.2	13.0%	2.9	15.2%	3.3	17.4%
要介護3	10.8	50.4%	8.5	38.7%	9.5	51.6%	9.4	55.6%	5.3	27.8%	2.8	14.6%
要介護4	6.5	30.3%	7.6	34.9%	3.0	16.5%	2.0	12.0%	3.5	18.5%	5.5	28.6%
要介護5	1.8	8.4%	2.6	11.9%	0.2	0.9%	0.5	3.2%	2.0	10.4%	2.7	14.3%
合計(前年比)	21.4	(98.2%)	21.8		18.3	(108.6%)	16.9		19.0	(99.2%)	19.2	
平均介護度	3.3		3.4		2.7		2.7		2.7		2.9	
稼働率	97.2%		108.9%		87.3%		80.3%		97.0%		79.8%	
延べ利用者数(前年比)	642	(98.1%)	654		559	(108.7%)	514		582	(98.9%)	576	
新規利用者※11	53人		56人		67人		54人		65人		79人	

	4 事業所 合計			
	令和7年度		前年度	
	総定員	87人		
要支援1	0.6	0.8%	0.7	0.9%
要支援2	1.5	1.9%	1.3	1.6%
要介護1	11.5	14.7%	10.2	13.1%
要介護2	10.2	13.0%	11.3	14.6%
要介護3	27.4	35.0%	24.4	31.4%
要介護4	18.6	23.7%	19.8	25.6%
要介護5	8.4	10.6%	9.6	12.4%
合計(前年比)	78.2	(100.9%)	77.4	
平均介護度	3.0		3.0	
稼働率	89.8%		88.9%	
延べ利用者数	2,353	(100.9%)	2,332	
新規利用者※11	264人		265人	

※11：通期における新規ご利用者数

資料③ デイサービス関係

令和7年度における各種デイサービスの1日あたり平均ご利用人数と月平均の延べ利用者数

	神楽園シルビアデイサービスセンター：一般型			神楽園しあわせの家デイサービスセンター：認知症			神楽園デイサービス白川：一般型			SDクルーズ神楽園妙法寺：一般型			さん舞子神楽園デイサービスセンター：一般型		
	定員 令和7年度	6時間以上 前年度	構成率	定員 令和7年度	6時間以上 前年度	構成率	定員 令和7年度	7時間以上 前年度	構成率	定員 令和7年度	40人 前年度	構成率	定員 令和7年度	35人 前年度	構成率
稼働日数	310日	310日	308日	306日	309日	309日	295日	114日	309日	309日	309日	309日	309日	309日	309日
人数	0.1	0.4%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.2	0.7%	3	17.5%	0	0.0%
構成率	0.7	2.5%	0.3	0.0	0.1%	1.4	3.6%	1.1	3.5%	2.4	8.7%	1.3	7.7%	2.4	9.0%
要支援1	2.4	8.4%	4.0	0.0	0.0%	8.8	22.7%	3.7	11.3%	3.9	14.2%	2.5	14.5%	4.8	18.0%
要支援2	10.5	36.8%	10.2	9.5	41.9%	13.7	35.4%	15.6	47.2%	10.0	36.4%	4.8	28.2%	9.6	36.0%
要介護1	6.5	22.8%	5.7	20.0%	28.0%	6.1	28.0%	8.3	25.0%	6.2	22.5%	3.1	18.0%	5.6	21.0%
要介護2	5.5	19.3%	5.5	19.3%	19.5%	4.2	19.5%	2.1	6.2%	2.6	9.5%	0.9	5.5%	2.1	7.9%
要介護3	2.0	7.0%	1.5	5.3%	5.7%	1.2	5.7%	1.9	5.9%	2.1	7.6%	1.1	6.5%	1.6	6.0%
要介護4	0.9	3.2%	1.1	3.8%	1.8%	0.4	1.8%	0.3	0.9%	0.1	0.4%	0.4	2.1%	0.6	2.2%
要介護5	28.5	(100.8%)	28.2	22.6	96.1%	21.7	96.1%	33.1	116.9%	38.7	116.9%	17.2	160.3%	27.5	104.7%
合計(前年比)	1.9		1.8	2.0		1.9	1.4	1.5		1.5	1.5	1.3		1.5	
平均介護度	63.3%		62.8%	62.7%		60.3%	96.8%	82.8%		68.8%	68.8%	42.9%		76.3%	
稼働率	736	(100.8%)	730	576		996	(116.9%)	852		676	(160.2%)	422		686	(104.6%)
延べ利用者数(前年比)	44人		46人	36人		38人	36人	28人		61人		57人		38人	
新規利用者※12															

	リハデイGsさん舞子神楽園：リハビリ特化型			デイサービスセンターレインボ-西宮：地域密着			認知症対応型デイサービスセンターレインボ-西宮			
	定員 令和7年度	3時間以上 前年度	構成率	定員 令和7年度	6時間以上 前年度	構成率	定員 令和7年度	12人 前年度	構成率	
稼働日数	256日	256日	308日	308日	308日	308日	308日	308日	308日	
人数	0.3	3.4%	0.2	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%
構成率	3.4	45.9%	3.0	0.4	3.0%	0.5	0.0	0.0%	0.0	0.0%
要支援1	1.9	25.7%	1.7	26.8%	10.4%	1.4	10.4%	0.0	0.0	0.0%
要支援2	1.2	15.5%	0.8	12.6%	31.9%	4.3	31.9%	3.3	41.3%	2.8
要介護1	1.0	12.8%	0.7	11.6%	19.3%	2.6	19.3%	0.7	8.8%	0.8
要介護2	0.0	0.0%	0.1	1.2%	7.4%	1.0	7.4%	0.8	10.0%	1.5
要介護3	0.0	0.0%	0.0	0.5%	18.5%	2.5	18.5%	1.2	15.0%	1.8
要介護4	0.0	0.0%	0.0	0.0%	9.6%	1.3	9.6%	2.0	25.0%	2.2
要介護5	7.4	(117.6%)	6.3	14.8	91.1%	13.5	91.1%	8.0	88.2%	9.1
合計(前年比)	0.7		0.7	2.1		2.2	2.7	3.0		3.0
平均介護度	74.0%		62.9%	82.3%		75.0%	66.7%	75.6%		75.6%
稼働率	328	(118.0%)	278	380		347	(91.3%)	380		233
延べ利用者数(前年比)	24人		34人	15人		8人	9人	14人		14人
新規利用者※12										

	放課後等デイサービスレインボ-西宮		
	定員 令和7年度	308日	構成率
人数	2.9	37.2%	4.7
構成率	3.8	48.7%	2.5
要支援1	0.9	11.5%	0.8
要支援2	0.2	2.6%	0.3
要介護1	7.8	(93.9%)	8.3
合計(前年比)	7.8		8.3
稼働率	184	(86.4%)	213
延べ利用者数(前年比)	3人		5人

※12：通期における新規ご利用者数  
 ※13：リハデイGsさん舞子神楽園定員数は午前と午後で10名ずつのため、ご利用者人数は1名当たり0.5人で算出しています。  
 ※14：SDクルーズ神楽園妙法寺は、半日ご利用者は0.5名、一日利用者は1.0名で算出しています。  
 ※15：SDクルーズ神楽園妙法寺の定員数は、4-10月が35名で11-3月は40名ですが、稼働率は40名週期で算出しています。

資料④ ホームヘルプ関係

令和7年度における各種ホームヘルプサービスの月間平均ご利用回数

	神楽園ホームヘルプセンター		神楽園しあわせの家ホームヘルプセンター		神楽園ホームヘルプ白川		さん孺子神楽園ホームヘルプセンター		ホームヘルプ神楽園レインボン西宮	
	令和7年度 回数	構成率	令和7年度 回数	構成率	令和7年度 回数	構成率	令和7年度 回数	構成率	令和7年度 回数	構成率
介護保険	1,527	81.7%	305	48.4%	685	52.5%	607	55.2%	1,070	99.8%
身体介護	1,386	1,245	123	173	390	390	199	160	878	633
身体生活	67	65	45	84	32	32	127	129	93	83
生活援助	75	51	137	141	263	263	281	274	99	110
総合事業	117	6.2%	316	50.1%	539	41.3%	440	40.0%	2	0.1%
障害支援	218	11.6%	0	0.0%	42	3.2%	19	1.7%	0	0.0%
身体介護	95	86	0	0	8	8	15	1	0	0
生活援助	123	123	0	0	34	34	4	1	0	0
重症支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移動支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神戸市委託事業	0	0.0%	1	0.1%	6	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
みまもりヘルパー	0	0	1	1	5	5	0	0	0	0
産後ヘルパー	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
養育ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
介護保険外サービス	6	0.3%	8	1.2%	15	1.1%	32	2.9%	0	0.0%
合計(前年比)	1,868 (111.8%)	1,670	630 (92.4%)	681	1,274 (97.7%)	1,303	1,098 (111.1%)	988	1,072 (128.2%)	836
新規利用者※16	30人	34人	23人	34人	65人	40人	58人	27人	1人	4人
<b>5 事業所合計</b>										
	令和7年度	前年度								
介護保険	4,235	3,831	69.9%							
身体介護	3,010	2,600								
身体生活	374	393								
生活援助	852	838								
総合事業	1,369	1,298	23.6%							
障害支援	279	268	4.9%							
身体介護	118	95								
生活援助	161	173								
重症支援	0	0								
移動支援	0	0								
神戸市委託事業	6	9	0.1%							
みまもりヘルパー	6	6								
産後ヘルパー	0	2								
養育ヘルパー	0	1								
介護保険外サービス	53	71	1.2%							
合計(前年比)	5,942 (108.4%)	5,477	-							
新規利用者※16	119人	139人								

※16：通期における新規ご利用者数

資料⑤ 居宅介護支援事業所関係

1. 令和7年度における居宅介護支援計画実績(月間平均件数)

	シルビアケアプランセンター			西鈴蘭台ケアプランセンター			白川ケアプランセンター			舞子ケアプランセンター			居宅介護支援事業所レインボー西宮		
	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度
	件数	構成率		件数	構成率		件数	構成率		件数	構成率		件数	構成率	
要支援合計	0.0	0.0%	0.0	10.3	274.8	13.1	22.5	10.8	27.4	18.6	33.4	33.0%	36.3		
要支援1	0.0		0.0	6.2		7.7	11.3	6.6	7.8	4.8	16.4		22.7		
要支援2	0.0		0.0	4.1		5.4	11.3	4.3	19.6	13.8	17.0		13.7		
要介護合計	146.0	100.0%	155.7	274.8	96.4%	276.8	252.9	91.8%	223.4	208.2	67.8	67.0%	61.0		
要介護1	44.2		36.6	122.3		104.8	102.6	109.8	106.8	100.8	31.7		29.1		
要介護2	40.5		47.1	83.9		94.9	77.4	72.5	51.1	46.1	10.5		10.1		
要介護3	30.4		34.8	37.3		41.9	29.8	28.8	31.8	29.3	10.9		12.6		
要介護4	21.3		25.3	19.7		21.8	30.0	27.8	23.6	20.4	11.0		5.3		
要介護5	9.6		12.1	11.6		13.3	13.2	13.6	10.2	11.6	3.7		4.0		
総合事業	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0	0.9	0.3%	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0		
合計(前年比)	146.0	(93.7%)	155.7	285.1	(98.3%)	289.9	275.4	(104.6%)	250.8	(110.6%)	226.7	(104.0%)	97.3		

2. 令和7年度における要介護認定調査実績(月間平均件数)

	シルビアケアプランセンター			西鈴蘭台ケアプランセンター			白川ケアプランセンター			舞子ケアプランセンター			居宅介護支援事業所レインボー西宮		
	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度
	件数	前年比		件数	前年比		件数	前年比		件数	前年比		件数	前年比	
①申請代行	5.0	122.4%	4.1	10.8	81.2%	13.3	12.4	155.1%	10.6	119.1%	8.9	4.6	75.4%	6.1	
②認定調査	23.9	125.2%	19.1	35.4	103.6%	34.2	38.3	111.3%	41.1	130.4%	31.5	0.0	-	0.0	
神戸市内	18.0	125.5%	14.3	35.0	102.6%	34.1	38.3	111.6%	39.8	129.7%	30.7	-	-	0.0	
神戸市以外	5.9	124.2%	4.8	0.4	481.9%	0.1	0.1	48.1%	1.3	156.0%	0.8	-	-	0.0	

3. 令和7年度における職員の配置状況および1人あたり対応実績(月間平均件数)※17※18

	シルビアケアプランセンター			西鈴蘭台ケアプランセンター			白川ケアプランセンター			舞子ケアプランセンター			居宅介護支援事業所レインボー西宮		
	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度	令和7年度		前年度
	人数	1人あたり件数		人数	1人あたり件数		人数	1人あたり件数		人数	1人あたり件数		人数	1人あたり件数	
職員配置数	4.5人		4.1人	8.0人		8.5人	7.0人		7.3人		7.0人	7.3人		2.0人	
職員1人あたり件数	35.1件	40.3件	40.3件	37.2件	35.3件	35.3件	40.5件	39.3件	35.3件	31.9件	28.5	42.3件	39.6件	30.5	
介護	32.4	38.0	38.0	34.4	32.6	36.1	36.1	36.1	30.6	28.5	33.9	33.9	30.5		
予防	0.0	0.0	0.0	0.6	0.8	0.8	1.6	0.8	1.9	1.3	8.4	8.4	9.1		
認定調査	2.7	2.3	2.3	2.2	2.0	2.5	2.7	2.5	2.8	2.2	0.0	0.0	0.0		
総合事業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

※17：職員配置数については、1か月の所定労働時間が160.375時間の常勤職員を1.0とし、非常勤職員については1ヶ月の労働時間/160.375で常勤換算し算出

※18：予防(介護予防支援)の件数は、3件で1件分(1/3換算)としてカウント。

資料⑥ あんしんすこやかセンター関係

1. 令和7年度における相談対応実績(1月あたり平均件数)

	神出あんしんすこやかセンター		五葉あんしんすこやかセンター		白川あんしんすこやかセンター		獅子あんしんすこやかセンター					
	令和7年度 件数	前年度 件数	令和7年度 件数	前年度 件数	令和7年度 件数	前年度 件数	令和7年度 件数	前年度 件数				
総合相談支援	7.4	118.2%	40.2	298.5	108.0%	276.5	148.9	90.5%	164.5	181.3	148.7%	121.9
介護予防支援推進※19	7.5	46.8%	15.8	37.0	77.7%	47.6	89.5	57.0%	157.0	40.1	143.2%	28.0
権利擁護	5.9	393.3%	1.5	31.3	211.7%	14.8	7.9	86.8%	9.1	7.8	91.8%	8.5
包括的・継続的ケアマネジメント	4.5	31.9%	14.1	17.3	68.8%	25.2	4.1	54.7%	7.5	11.3	24.1%	46.9
困難事例対応	0.1	4.0%	2.5	77.9	88.3%	88.2	7.0	95.9%	7.3	8.5	93.4%	9.1
地域支援合い活動	0.3	62.5%	0.4	2.0	100.0%	2.0	1.5	83.3%	1.8	1.9	59.4%	3.2
認定申請	10.3	71.7%	14.3	51.0	113.1%	45.1	42.1	102.2%	41.2	33.6	163.1%	20.6
その他	0.6	9.4%	6.4	1.3	28.3%	4.6	4.6	63.9%	7.2	14.7	114.0%	12.9
合計	76.5	80.4%	95.2	516.4	102.5%	504.0	305.6	77.2%	395.6	299.2	119.2%	251.1

※19：事業対象者、要支援者の介護予防ケアマネジメントに対する相談対応。モニタリング、サービス担当者会議は除く

2. 令和7年度における介護予防ケアマネジメント実績(1月あたり平均件数)

	神出あんしんすこやかセンター		五葉あんしんすこやかセンター		白川あんしんすこやかセンター		獅子あんしんすこやかセンター						
	令和7年度 管理総数	前年度 管理総数	令和7年度 管理総数	前年度 管理総数	令和7年度 管理総数	前年度 管理総数	令和7年度 管理総数	前年度 管理総数					
総合事業	従来型	12.0	11.8%	0.3	1.0	110.6%	107.3	3.4	18.4%	100.5	95.7%	4.7	13.5
	簡易型	15.0	14.5%	0.3	0.5	80.9%	78.6	2.3	8.2%	157.2	151.8	5.4	15.4
	セルフレ型	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0
予防給付	103.0	96.5%	1.8	7.7	284.2%	287.3	6.9	46.3%	281.5	274.6	6.8	50.8	
総合事業	従来型	8.3	7.9%	0.4	3.1	130.8%	128.8	3.9	19.1%	103.8	99.5	4.3	15.5
	簡易型	10.6	9.8%	0.8	1.2	88.0%	84.5	3.6	4.5%	152.3	146.7	5.6	12.7
	セルフレ型	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0
予防給付	91.9	89.3%	2.6	21.2	298.0%	291.0	7.0	52.3%	271.3	264.5	6.8	35.2	
合計	110.8	107.0%	3.8	25.5	516.8%	502.3	14.5	75.9%	527.4	510.7	16.7%	63.4	

3. 令和7年度における地域支援合い活動推進事業・会議等実施状況(通期における累計件数)

	神出あんしんすこやかセンター		五葉あんしんすこやかセンター		白川あんしんすこやかセンター		獅子あんしんすこやかセンター					
	令和7年度 件数	前年度 件数	令和7年度 件数	前年度 件数	令和7年度 件数	前年度 件数	令和7年度 件数	前年度 件数				
地域ケア会議	2	100.0%	2	2	66.7%	3	1	50.0%	2	3	75.0%	4
自センター主催会議	7	175.0%	4	1	-	0	7	100.0%	7	3	50.0%	6
小地域支援合い連絡会	4	200.0%	2	7	116.7%	6	2	200.0%	1	6	75.0%	8
行政主催会議	29	54.7%	53	37	77.1%	48	52	173.3%	30	12	85.7%	14
地域主催会議	153	85.5%	179	136	105.4%	129	184	116.5%	158	87	90.6%	96
ケアマネ等研修会	1	100.0%	1	1	50.0%	2	2	50.0%	4	0	0.0%	1
介護リフレッシュ教室	6	120.0%	5	6	120.0%	5	4	100.0%	4	4	100.0%	4
運営推進会議	7	100.0%	7	8	133.3%	6	13	118.2%	11	20	76.9%	26
研修	18	90.0%	20	25	192.3%	13	8	72.7%	11	12	133.3%	9
住民主催活動の後方支援	0	0.0%	2	1	100.0%	1	1	10.0%	10	9	180.0%	5

## 資料⑦ 事故関係

### ⑦-1 令和7年度における行政機関への事故報告事例件数

		骨折	打撲・捻挫 脱臼	切傷 擦過傷	やけど	その他外傷	異食 誤えん	結核	感染症 ※20	職員の 法令違反	虐待	離園	誤薬	その他	事業所別合計	
神戸市西区内の事業所	養護老人ホーム神港園	1										1			2	
	神港園シルビアホーム								9						9	
	神港園シルビアショートステイ	1													1	
	神港園シルビアデイサービスセンター															
	神港園ホームヘルプセンター															
	シルビアケアプランセンター															
	神出あんしんすこやかセンター															
	介護しょっぶ神港園															
	事故分類別合計・令和7年度	2							9				1			12
	同・前年度	4						1								5
神戸市北区内の事業所	神港園しあわせの家	2	1	1			1								5	
	神港園しあわせの家ショートステイ	2							1						3	
	神港園しあわせの家デイサービスセンター								13						13	
	神港園しあわせの家ホームヘルプセンター															
	西鈴蘭台ケアプランセンター															
	五葉あんしんすこやかセンター															
	しあわせの村保育園															
	事故分類別合計・令和7年度	4	1	1			1		14							21
	同・前年度	6	4						114				1		1	126
	神戸市須磨区内の事業所	神港園サニーライフ白川	4													4
神港園サニープラザ妙法寺※21		3							11						14	
神港園ショートステイ白川		3		1					8						12	
神港園デイサービス白川		2							2						4	
SDクルーズ神港園妙法寺																
神港園ホームヘルプ白川																
白川ケアプランセンター																
白川あんしんすこやかセンター																
事故分類別合計・令和7年度		12		1					21							34
同・前年度		4						1	4			1	2			12
神戸市垂水区内の事業所	さん舞子神港園	3													3	
	さん舞子神港園いこいの家		1	1									4		6	
	さん舞子神港園ショートステイ	1													1	
	さん舞子神港園デイサービスセンター		1												1	
	リハデイGsさん舞子神港園															
	さん舞子神港園ホームヘルプセンター															
	舞子ケアプランセンター															
	舞子あんしんすこやかセンター															
	事故分類別合計・令和7年度	4	2	1									4			11
	同・前年度	7	7	2					90				2	1		109
西宮市内の事業所	神港園レインボー西宮	2													2	
	神港園レインボー酒蔵通															
	デイサービスセンターレインボー西宮	1													1	
	認知症対応型デイサービスセンターレインボー西宮															
	放課後等デイサービスレインボー西宮															
	ホームヘルプ神港園レインボー西宮															
	居宅介護支援事業所レインボー西宮															
	事故分類別合計・令和7年度	3														3
同・前年度	3														3	
医療事業部	神港園診療所															
	神港園妙法寺クリニック															
	事故分類別合計・令和7年度															
同・前年度																

事故分類別の総件数(法人全体)	骨折	打撲・捻挫 脱臼	切傷 擦過傷	やけど	その他外傷	異食 誤えん	結核	感染症 ※20	職員の 法令違反	虐待	離園	誤薬	その他	合計
令和7年度	25	3	3			1		44			1	4		81
前年度	24	11	2			2		208			2	4	2	255

※20：新型コロナウイルス感染症の影響による事故報告も含む

※21：特別養護老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅2事業の合計件数

⑦-2 令和7年度におけるご利用者からの事業所への要望件数

	提案	サービス内容	嗜好	職員のマナー	利用料	その他	事業所別合計
神戸市西区内の事業所	養護老人ホーム神港園						
	神港園シルビアホーム						
	神港園シルビアショートステイ						
	神港園シルビアデイサービスセンター						
	神港園ホームヘルプセンター					1	1
	シルビアケアプランセンター						
	神出あんしんすこやかセンター						
	介護しょっぷ神港園						
	要望分類別合計・令和7年度					1	1
	同・前年度			2			2
神戸市北区内の事業所	神港園しあわせの家						
	神港園しあわせの家ショートステイ						
	神港園しあわせの家デイサービスセンター						
	神港園しあわせの家ホームヘルプセンター			1		1	2
	西鈴蘭台ケアプランセンター						
	五葉あんしんすこやかセンター						
	しあわせの村保育園						
	要望分類別合計・令和7年度			1		1	2
同・前年度		3			2	5	
神戸市須磨区内の事業所	神港園サニーライフ白川			1			1
	神港園サニープラザ妙法寺※21						
	神港園ショートステイ白川			1			1
	神港園デイサービス白川						
	SDクルーズ神港園妙法寺	1					1
	神港園ホームヘルプ白川						
	白川ケアプランセンター						
	白川あんしんすこやかセンター						
	要望分類別合計・令和7年度	1			2		3
同・前年度				1	4	5	
神戸市垂水区内の事業所	さん舞子神港園					1	1
	さん舞子神港園いこいの家						
	さん舞子神港園ショートステイ						
	さん舞子神港園デイサービスセンター						
	リハデイGsさん舞子神港園						
	さん舞子神港園ホームヘルプセンター						
	舞子ケアプランセンター						
	舞子あんしんすこやかセンター						
	要望分類別合計・令和7年度					1	1
同・前年度	1					1	
西宮市内の事業所	神港園レインボー西宮	1					1
	神港園レインボー酒蔵通						
	デイサービスセンターレインボー西宮						
	認知症対応型デイサービスセンターレインボー西宮						
	放課後等デイサービスレインボー西宮						
	ホームヘルプ神港園レインボー西宮						
	居宅介護支援事業所レインボー西宮						
	要望分類別合計・令和7年度	1					1
	同・前年度		1			1	2
医療事業部	神港園診療所						
	神港園妙法寺クリニック						
	同・前年度						
	神港園しあわせの家						

要望分類別の総件数(法人全体)	提案	サービス内容	嗜好	職員のマナー	利用料	その他	総件数
令和7年度	2			3		3	8
前年度	1	4		3		7	15

※21：特別養護老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅2事業の合計件数

⑦-3 令和7年度におけるご利用者からの事業所への苦情件数

	サービス内容	個人の嗜好	制度・法律関連	職員の態度	説明不十分	その他	事業所別合計
神戸市西区内の事業所	養護老人ホーム神港園						
	神港園シルビアホーム						
	神港園シルビアショートステイ						
	神港園シルビアデイサービスセンター						
	神港園ホームヘルプセンター						
	シルビアケアプランセンター						
	神出あんしんすこやかセンター						
	介護しょっぶ神港園						
	要望分類別合計・令和7年度						
	同・前年度						
神戸市北区内の事業所	神港園しあわせの家	1					1
	神港園しあわせの家ショートステイ				1		1
	神港園しあわせの家デイサービスセンター			1			1
	神港園しあわせの家ホームヘルプセンター						
	西鈴蘭台ケアプランセンター				1		1
	五葉あんしんすこやかセンター						
	しあわせの村保育園						
	要望分類別合計・令和7年度	1			1	2	4
同・前年度				1		1	
神戸市須磨区内の事業所	神港園サニーライフ白川						
	神港園サニーブラザ妙法寺※21	2		2	1		5
	神港園ショートステイ白川						
	神港園デイサービス白川						
	SDクルーズ神港園妙法寺						
	神港園ホームヘルプ白川						
	白川ケアプランセンター						
	白川あんしんすこやかセンター						
	要望分類別合計・令和7年度	2			2	1	5
同・前年度							
神戸市垂水区内の事業所	さん舞子神港園						
	さん舞子神港園いこいの家			1			1
	さん舞子神港園ショートステイ						
	さん舞子神港園デイサービスセンター						
	リハデイGsさん舞子神港園						
	さん舞子神港園ホームヘルプセンター						
	舞子ケアプランセンター						
	舞子あんしんすこやかセンター			1			1
	要望分類別合計・令和7年度				2		2
同・前年度	4			5	2	1	12
西宮市内の事業所	神港園レインボー西宮				1		1
	神港園レインボー酒蔵通						
	デイサービスセンターレインボー西宮						
	認知症対応型デイサービスセンターレインボー西宮						
	放課後等デイサービスレインボー西宮						
	ホームヘルプ神港園レインボー西宮						
	居宅介護支援事業所レインボー西宮						
	要望分類別合計・令和7年度					1	1
	同・前年度						
医療事業部	神港園診療所						
	神港園妙法寺クリニック						
	要望分類別合計・令和7年度						
	同・前年度						

苦情分類別の総件数(法人全体)	サービス内容	個人の嗜好	制度・法律関連	職員の態度	説明不十分	その他	総件数
令和7年度	3			5	4		12
前年度	4			5	3	1	13

※21：特別養護老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅2事業の合計件数

⑦-4 令和7年度における新型コロナウイルス感染症による影響

		陽性判明利用者数	陽性判明職員数	職員の自宅待機日数※22	営業中止・新規受入中止日数
神戸市西区内の事業所	養護老人ホーム神港園				
	神港園シルビアホーム				
	神港園シルビアショートステイ		3	15	
	神港園シルビアデイサービスセンター				
	神港園ホームヘルプセンター				
	シルビアケアプランセンター				
	神出あんしんすこやかセンター				
	介護しょっぶ神港園		1	5	
	影響別合計・令和7年度		3	15	
	同・前年度	36	9	45	
神戸市北区内の事業所	神港園しあわせの家		7	43	
	神港園しあわせの家ショートステイ				
	神港園しあわせの家サービスセンター	8	5	25	
	神港園しあわせの家ホームヘルプセンター		2	9	
	西鈴蘭台ケアプランセンター				
	五葉あんしんすこやかセンター				
	しあわせの村保育園				
	影響別合計・令和7年度	8	14	77	
同・前年度	83	41	189	74	
神戸市須磨区内の事業所	神港園サニーライフ白川	1	1	5	
	神港園ショートステイ白川	8	2	10	5
	神港園デイサービス白川	9	2	10	
	神港園ホームヘルプ白川				
	白川ケアプランセンター				
	白川あんしんすこやかセンター				
	神港園サニープラザ妙法寺(特養)				
	神港園サニープラザ妙法寺(サ高住)				
	SDクルーズ神港園妙法寺				
	影響別合計・令和7年度	18	5	25	5
	同・前年度	23	16	80	
神戸市垂水区内の事業所	さん舞子神港園(ケアハウス)				
	さん舞子神港園いこいの家				
	さん舞子神港園ショートステイ				
	さん舞子神港園デイサービスセンター				
	リハデイGsさん舞子神港園				
	さん舞子神港園ホームヘルプセンター				
	舞子ケアプランセンター				
	舞子あんしんすこやかセンター				
	影響別合計・令和7年度				
同・前年度	51	41	200	4	
西宮市内の事業所	神港園レインボー西宮(グループホーム)	4	2	10	
	神港園レインボー酒蔵通(サ高住)	5			
	デイサービスセンターレインボー西宮	1			
	認知症対応型デイサービスセンターレインボー西宮				
	放課後等デイサービスレインボー西宮	1			
	ホームヘルプ神港園レインボー西宮		2	10	
	居宅介護支援事業所レインボー西宮				
	影響別合計・令和7年度	11	4	20	
同・前年度	13	7	35		

新型コロナウイルス感染症による影響(法人全体)	陽性判明利用者数	陽性判明職員数	職員の自宅待機日数※22	営業中止・新規受入中止日数
令和7年度	37	26	137	5
前年度	206	114	549	78

※22：職員が感染等を原因として職務を休んだ延べ日数(しあわせの村保育園については委託先の職員)

資料⑧ 医療・保健関係

1. ご入居者の疾患分類状況(令和7年3月末時点の在園者について)※23

施設名	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニークライフ白川		神港園サニークラザ妙法寺		さん髯子神港園(ケアハウス)		さん髯子神港園いこいの家		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
3月末時点在園者	48人		95人		98人		49人		24人		78人		48人		
疾患分類	該当者	割合	該当者	割合	該当者	割合	該当者	割合	該当者	割合	該当者	割合	該当者	割合	
内科	循環器	34	70.8%	85	89.5%	80	81.6%	34	69.4%	19	79.2%	75	96.2%	31	64.6%
	呼吸器	3	6.3%	16	16.8%	7	7.1%	5	10.2%	3	12.5%	1	1.3%	6	12.5%
	消化器	22	45.8%	79	83.2%	81	82.7%	42	85.7%	24	100.0%	54	69.2%	49	102.1%
	肝胆	1	2.1%	5	5.3%	8	8.2%	3	6.1%	2	8.3%	2	2.6%	2	4.2%
	内分泌代謝	19	39.6%	33	34.7%	61	62.2%	21	42.9%	8	33.3%	31	39.7%	13	27.1%
	腎・尿路	16	33.3%	32	33.7%	27	27.6%	4	8.2%	9	37.5%	27	34.6%	12	25.0%
	血液	2	4.2%	21	22.1%	1	1.0%	10	20.4%	7	29.2%	4	5.1%	2	4.2%
	神経	4	8.3%	82	86.3%	50	51.0%	12	24.5%	9	37.5%	16	20.5%	21	43.8%
	褥瘡	0	0.0%	7	7.4%	4	4.1%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	6	12.5%	45	47.4%	19	19.4%	7	14.3%	0	0.0%	39	50.0%	23	47.9%
	整形外科	4	8.3%	0	0.0%	5	5.1%	1	2.0%	2	8.3%	16	20.5%	0	0.0%
	外科	13	27.1%	44	46.3%	0	0.0%	19	38.8%	17	70.8%	57	73.1%	27	56.3%
	精神科※24	15	31.3%	13	13.7%	13	13.3%	27	55.1%	16	66.7%	34	43.6%	41	85.4%

※23：3月末時点の在園者のカルテに記載の情報に基づく

※24：精神科については、3月末時点で神港園診療所の精神科医が定期的な診療を行っている在園者の人数

2. ご入居者の状況(3月末時点の在園者について)

	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニークライフ白川		神港園サニークラザ妙法寺		さん髯子神港園(ケアハウス)		さん髯子神港園いこいの家	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
言語障がい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
聴力障がい	3	6.3%	2	2.1%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
視力障がい	2	4.2%	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
知的障がい※25	2	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
精神障がい※26	7	14.6%	3	3.2%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	14.6%

※25：療育手帳の所持者の人数

※26：精神障がい者福祉手帳の所持者または、自立支援医療の適用者の人数

### 3. 令和7年度における訪問診療・往診・受診の状況

#### A. 神港園診療所のドクターによる訪問診療および往診の回数

(診療科)	神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニークラフト白川		神港園サニークラフト妙法寺		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家	
	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数
内科	1,344	4,019	3,941	1,406	781	2,165	1,850					
精神科	331	408	266	777	397	778	503					
合計	1,675	4,427	4,207	2,183	1,178	2,943	2,353					

#### B. 神港園診療所を除くクリニックや病院のドクターによる訪問診療および往診の回数

(診療科)	神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニークラフト白川		神港園サニークラフト妙法寺		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家	
	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数
歯科※27	354	3399	3517	94	32	282	1169					
合計	354	3399	3517	94	32	282	1169					

※27：口腔ケアの実施回数および、外部歯科への受診回数を含む

#### C. 神港園診療所を除くクリニックや病院への受診回数

(診療科)	神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニークラフト白川		神港園サニークラフト妙法寺		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家	
	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数	診療回数	診察回数
内科	55	51	44	24	70	109	5					
外科	13	23	1	6	7	0	1					
整形外科	26	19	21	9	44	66	1					
耳鼻科	1	6	3	5	1	4	0					
眼科	19	20	19	0	11	7	18					
皮膚科	12	107	51	10	13	6	9					
泌尿器科	16	36	0	0	57	5	2					
精神科	20	2	4	0	0	20	5					
その他	8	0	14	7	8	19	0					
合計	170	264	157	61	211	236	41					

#### 4. 令和7年度における看取り介護実績※28

本年度実績	神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニークラフト白川		神港園サニークラフト妙法寺		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
本年度実績	-	25件	29件	11件	4件	9件	14件					
前年度実績	-	17件	13件	10件	0件	9件	14件					
前年比	-	147.1%	223.1%	110.0%	-	100.0%	100.0%					

※28：養護老人ホーム神港園については看取り介護は未実施

## 5. 妙法寺クリニック

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
項目	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)
内科・呼吸器・アレルギー科	22	13	20	14	11	13	15	21	23	28	14	24
再診	5	23	41	58	41	40	59	55	82	73	60	81
泌尿器科	1	0	2	1	0	1	0	0	3	1	0	1
再診	0	1	1	6	4	6	3	4	7	10	3	10
精神科	2	4	3	1	4	3	1	2	0	1	3	1
再診	1	9	6	19	16	18	36	25	27	22	23	22
高齢者定期予防接種	0	1	7	4	3	2	9	14	2	5	0	1
一般予防接種	0	1	0	0	0	0	16	47	12	0	0	1
健康診断	12	0	1	0	0	1	2	1	0	1	0	3

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
項目	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)	件数(実数)
検査 (血液・尿・心電図)	5	6	21	19	20	14	26	27	39	37	16	49
レントゲン	16	2	14	14	5	10	20	9	9	20	9	14
睡眠時無呼吸症候群 の検査							0	0	1	0	0	0
CPAP利用							0	0	0	0	0	0
HOT利用							1	1	1	1	1	1

資料⑨ 栄養関係

食事形態や療養食の利用状況(令和7年の在園者について)

食事形態	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニークラフト白川		神港園サニークラフトササキ		さんぽ子神港園(ケアハウス)		さんぽ子神港園いこいの家		神港園レインポーランド		神港園レインポーランド	
	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率
普通食	38	79.2%	24	24.7%	20	20.4%	14	28.6%	13	54.2%	29	38.7%	5	10.6%	7	38.9%	45	88.2%
刻み食	7	14.6%	25	25.8%	29	29.6%	24	49.0%	9	37.5%	38	50.7%	23	48.9%	7	38.9%	3	5.9%
極刻み食	2	4.2%	33	34.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ソフト食	1	2.1%	10	10.3%	34	34.7%	11	22.4%	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%	3	5.9%
ミキサー食	0	0.0%	0	0.0%	13	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	8	10.7%	19	40.4%	2	11.1%	0	0.0%
補助食品のみ・ 総食	0	0.0%	5	5.2%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	48人	100.0%	97人	100.0%	98人	100.0%	49人	100.0%	24人	100.0%	75人	100.0%	47人	100.0%	18人	100.0%	51人	100.0%
糖尿病	1	2.1%	6	6.2%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
高脂血症食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
腎臓食	1	2.1%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
心臓食	3	6.3%	4	4.1%	0	0.0%	1	2.0%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
肝臓食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
潰瘍食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	5人	10.4%	10人	10.3%	2人	2.0%	1人	2.0%	1人	4.2%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
卵	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
魚	10	20.8%	3	3.1%	6	6.1%	0	0.0%	1	4.2%	10	13.3%	4	8.5%	0	0.0%	0	0.0%
蕎麦	5	10.4%	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	1	1.3%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
鶏肉	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	2.1%	3	3.1%	0	0.0%	3	6.1%	0	0.0%	2	2.7%	2	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	16人	33.3%	8人	8.2%	6人	6.1%	3人	6.1%	2人	8.3%	17人	22.7%	8人	17.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
アレルギー代替食																		
低リスク		0.0%	7	7.2%	33	33.7%	9	18.4%	6	25.0%	47	62.7%	15	31.9%	0	0.0%	0	0.0%
中リスク		0.0%	79	81.4%	54	55.1%	28	57.1%	14	58.3%	20	26.7%	28	59.6%	0	0.0%	0	0.0%
高リスク		0.0%	11	11.3%	11	11.2%	12	24.5%	4	16.7%	8	10.7%	4	8.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	0人	0.0%	97人	100.0%	98人	100.0%	49人	100.0%	24人	100.0%	75人	100.0%	47人	100.0%	0人	0.0%	0人	0.0%

※29：栄養ケアマネジメント

⑩-1 職員関係

(単位：人)

西区拠点

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間平均
①常勤換算(常勤)※休職者以外	101.0	99.7	101.5	102.9	101.3
②労働時間(パート)※所定外含む	7.4	8.2	8.4	8.4	8.1
③登録ヘルパー	1.5	1.5	1.6	1.5	1.5
④派遣職員	1.1	1.2	0.6	0.7	0.9
⑪合計(①+②+③+④)	111.1	110.5	112.1	113.5	111.8
⑫配置基準(法人独自の加配基準)	117.4	116.6	116.2	116.0	116.6
加減配状況(⑪-⑫)	-6.3	-6.1	-4.1	-2.5	-4.8
充足率(⑪/⑫)	94.6%	94.8%	96.5%	97.8%	95.9%

舞子拠点

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間平均
①常勤換算(常勤)※休職者以外	109.9	110.6	112.0	111.9	111.1
②労働時間(パート)※所定外含む	34.2	33.7	34.3	33.8	34.0
③登録ヘルパー	5.0	5.0	5.1	5.0	5.0
④派遣職員	2.3	2.4	2.8	2.6	2.5
⑪合計(①+②+③+④)	151.4	151.7	154.1	153.3	152.6
⑫配置基準(法人独自の加配基準)	146.6	146.6	147.4	146.7	146.8
加減配状況(⑪-⑫)	4.8	5.1	6.7	6.6	5.8
充足率(⑪/⑫)	103.2%	103.5%	104.6%	104.5%	103.9%

北区拠点

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間平均
①常勤換算(常勤)※休職者以外	93.3	92.0	90.0	89.3	91.2
②労働時間(パート)※所定外含む	18.6	18.8	22.4	20.6	20.1
③登録ヘルパー	1.3	1.2	1.1	1.0	1.1
④派遣職員	1.6	1.7	1.7	1.9	1.7
⑪合計(①+②+③+④)	114.8	113.6	115.2	112.9	114.1
⑫配置基準(法人独自の加配基準)	116.9	116.9	112.6	112.3	114.7
加減配状況(⑪-⑫)	-2.1	-3.3	2.5	0.6	-0.6
充足率(⑪/⑫)	98.2%	97.2%	102.2%	100.5%	99.5%

西宮拠点

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間平均
①常勤換算(常勤)※休職者以外	40.4	37.8	41.8	42.8	40.7
②労働時間(パート)※所定外含む	12.0	11.7	12.6	11.1	11.8
③登録ヘルパー					
④派遣職員	1.4	1.7	2.1	2.9	2.0
⑪合計(①+②+③+④)	53.8	51.2	56.4	56.8	54.5
⑫配置基準(法人独自の加配基準)	51.8	51.8	52.5	52.8	52.2
加減配状況(⑪-⑫)	2.0	-0.6	3.9	4.0	2.3
充足率(⑪/⑫)	103.9%	98.8%	107.5%	107.5%	104.5%

白川拠点

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間平均
①常勤換算(常勤)※休職者以外	74.0	72.6	72.0	67.6	71.6
②労働時間(パート)※所定外含む	15.9	14.8	15.1	14.2	15.0
③登録ヘルパー	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9
④派遣職員	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0
⑪合計(①+②+③+④)	94.8	92.3	92.1	86.8	91.5
⑫配置基準(法人独自の加配基準)	90.3	93.1	92.3	92.1	92.0
加減配状況(⑪-⑫)	4.5	-0.8	-0.2	-5.3	-0.4
充足率(⑪/⑫)	105.0%	99.2%	99.8%	94.3%	99.5%

法人本部

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間平均
①常勤換算(常勤)※休職者以外	15.9	15.4	14.7	13.4	14.8
②労働時間(パート)※所定外含む	1.7	1.5	0.8	0.5	1.1
③登録ヘルパー					
④派遣職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑪合計(①+②+③+④)	17.6	16.9	15.5	13.8	16.0
⑫配置基準(法人独自の加配基準)	18.8	19.1	18.8	18.8	18.9
加減配状況(⑪-⑫)	-1.2	-2.3	-3.3	-5.0	-2.9
充足率(⑪/⑫)	93.5%	88.2%	82.5%	73.6%	84.5%

妙法寺拠点

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間平均
①常勤換算(常勤)※休職者以外	27.1	29.0	26.9	26.6	27.4
②労働時間(パート)※所定外含む	10.7	12.8	13.6	12.5	12.4
③登録ヘルパー					
④派遣職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑪合計(①+②+③+④)	37.8	41.8	40.4	39.1	39.8
⑫配置基準(法人独自の加配基準)	37.4	38.2	39.7	40.2	38.8
加減配状況(⑪-⑫)	0.4	3.7	0.7	-1.0	0.9
充足率(⑪/⑫)	101.1%	109.7%	101.8%	97.4%	102.4%

医療事業部

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間平均
①常勤換算(常勤)※休職者以外	8.3	7.6	7.0	6.3	7.3
②労働時間(パート)※所定外含む	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
③登録ヘルパー					
④派遣職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑪合計(①+②+③+④)	9.9	9.3	8.7	8.0	9.0
⑫配置基準(法人独自の加配基準)	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9
加減配状況(⑪-⑫)	-1.0	-1.6	-2.2	-2.9	-1.9
充足率(⑪/⑫)	91.0%	85.5%	79.9%	73.1%	82.4%

3月時点の在籍人数

	西区拠点	北区拠点	白川拠点	妙法寺	舞子拠点	西宮拠点	法人本部	医療事業部	合計
正職員	84	73	58	25	92	34	12	8	386
嘱託職員	2	6	4	0	5	3	1	2	23
契約職員	18	11	4	2	17	5	0	1	58
派遣職員	1	0	4	0	4	5	0	1	15
パート職員	24	33	26	24	56	23	3	11	200
その他区分	15	12	24	0	22	0	0	0	73
休職中	2	1	0	1	2	0	0	0	6
合計	146	136	120	52	198	70	16	23	761

法人全体

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間平均
①常勤換算(常勤)※休職者以外	469.8	464.7	465.7	460.9	465.3
②労働時間(パート)※所定外含む	102.2	103.1	108.9	102.8	104.2
③登録ヘルパー	11.7	11.6	11.7	11.4	11.6
④派遣職員	7.4	8.0	8.1	9.1	8.2
⑪合計(①+②+③+④)	591.1	587.4	594.5	584.2	589.3
⑫配置基準(法人独自の加配基準)	590.1	593.2	590.3	589.8	590.8
加減配状況(⑪-⑫)	1.0	-5.8	4.2	-5.6	-1.5
充足率(⑪/⑫)	100.2%	99.0%	100.7%	99.1%	99.7%

⑩-2 資格取得状況(令和8年3月末時点で在籍する職員の状態)

	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニーライフ白川		神港園サニーアラザラサ妙法寺		さん舞子神港園 いこいの家		レインボ-西宮・酒殿通		法人本部・医療事業部		東 海 地 区 合 計																					
	正	P	正	P	正	P	正	P	正	P	正	P	正	P	正	P		登																				
介護福祉士	10	1	3	1	53	5	7	0	58	9	14	1	45	4	7	12	18	0	4	0	54	4	18	10	18	1	7	0	26	2	7	0	3	1	1	0	404	
介護福祉士 実務者研修	2	2	0	0	11	2	0	0	21	2	2	3	7	2	1	0	1	0	2	0	20	6	3	1	6	2	2	0	8	1	3	0	0	0	0	0	110	
介護職員 基礎研修	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
訪問介護員 1級養成研修課程(廃止)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
訪問介護員 2級養成研修課程(廃止)	3	1	1	10	11	0	1	0	10	6	7	7	11	3	2	6	4	0	1	0	16	1	13	5	3	1	1	0	6	1	3	0	0	0	1	0	135	
介護職員初任者研修	3	1	0	0	3	3	0	0	8	2	0	3	5	1	0	2	0	0	0	0	3	2	3	3	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	49	
神戸市高齢者施設 介護士	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
ユニット リーダー	0	0	0	0	2	0	0	0	8	1	2	0	2	0	0	0	2	0	1	0	2	0	1	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	26
認知症介護 基礎研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
認知症介護 実務者研修	1	0	0	0	4	0	0	0	6	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	24	
社会福祉士	0	0	1	0	7	0	1	0	12	0	0	0	6	0	0	0	1	0	0	0	6	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0	2	0	44
精神保健福祉士	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
主任介護支援専門員	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	1	0	8	1	0	0	2	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	28
介護支援専門員	5	0	1	0	22	0	1	0	22	5	7	0	19	4	2	0	5	0	0	0	15	2	8	0	4	0	1	0	3	1	0	0	4	0	1	0	132	
保育士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	5	
保健師	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
看護師	1	0	0	0	4	1	1	0	7	1	1	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	5	2	1	0	2	0	1	0	0	2	0	3	0	0	0	36	
准看護師	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	12	
管理栄養士	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
衛生管理者	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	8	
理学療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	
医学療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	5		
柔道整復師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
総数別/層別区分別合計	26	5	6	12	126	11	13	0	165	30	36	14	115	19	14	20	38	0	12	0	132	19	51	19	43	4	14	0	59	7	23	0	22	1	7	0	1,063	

(正：正職員 嘱+契：嘱託職員および契約職員 P：パート職員 登：登録ヘルパー)

資料⑪ 採用・離職関係

1. 令和7年度における職種別採用・離職状況

		令和7年度											
採用者数	離職者数	介護職		看護職		相談員および 相談援助職		事務職		その他		合計	
		採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数
30	40	4	5	4	5	1	4	1	4	4	2	43	56
25	24	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	28	25
15	20	2	5	0	0	3	3	3	20	21	21	40	49
6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5
76	89	7	10	4	5	4	7	4	26	24	24	117	135
	19.8%		22.7%		5.5%		30.4%		17.3%		18.1%		
	49.7		51.4		51.5		55.4		61.9		54.0		
	8.2		5.4		12.3		8.8		8.3		8.6		
	449		44		91		23		139		746		
	440		41		91		26		137		735		

		前年度											
採用者数	離職者数	介護職		看護職		相談員および 相談援助職		事務職		その他		合計	
		採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数
42	31	6	4	1	7	2	2	2	1	0	52	44	
30	16	0	1	4	2	2	1	4	4	1	40	21	
18	20	6	2	1	0	5	4	21	17	17	51	43	
5	8	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	10	
95	75	12	7	6	10	9	7	26	19	19	148	118	
	17.3%		17.9%		10.4%		9.7%		22.9%		16.3%		
	48.6		50.8		50.4		62.8		56.8		53.9		
	7.7		5.1		11.7		8.4		8.0		8.2		
	434		39		96		72		83		724		
	454		44		92		74		90		754		

※32：離職率＝(離職者数/期首在籍者数)×100(%)

※33：令和7年の平均年齢および平均勤続年数

※34：期首在籍者には4月1日付で入職した職員を含む

## 2. 介護職員の採用・離職状況内訳

	令和7年度												
	期首	採用者数	離職者数	離職時の勤続年数			期末	増加率	採用率	離職率	離職時の勤続年数		
				～1年	1～3年	3年～					～1年	1～3年	3年～
①介護職員(登録ヘルパーを除く)	380	70	84	16	35	33	366	-3.7%	18.4%	22.1%	19.0%	41.7%	39.3%
②登録ヘルパー	69	6	5	0	1	4	70	1.4%	8.7%	7.2%	0.0%	20.0%	80.0%
合計(①+②)	449	76	89	16	36	37	436	-2.9%	16.9%	19.8%	18.0%	40.4%	41.6%

	前年度												
	期首	採用者数	離職者数	離職時の勤続年数			期末	増加率	採用率	離職率	離職時の勤続年数		
				～1年	1～3年	3年～					～1年	1～3年	3年～
①介護職員(登録ヘルパーを除く)	359	90	67	18	16	33	382	6.4%	25.1%	18.7%	26.9%	23.9%	49.3%
②登録ヘルパー	75	5	8	1	2	5	72	-4.0%	6.7%	10.7%	12.5%	25.0%	62.5%
合計(①+②)	434	95	75	19	18	38	454	4.6%	21.9%	17.3%	21.3%	20.2%	42.7%

## 3. 雇用区分別・勤続年数別の離職者内訳※35

雇用区分	令和7年度										
	期首在籍者数	～半年未満		半年～1年未満		1～3年未満		3年以上		離職者総数	
		離職者	割合	離職者	割合	離職者	割合	離職者	割合	離職者	割合
正職員	397	2	3.6%	8	14.3%	19	33.9%	27	48.2%	56	
嘱託・契約職員	78	3	12.0%	6	24.0%	11	44.0%	5	20.0%	25	
パート職員・派遣職員	202	7	14.3%	3	6.1%	18	36.7%	21	42.9%	49	
登録ヘルパー	69	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	4	80.0%	5	
合計	746	12	-	17	-	49	-	57	-	135	

雇用区分	前年度										
	期首在籍者数	～半年未満		半年～1年未満		1～3年未満		3年以上		離職者総数	
		離職者	割合	離職者	割合	離職者	割合	離職者	割合	離職者	割合
正職員	381	4	9.1%	3	6.8%	14	31.8%	23	52.3%	44	
嘱託・契約職員	73	9	42.9%	3	14.3%	5	23.8%	4	19.0%	21	
パート職員・派遣職員	193	10	23.3%	7	16.3%	7	16.3%	19	44.2%	43	
登録ヘルパー	77	1	10.0%	0	0.0%	3	30.0%	6	60.0%	10	
合計	724	24	-	13	-	29	-	52	-	118	

※35：離職時の勤続年数および離職時の雇用区分

## 令和7年度 理事会・評議員会開催状況

### 【第1回 臨時理事会】

1. 日時 令和7年4月15日(火) 15時00分～15時30分
2. 場所 神港園しあわせの家 執務室
3. 出席役員 理事総数9名中6名出席 監事総数2名中0名出席
4. 議案・審議事項  
令和7年度第1回臨時評議員会の招集・開催日程について

### 【第1回 第1回臨時評議員会】

1. 日時 令和7年4月28日(月) 16時00分～16時45分
2. 場所 神港園サニープラザ妙法寺 2階地域交流室
3. 出席役員 評議員総数9名中7名出席 出席監事 監事総数2名中1名出席
4. 議案審議・事項  
役員定数の削減について

### 【第1回 定例理事会】

1. 日時 令和7年6月7日(土) 14時00分～17時00分
2. 場所 サニープラザ妙法寺 地域交流室
3. 出席役員 理事総数 9名中 9名出席 監事総数 2名中 2名出席
4. 報告事項
  - (1)会計監査人による監査報告書について
  - (2)法人監事による監査結果報告について
5. 審議事項
  - (1)令和6年度事業報告書(案)について
  - (2)令和6年度決算報告書(案)について
  - (3)令和7年度 会計監査人について
  - (4)令和7年度第1回定例評議員会 開催日程について
  - (5)積立金取崩しについて (しあわせの家)

### 【第2回 臨時理事会】

1. 日時 令和7年6月16日(月) 10時00分～ 11時30分
2. 場所 神港園しあわせの家 2階会議室
3. 出席役員 理事総数9名中7名出席 監事総数2名中1名出席
4. 議案 (審議事項)
  - ① 理事の選任及び退任候補者案について
  - ② 監事の選任候補者案について
  - ③ 評議員の選任候補者の推薦案について
  - ④ 評議員選任解任委員の選任について
  - ⑤ 第三者委員の選任について

### 【第1回 定例評議員会】

1. 日時 令和7年6月21日(土) 14時00分～16時50分
2. 場所 さん舞子神港園 3F 多目的ホール
3. 出席役員 評議員総数9名中7名出席 出席監事 監事総数2名中1名出席

#### 4. 議案

##### I. 議案 審議事項

- (1) 令和6年度事業報告(案)について
- (2) 会計監査人による監査報告書について
- (3) 法人監事による監査結果報告について
- (4) 令和6年度決算報告書(案)について
- (5) 理事の選任について
- (6) 監事の選任について
- (7) 令和7年度会計監査人について

##### II. 議案 報告事項

- (8) 評議員の選任報告について
- (9) 評議員選任解任委員の選任報告について
- (10) 第三者委員の選任報告について

#### 【第3回 臨時理事会】

1. 日時 令和7年6月21日(土) 17時30分～18時10分
2. 場所 さん舞子神港園 多目的ホール
3. 出席役員 理事総数6名中6名出席 監事総数2名中1名出席
4. 議案・審議事項
  - (1) 理事長及び会長の選出について
  - (2) 幹部職員(施設長・副施設長等)の人事について
  - (3) 役員・評議員の報酬及び旅費規程(別表)の改定

#### 【第4回 臨時理事会】

1. 日時 令和7年9月27日(土) 14時00分～15時45分
2. 場所 神港園しあわせの家
3. 出席役員 評議員総数6名中6名出席 監事総数2名中2名出席
4. 議案
  - I. 審議事項
    - (1) 規程改定
    - (2) 評議員選任候補者の推薦案
    - (3) 補助金交付に伴う天井走行リフトの導入について
  - II. 報告事項
    - (4) 新幹部紹介

#### 【第2回 定例理事会】

1. 日時 令和7年11月8日(土) 14:00～17:00
2. 場所 神港園しあわせの家 2階会議室
3. 出席役員 理事総数6名中6名出席 監事総数2名中2名出席
4. 議案(審議事項及び報告事項)
  - I. 議案審議事項
    - (1) 令和7年度上期事業報告書(案)について
    - (2) 令和7年度中期補正予算(案)について
    - (3) 規程変更について

- (4) 理事退任慰労金の支給について
- (5) 令和7年度第2回臨時評議員会開催の招集について

II. 議案報告事項

- (6) 神戸市指導監査結果報告
- (7) 職員に対する貸付金について

**【第2回 臨時評議員会】**

- 1. 日時 令和7年11月22日 14時00分～16時45分
- 2. 場所 さん舞子神港園 多目的ホール
- 3. 出席役員 評議員総数7名中5名 監事総数2名中0名出席
- 4. 議案

I. 報告事項

- (1) 令和7年度上期事業報告書(案)について
- (2) 神戸市指導監査結果報告
- (3) 幹部人事について

II. 審議事項

- (1) 令和7年度上期実績・中期補正予算(案)について
- (2) 資金計画について
- (3) 理事の退任慰労金の支給について

**【第5回 臨時理事会】**

- 1. 日時 令和7年12月2日(土)
- 2. 場所 書面開催
- 3. 役員 理事総数6名中6名 監事総数2名中2名
- 4. 議題 審議事項 幹部職員(施設長)の人事について

**【第3回 定例理事会】**

- 1. 日時 令和8年3月14日(土) 14時00分～16時25分
- 2. 場所 神港園しあわせの家 本館2階 研修室
- 3. 出席役員 理事総数6名中6名出席 監事総数2名中1名出席
- 4. 議案(審議事項並びに報告事項)
  - (1) 令和8年度事業計画書(案)について
  - (2) 令和8年度予算(案)について
  - (3) 規程改定について
  - (4) 幹部人事について
  - (5) 令和7年度第2回定例評議員会の招集について

**【第2回 定例評議員会】**

- 1. 日時 令和8年3月28日(土) 14時00分～16時15分
- 2. 場所 さん舞子神港園 3F 多目的ホール
- 3. 出席役員 評議員総数7名中7名出席 監事総数2名中1名出席
- 4. 議案
  - I. 審議事項
    - (1) 令和8年度事業計画書(案)について
    - (2) 令和8年度予算(案)及び令和7年度期末補正予算(案)について
  - II. 議案 報告事項
    - (3) 幹部人事について